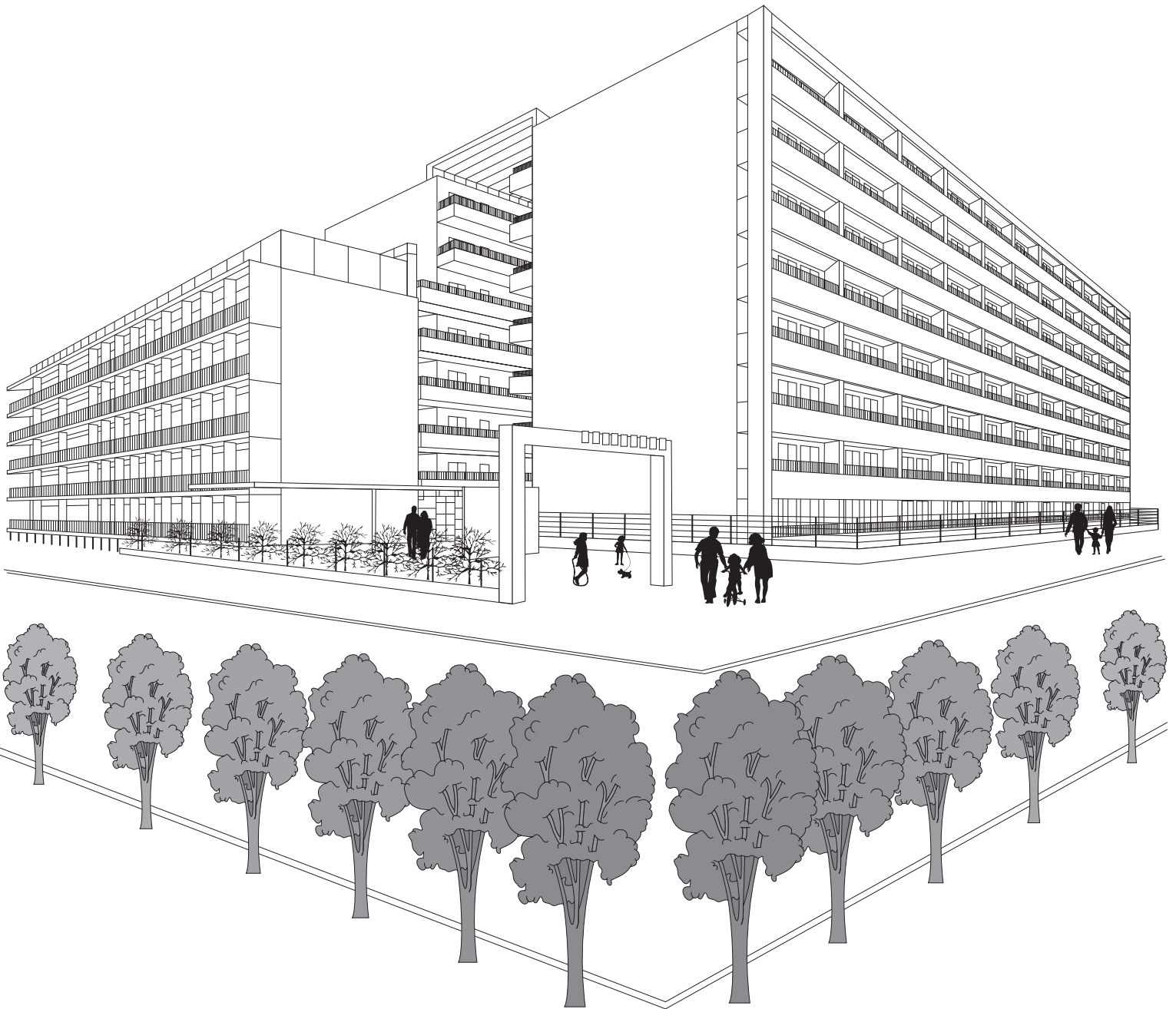


YKK
ap[®]


集合住宅用 ビル防火商品取扱説明書



■本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、指示を守って商品をご使用ください。

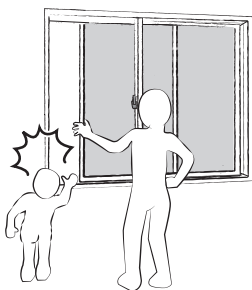
注意／お願い

表示	意味
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

■安全上のご注意

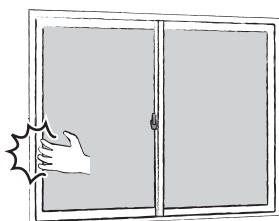
窓（網戸）スライド系（引違い窓・可動網戸 など）

お願い



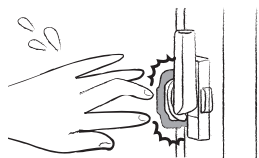
周囲に人がいないことを確認！

窓（網戸）の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓（網戸）が人にぶつかったり、窓（網戸）で指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



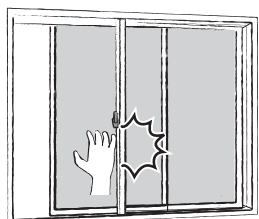
窓（網戸）と枠、窓（網戸）と窓のすき間に注意！

窓（網戸）の開閉時に、窓（網戸）と枠、窓（網戸）と窓のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



部品のすき間に注意！

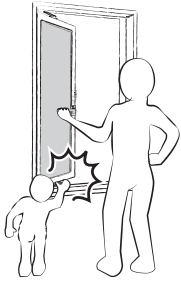
窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



引手以外の部位を持って開閉しない！

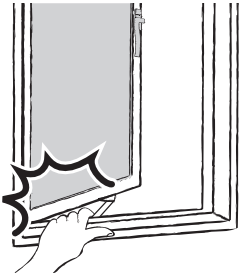
窓（網戸）の開閉は、必ず引手を持ってゆっくり操作してください。引手以外の部位を持って操作すると、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

お願い



周囲に人がいないことを確認！

窓（網戸）の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓（網戸）が人にぶつかったり、窓（網戸）で指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



窓（網戸）と枠のすき間に注意！

窓（網戸）の開閉時に、窓（網戸）と枠のすき間に手や足を置かないでください。

指をはさんで、けがをするおそれがあります。



部品のすき間に注意！

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。

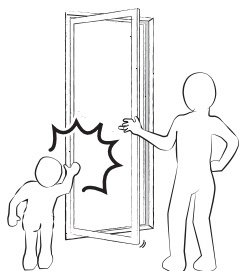
指をはさんで、けがをするおそれがあります。



ハンドル以外の部位を持って開閉しない！

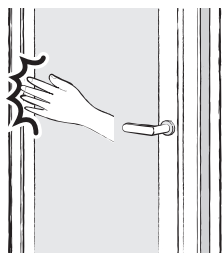
窓（網戸）の開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさんでけがをするおそれがあります。

お願い



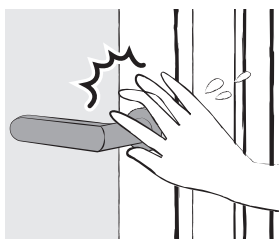
周囲に人がいないことを確認！

ドアの開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ドアが人にぶつかったり、ドアで指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



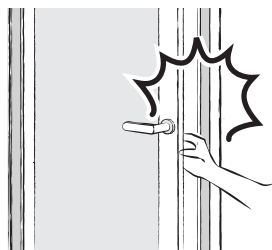
ドアと枠のすき間に注意！

ドアの開閉時に、ドアと枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



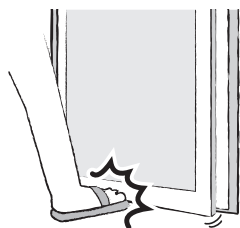
部品のすき間に注意！

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



ハンドル以外の部位を持って開閉しない！

ドアの開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさんでけがをするおそれがあります。



ドア下端部のすき間に注意！

ドアの開閉時に、ドア下端部のすき間に足を置かないでください。足をはさんで、けがをするおそれがあります。特に、サンダル履きでの開閉時にご注意ください。

■知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』とすることがある現象も、窓の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

窓を閉めきった時のすき間風

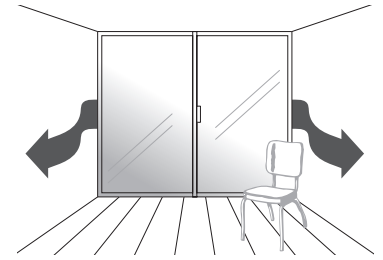
窓を閉めきった時のすき間をふさぐために、枠や窓にはパッキンなどの気密部品を取り付けています。

強風や季節風などによって室内外に気圧差が生じると、この気密部品の接触部分からすき間風が発生します。

これは自然現象のひとつであり完全になくすことはできません。

ただし、すき間風があまりに激しい場合は、窓各部の調整が不十分であることが考えられますので、調整をお願いします。

なお、換気扇を使用した場合は、強制的に空気を室外に排出するため、気密材と枠または窓の接触部分から空気が入ることがあります。



窓の笛鳴り現象

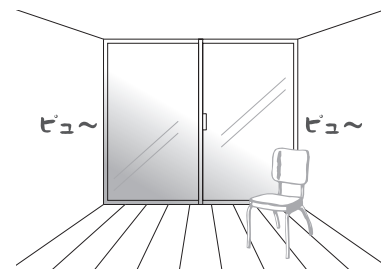
窓を閉めきった状態で換気扇を使用した場合、強制的に空気が室外に排出されると共に、同じ量の空気が窓のすき間などから室内に入り込もうとします。

気密部品と枠または窓の接触部分を通り抜ける空気が、笛を吹く状態と同じ現象を起こします。

これは自然現象のひとつであり完全になくすことはできません。

ただし、この現象は窓各部分の調整が不十分である時にも生じますので、調整をお願いいたします。

なお、強風時に常時風が吹き抜ける所においても笛鳴り現象が起こることがあります。



結露について

結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合、季節を問わず発生します。

これは自然現象のひとつであり、窓の不具合ではありません。

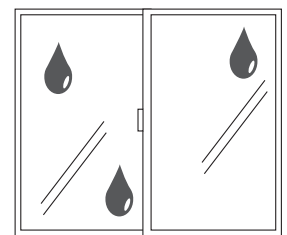
また、室内の環境状況によっては、断熱窓を使用していても発生する場合があります。

完全になくすことはできませんが、できるだけ発生を抑える方法として下記の点を心がけてください。

- ① 過度な加湿の防止(上限60%)
- ② 換気の促進
- ③ 室温を適温に保つ
- ④ 空気の流れをよくする

『脱・結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。

ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡ください。(☎ 0120-72-4134)



ガラスの熱割れについて

ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓枠などの中に隠れている部分とで、温度の差による熱膨張差が生じます。

この熱膨張差がガラスの持っている「強度」を超えた場合、ガラスが割れます。

これが網入りガラスに多く見られる「熱割れ」と呼ばれる現象です。

ガラスに割れが発生した場合、すみやかに交換してください。

熱割れを予防するポイント

- ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
- 暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接当てない。
- ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
- 室内に熱だまりを作らない。

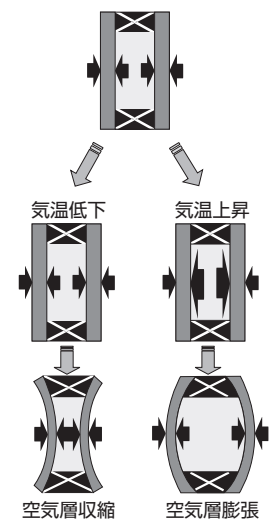
複層ガラスのゆがみについて

複層ガラス面に反射して写る映像がゆがんで見えることがあります。複層ガラスの構造上避けられない現象です。

複層ガラスの中間層は密閉された構造のため、温度や気圧の変化などによって内部の空気の収縮や膨張が起こります。

これにより、ガラスが湾曲し表面に反射して写る映像がゆがんで見えます。

特にLow-E複層ガラスでは反射率が高いため、ゆがみが目立つことがあります。



ステンレスのさびについて

ステンレスは表面に独自の保護皮膜が形成されます。

この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っていますが、表面が汚れると酸素との接触が妨げられ、さびが発生することがあります。特に下記のような場合は、さびが発生しやすくなります。

- 塩素系の洗剤がステンレス部に付着した場合
- 海岸沿いなどの環境において塩分が付着した場合
- 他の物のさびがステンレス表面に付着した場合(もらいさび)など

さびが発生した場合は、台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合表面にこすりキズがつくことはさげられません。

「もらいさび」が落ちない場合は、さびが進行しステンレス自身にさびが生じたものと考えられます。

さびを予防するポイント

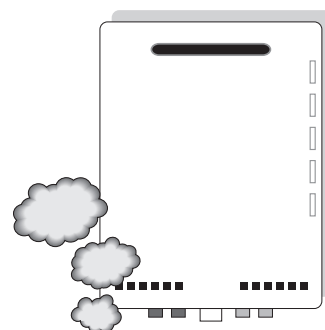
- 一旦発生したさびは落とすことが難しいため、日頃から中性洗剤(1～2%の水溶液)で、こまめにお手入れをする。

ガス給湯器などの排気ガスによる腐食について

ガス給湯器などからの排気ガスが、アルミ部材の塗膜のはがれなどの表面異常の原因となることがあります。

ガス給湯器などの排気ガスの成分には、微量ながら硫黄分が含まれている場合があります。この硫黄分が空気中や排気ガスの水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような強い腐食性の酸を作ることがあります。これらの酸が塗膜表面に付着すると、塗膜自体を劣化させ、塗膜の下のアルミに達し、アルミとの化学反応によって塗膜はがれなどの表面異常を引き起こすことがあります。

また、ガス給湯器や車の排気ガスが直接当たらなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも塗膜のはがれなどが起こるおそれがあります。



腐食を予防するポイント

- ガス給湯器および車の排気ガスが直接アルミに当たらないようにする。
- 排気口付近にアルミ製品を設置する場合は、こまめにお手入れし、周辺の通気を確認したうえで使用する。

防火商品の白い結晶について

商品上の特性上、結露水などにより窓やドアの表面に白い結晶が発生する場合があります。白い結晶は無害であり、水拭きで拭き取ることで除去できます。

樹脂製商品への殺虫剤散布によるひび割れ、はがれについて

薬剤が付着すると、ひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

ひび割れ・はがれを予防するポイント

- 殺虫剤などの薬剤を樹脂表面に塗布・散布し付着させないように注意する。

引違い窓の下枠の雨水たまりについて

引違い窓の下枠に雨水がたまることがあります。

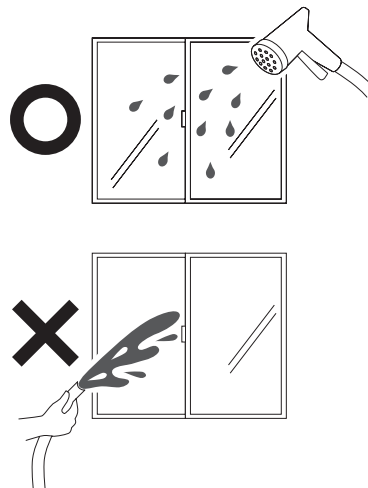
これは、窓の水密性能を保持するために構造上必要な状態であり、不具合ではありません。

清掃時の散水による水侵入について

窓を閉めた状態で雨が室内側へ入らないよう、窓にはパッキンなどの気密部品が付いています。

これは、強風を伴う降雨時を想定した所定の水密性能を確保するためのものですが、窓と枠すき間を完全に密閉するものではありません。清掃時に、ホースや高圧洗浄機などで強く水をかけたり、下から上方向に水をかけたりすると、室内側へ水が入る場合があります。

これは、水の勢いが強かったり、上方向に水をかけたりしたことで、通常の降雨を想定した窓の水密性能を超える状況となったことによるもので、窓の不具合ではありません。清掃時は、草花に水やりする程度の水流で、下方向にシャワー状の水がかかるように散水してください。



■メンテナンスについて

共通

■メンテナンスの時期と頻度

アルミサッシ・樹脂窓の表面の汚れが軽いうちに清掃するようにすれば、清掃も簡単で費用も少なく済みます。

しかし長期間清掃しないで放置しておきますと、表面に付着した汚れが腐食へ進行します。こうなると、清掃しただけではきれいにならず、補修の必要が出てくることもあり、費用も多くかかります。清掃の頻度は汚れの程度および立地条件により右表を参考にしてください。

清掃の時期は暖房シーズンの終わる初夏および台風シーズンの終わる秋頃が清掃の効果および作業環境から適当と考えられます。

■清掃時の点検について

- 清掃時には、部品などのゆるみも点検してください。
特に丁番などサッシの支持金具や取付ねじのゆるみ、がたつきなどがないか点検をお願いします。ゆるみ、がたつきなどがある場合、そのままにしておきますと落下などの思わぬ事故につながるおそれがありますので、早急に建物管理者様、建設会社様、販売店様へご連絡ください。

アルミ製商品

メンテナンスの方法

清掃はアルミサッシの汚れの程度および表面の種類により適した清掃方法、洗剤を選ぶことが大切で、実施に当たっては次のような注意が必要です。

- 清掃用具としてワイヤーブラシ、スチールウール、金べらは使用しないでください。
また清掃時、小石、砂、金属片などが付着すると樹脂窓を傷つけることがあります。
- 酸性またはアルカリ性の洗剤(例えば塩酸、硝酸、タイル洗浄剤苛性ソーダ等)は、一時的に汚れがよく取れるように見えますが、腐食や変色を起こしますので使用を避けてください。
- 市販のクリーナーのなかには、アルミサッシを腐食させるものがありますので、特に注意してください。
- 清掃は押しまたは圧延の節目方向に沿って行うときれいに仕上がります。
- 普通の汚れは、水で濡らした雑巾で拭いてください。
汚れのひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落として十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。

汚れの程度と清掃方法

汚れの頻度	表面の種類	用具および洗剤	清掃方法	備考
軽い場合	アルマイト	中性洗剤	洗剤をつけた布などで、表面の汚れを除去し、水洗後乾いた布で乾拭きする。	
		クリーナー	クリーナーをつけた布などで表面の汚れを除去する。	使用説明書に従う。
	塗膜		水をつけた布などで表面の汚れを除去する。	
		中性洗剤	洗剤をつけた布などで表面の汚れを除去し、水洗後乾拭きする。	溶剤型洗剤およびクリーナーは塗膜を溶かすので使用できない。
ひどい場合	アルマイト	スコッチブライト ^{*1} クリーナー 中性洗剤	クリーナーまたは中性洗剤を含浸させたスコッチブライトで、押しまたは圧延の節目方向に表面を軽くこすって汚れを除去した後、水洗いし乾拭きする。	一定方向にこする。コーナー部を過度にこすらないよう注意する。虹模様のときも同様にする。
	塗膜	塗装用洗剤 ^{*2}	塗装用洗剤で表面の汚れを除去する。	溶剤型洗剤は塗膜を溶かすので使用できない。
汚れが著しく腐食(点食)を含む場合	アルマイト	スコッチブライト ^{*1}	スコッチブライトで表面をこすり、汚れ、腐食生成物を除去した後乾拭きする。防食の立場からはアルマイトに適した塗装を塗布することが望ましい。	一定方向にこする。コーナー部を過度にこすらないように注意する。
	塗膜	スコッチブライト ^{*1} サンドペーパー #600中性洗剤	洗剤をつけたスコッチブライトまたはサンドペーパーで表面を軽くこすり、汚れや腐食生成物を除去し水洗後その表面に適した塗料で補修する。	

※1：スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン。

※2：塗装用洗剤は塗装の種類によりそれに適したものを使用してください。

なお、アルミサッシの表面処理方法または形状によって洗剤、清掃用具、清掃方法が異なるので、まず汚れの一部を試験的に清掃し、清掃後の表面上に異常のないことおよび洗剤の効果を確認したうえで、もっとも有効な方法を選ぶ必要があります。

樹脂製商品

取扱時の注意事項

【熱への配慮】

- ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので熱源を商品に近づけないでください。

【薬品への配慮】

- プラスチックの中でも特に酸・アルカリに対し強い性質を持っていますが、有機溶剤(シンナー・ベンジン・アセトン等)を、お手入れに使用しないでください。
- 樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し、付着しないように十分注意してください。薬剤が付着すると、ひび割れやはく離が発生するおそれがあります。また、塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤等)が窓に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合は、すみやかに洗い流してください。

【キズへの配慮】

- 日常の使用に対して十分に耐えますが、金づちなどで強く叩いたり、ナイフで削ったりしますとキズがつきますので、ご注意ください。

メンテナンスの方法

清掃は樹脂窓の汚れの程度および表面の種類により適した清掃方法、洗剤を選ぶことが大切で、実施に当たっては次のような注意が必要です。

- 清掃用具としてワイヤーブラシ、スチールウール、金べらは使用しないでください。また清掃時、小石、砂、金属片などが付着すると樹脂窓を傷つけることがあります。
- 有機溶剤(シンナー・ベンジン・アセトン等)が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合は、すみやかに洗い流してください。
- お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで強く水をかけないでください。室内側へ水が入る場合があります。

汚れの程度と清掃方法

汚れの頻度	用具および洗剤	清掃方法	備考
軽い場合		水をつけた布などで表面の汚れを除去し、水洗後乾拭きする。	ベンジン・トルエン等の有機溶剤は表面を溶かすので使用できない。
ひどい場合	中性洗剤	洗剤をつけた布などで表面の汚れを除去し、水洗後乾拭きする。	磨き粉、たわし等の硬いものでこすらないように注意する。

■各アイテムの説明

YKK APは、耐久性や合理性などの性能を追求するだけでなく、人にやさしい住まいづくりをめざしています。

毎日触れるものですから、安全面でも十分配慮しています。

しかし、誤った使い方をされたり、ちょっとした不注意から思わぬ事故になりかねません。

それぞれの機能を十分ご理解いただいたうえで、YKK APの商品をご使用ください。

注：本編の商品はYKK AP商品のみに対応します。

引違い窓・片引き窓		
BGE 31・BGE31 [GRAF工法]	P. 12	
BGE 31Wb	P. 22	
FIX窓		
BGE 31・BGE 31Wb・BGE 31e・BGE 51e・ BGE 37・BGS 31・BGS 31e	P. 25	
EXIMA 91c 防火設備組込・LAYLUS		
外倒し窓 [排煙窓 露出・隠ぺいオペレーター仕様]		
BGE 31・EXIMA 91c 防火設備組込・BGE 31e・BGE 51e	P. 26	
内倒し窓		
BGE 31 [トブラッチ仕様]	P. 27	
BGE 31 [トブラッチ 2段階オープン仕様]	P. 28	
BGE 31 [タッチラッチ 2段階オープン仕様]	P. 29	
内倒し窓 [排煙窓・隠ぺいオペレーター仕様]		
BGE 31	P. 30	
すべり出し窓		
BGE 31	P. 31	
たてすべり出し窓		
BGE 31・BGE37・EXIMA 91c 防火設備組込	P. 32	
BGE 31 [オペレーターハンドル仕様] [スリット換気仕様]	P. 35	
BGE 31・BGE37・EXIMA 91c 防火設備組込 [換気付非常用進入口仕様]	P. 37	
内開き窓		
BGH 67	P. 39	
BGH 67 [換気付非常用進入口仕様]		
片開きドア		
BGE 31	P. 44	
網戸		
可動網戸 WS10E型	P. 47	
可動網戸 落下防止ワイヤー部品 WS10E型	P. 51	
可動網戸 自走防止ストッパー WS10E型	P. 53	
可動網戸 自走防止金具 WS10E型	P. 55	
室内付可動網戸 WS11型	P. 56	
開き網戸 WS21型	P. 58	
固定網戸 外倒し窓用 [排煙窓・隠ぺいオペレーター仕様] WS41型	P. 59	
固定網戸 内倒し窓用 [トブラッチ仕様] WS40型	P. 61	
固定網戸 内倒し窓用 [トブラッチ・タッチラッチ 2段階オープン仕様] WS40型	P. 63	
収納網戸 ビューネット R型	P. 65	
収納網戸 ビューネット A型	P. 68	
収納網戸 ビューネット AF型	P. 71	
脱着ハンドル		
BGE 31・BGE37	P. 73	
お手入れ方法		
アルミ製商品・樹脂製商品	P. 74	
ガラス	P. 75	
ハンドル引手、カギ・カギ穴	P. 76	
下枠・レール	P. 78	
網戸(ネット部分)	P. 79	

引違い窓・片引き窓

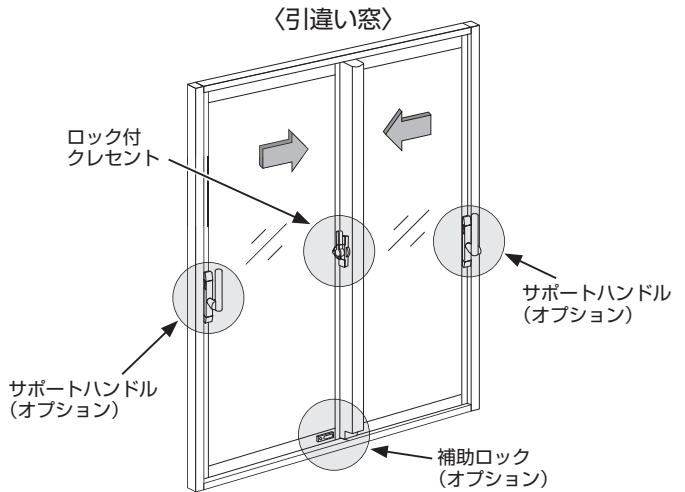
□ BGE 31 □ BGE31 [GRAF 工法]

商品説明

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ロック付クレセント(空掛け防止機能付)
- クレセント受
- 戸車
- はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので、窓を開けないでください(クレセントは施錠状態にしてください)。

【はずれ止め】

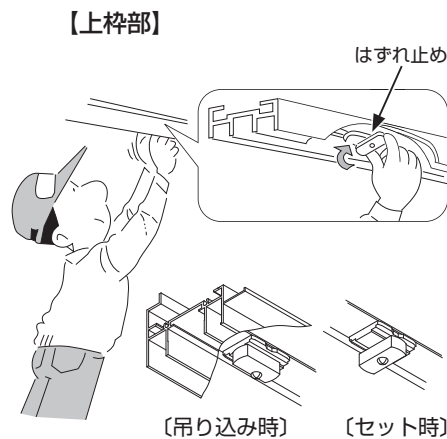
万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。 障子脱落防止のため、必ずお守りください。

△注意

- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

【上枠部のはずれ止め(引違い窓・片引き窓障子側)の操作方法】

- ① 障子を開けてください。
 - ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながら、レールに対して 90° 回転させるとセットされます。上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。
- ※ 窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または、取扱店までご相談ください

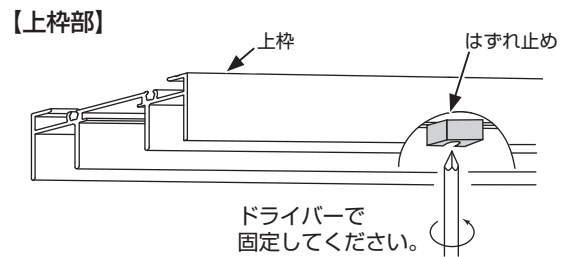


貼付ラベルイメージ

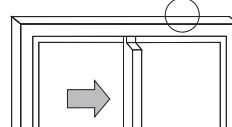
【上枠部のはずれ止め(片引き窓FIX側)の操作方法】

- ① 障子を閉じ、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
- ② はずれ止めを横にスライドして、ラベルの位置でねじを締めて固定してください。
はずれ止めがセットされます。

※ 窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。
無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。
商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または、取扱店までご相談ください。



はずれ止め正規の位置



【ボタン錠付きクレセント(オプション)】

- ボタンを施錠した状態から解錠までには、時間を要す場合がありますので在宅時はボタン錠を解錠した状態（クレセントロックが上下に動く状態）でのご使用をおすすめします。
- ボタンの押し回数の暗証設定を行った後は、ボタンの押し回数を記録して保管してください。
※ 暗証回数を忘れると解除（解錠）できなくなります。
- ボタンの押し回数の暗証を再設定する場合は、一度黄色面（初期記憶状態）に暗証を設定し直してください。
※ 一度記憶状態に戻さないとボタンの押し回数が分からなくなるおそれがあります。

【開口制限ストッパー（オプション）】

- 開口制限ストッパーは、障子の開放を制限するストッパーです。
防犯目的ではありませんので、就寝、外出時には障子を閉めクレセントによる施錠を行ってください。
- ストッパーと障子の間に手や足をはさまないようにご注意ください。

△注意

- 開口制限ストッパーがかかっている状態で、無理な開閉を行わないでください。破損する場合があります。
- 専用キーは入居者・管理者が保管し、なくさないようご注意ください。

【回転ストッパー（オプション）】

お願い

- ご使用する際には必ず、上下両方をセットしてください。部品の破損の原因になります。

【指はさみ防止用ストッパー（オプション）】

お願い

- 指はさみ防止用ストッパーが作動している状態で、無理な開閉を行わないでください。部品の破損の原因になります。

【換気小窓(内倒し型)パネルタイプ(オプション)】

- 風の強い時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- 風にあおられる恐れがあります。開閉の際ご注意ください。
- 就寝、外出時には必ず障子をお閉めください。
- 障子を開けた状態で、障子に無理な力をかけないでください。
人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、障子が破損、落下するおそれがあります。

【換気かまち(オプション)】

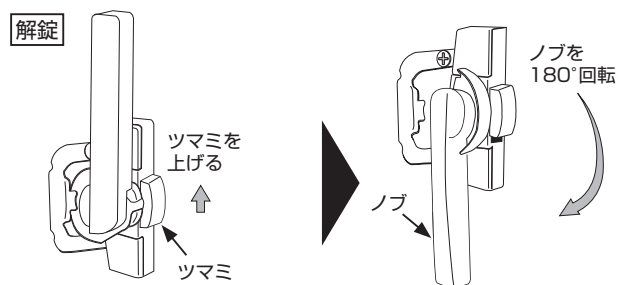
- 降雨時、強い風の時には、換気かまちを「とじる」の状態にしてください。

操作

【クレセント】

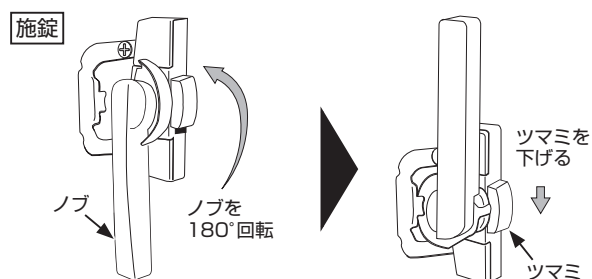
【解錠方法】

- ① ツマミを上部に押し上げロックを解除してください。
 - ② ノブを下に 180° 回転させてください。
- ※ ツマミ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除(解錠)させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は、補助ロックが解除されているかを確認してください。

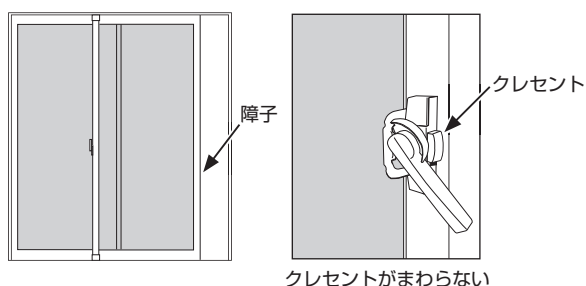


【施錠方法】

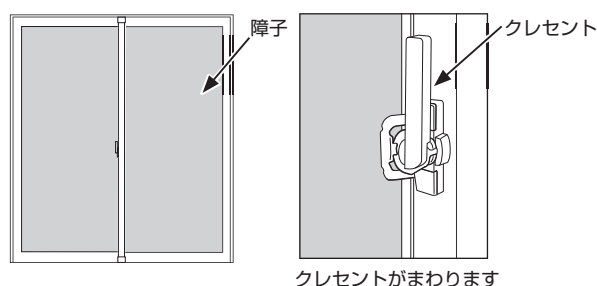
- ① 障子を完全に閉じてください。
 - ② ノブを上 180° 回転してください。
 - ③ ツマミを下部に押し下げてください。クレセントが回転しなくなります。
- ※ クレセントは、空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態では回転できません。



障子が少し開いた状態



障子が閉じた状態



△ 注意

- 風の強いときは、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

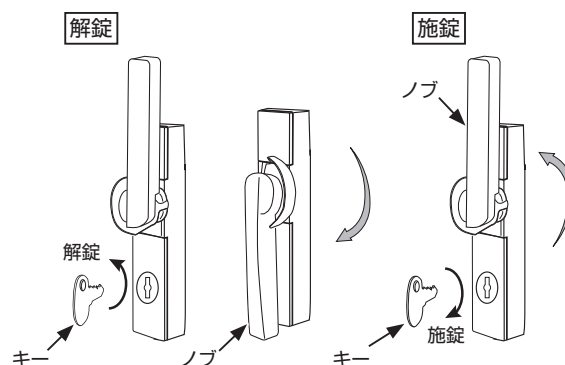
【キー付クレセント(オプション)】

【解錠方法】

- ① キーを入れて 180° まわしてください。
- ② ノブを下に 180° 回転させてください。

【施錠方法】

- ① 障子を完全に閉じてください。
- ② ノブを上 180° 回転させてください。
- ③ キーを入れて 180° まわしてください。ノブが回転しなくなります。



お願い

- キーを差し込んだままでクレセントノブを回転させないでください。
- キーは入居者・管理者が保管し、なくさないようご注意ください。

【ボタン錠付きクレセント(オプション)】

防犯性へ配慮したボタン付きのクレセントです。任意の暗証番号の設定が可能です。

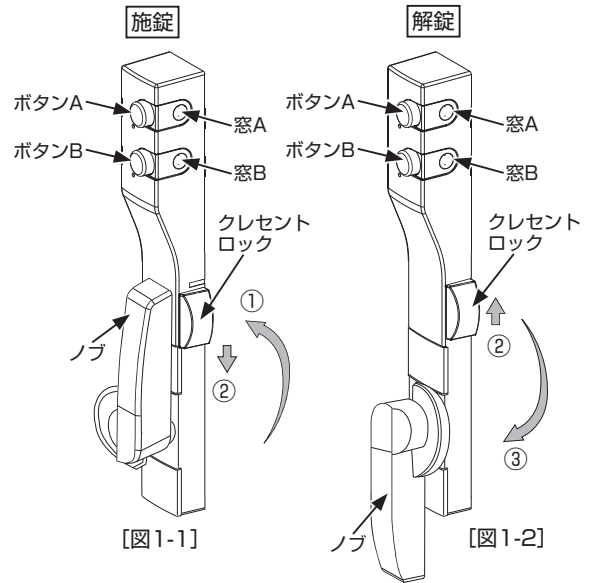
【初期設定のまま使用する場合】

1-1 施錠方法【図1-1】

- ①「ノブ」を回して、クレセントを掛けてください。
 - ②「クレセントロック」を下げて、2重ロックを掛けてください(ここまでは通常のクレセントと同様の操作になります)。
 - ③「ボタンA」「ボタンB」を数回押してください。
- ※ 1回でも「ボタンA」「ボタンB」を押すと「クレセントロック」がロックされます。

1-2 解錠方法【図1-2】

- ①「ボタンA」「ボタンB」を「窓A」「窓B」に黄色面が出るまで押します。
 - ②「クレセントロック」を上げてください。
 - ③「ノブ」を回して、クレセントを解除(解錠)します。
- ※ 初期設定は黄色面で「クレセントロック」が解除(解錠)されるように設定されています。



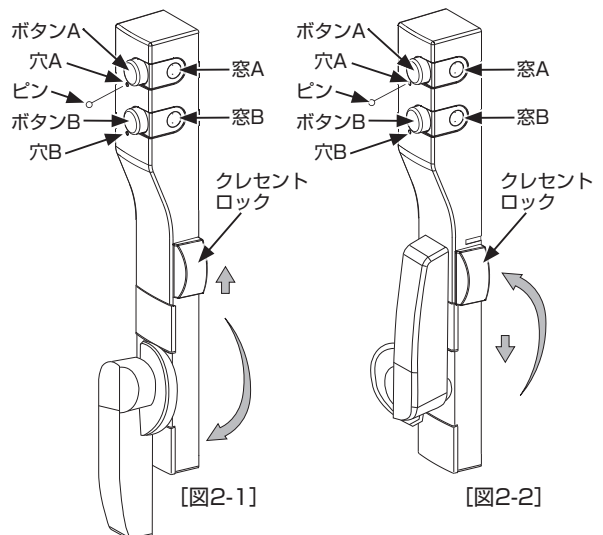
【暗証設定のまま使用する場合】

2-1 暗証設定の仕方【図2-1】

- ① ボタン錠を解除(解錠)状態にしてください。(「窓A」「窓B」も黄色面を出し、「クレセントロック」を必ず上げた状態にしてください。)
- ② 付属の「ピン」を「穴A」に押し込んだまま「ボタンA」を1回～7回押してください。設定したい回数分ボタンを押した後、「ピン」を抜いてください。押した回数が黄色面からの暗証回数となります。
- ③ 「穴B」も「穴A」と同様に黄色面からの暗証回数を設定してください。

2-2 暗証設定の確認【図2-2】

- ① 「クレセントロック」を下げてから「窓A」「窓B」に黄色面を出してください。その時に「クレセントロック」が上がらないことを確認してください。その状態から2-1の②、③で設定した暗証回数分「ボタンA」「ボタンB」を押してください。「クレセントロック」が上がれば暗証確認完了です。

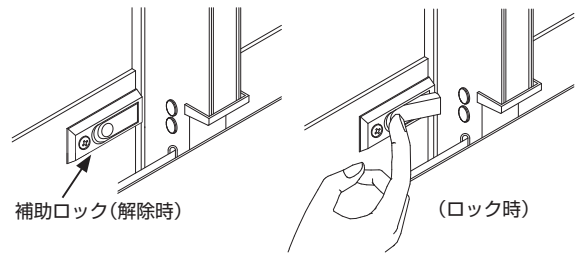


【再設定の方法】

ボタン錠を解錠した状態(「クレセントロック」が上下に動く状態)で「クレセントロック」を上げて「ピン」を「穴A」に押し込んだまま、「窓A」に黄色面が出るまで「ボタンA」を押してください(「ボタンB」も同様)。黄色面に設定後2-1の①から順に暗証設定を行ってください。

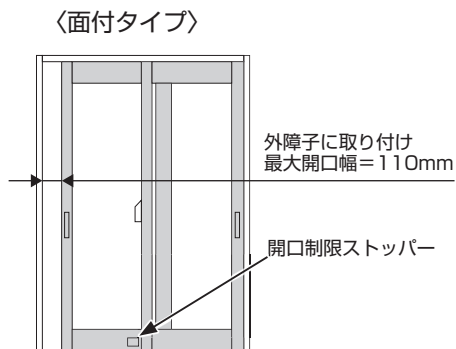
【補助ロック(オプション)】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除（解錠）させる時は、起き上がっている部分を押ししてください（補助ロック作動時には、障子をスライドできません）。

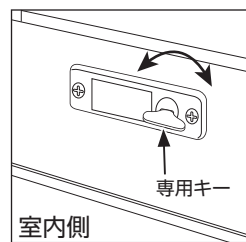


【開口制限ストッパー (オプション)】

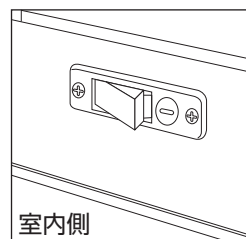
窓の下部にオプションで設定されている障子の開放を制限するストッパーです。



- ① 専用キーを 180° まわします

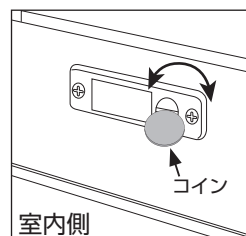


- ② ストッパーがかかります。

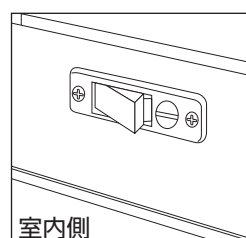


【コイン操作仕様】

- ① コインを差し込み、180° まわします。

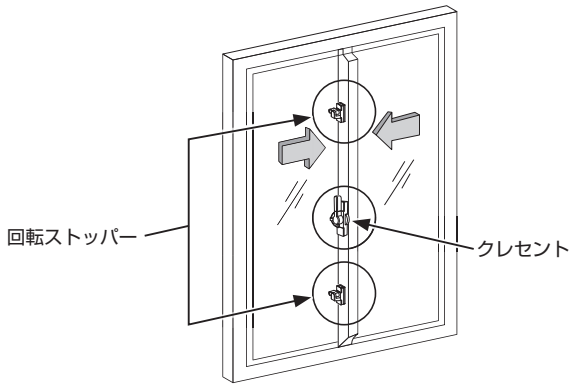


- ② ストッパーがかかります。



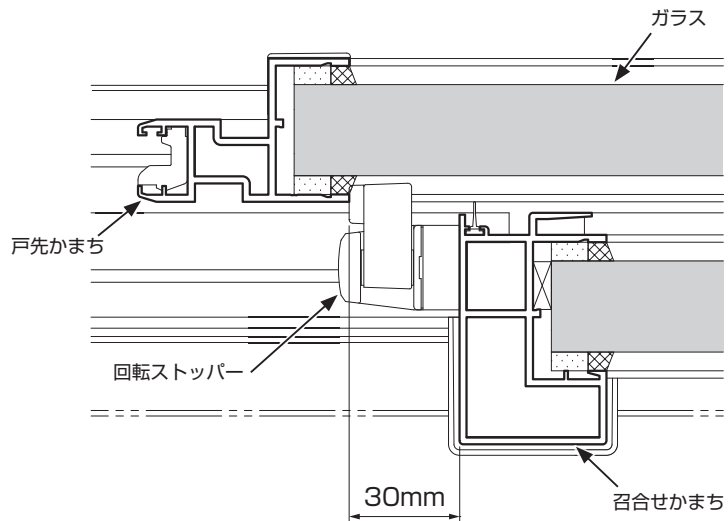
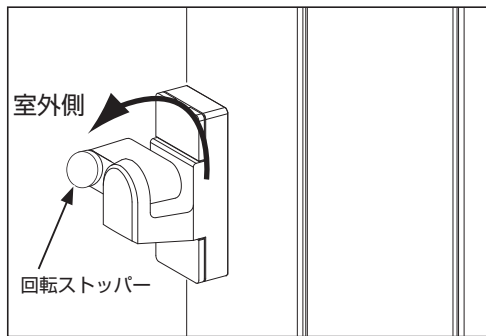
【回転ストッパー（オプション）】

障子の引き違いを防止するストッパーです。
戸先かまちと召合せかまちの間にクリアランスを設けられます。



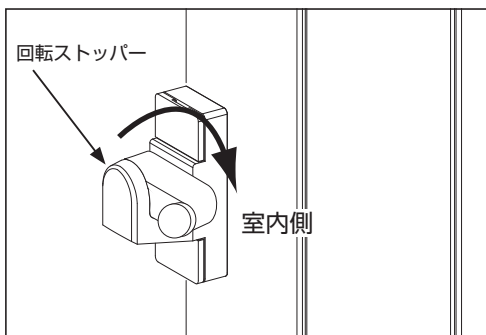
【回転ストッパー設定方法】

回転ストッパーを室外側へ回転させてください。
※障子がどの位置でも、戸先かまちと召合せかまちの間にクリアランスを設けられます。



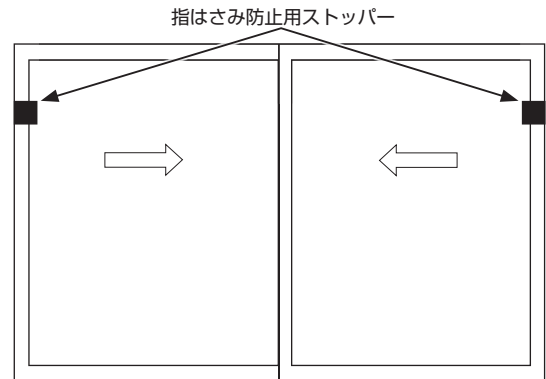
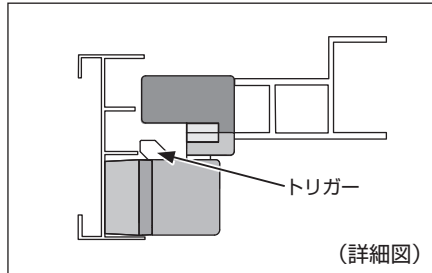
【回転ストッパー解除方法】

回転ストッパーを室内側へ回転させることで解除状態となり、障子の行き違いが可能です。
※外障子を開放し網戸を使用する際は、回転ストッパーを解除し、障子をすべて引き込んだ状態でご使用ください。



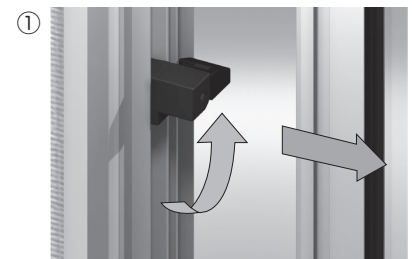
【指はさみ防止用ストッパー（オプション）】

枠と障子の間にすきま間を設け、誤って閉めたときに、枠と障子の間で指をはさむことを防ぐストッパーです。



【ストッパー作動時】

① 障子を開くと、バネの力により、自動的に作動状態となります。



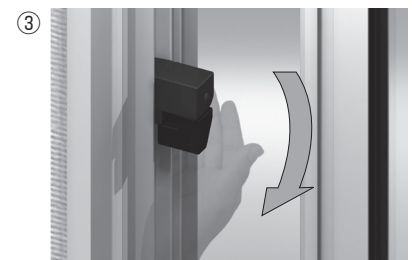
② 誤って障子を閉めた時に、障子がストッパーに当たり、閉まりきらないよう、すき間を作ります。



【ストッパー解除時】

③ ストッパーを室内側に（※）回転させると、一旦ストッパーが固定され、指はさみ防止機能が解除されます。

※ 内障子側にストッパーが取り付けられている場合は、室外側へ回転させてください。



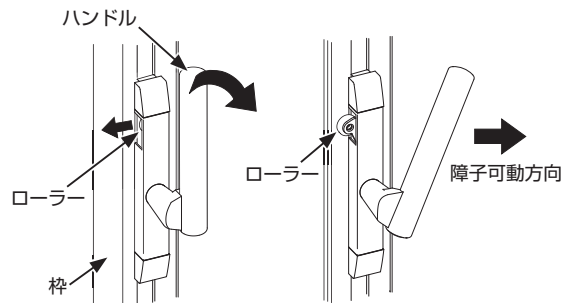
④ ストッパーを解除したことを確認した後、障子を閉めてください。障子を閉めるとトリガーが押され、再び作動待機状態になります。



商品に故障などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または取扱店までご相談ください。

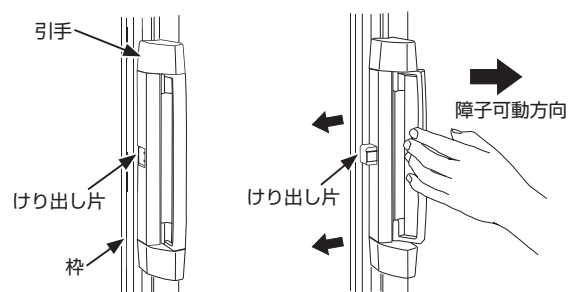
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます（ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します）。
※ハンドルは、障子可動方向に一定の角度（約 20°）で止まります。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますので、ご注意願います。



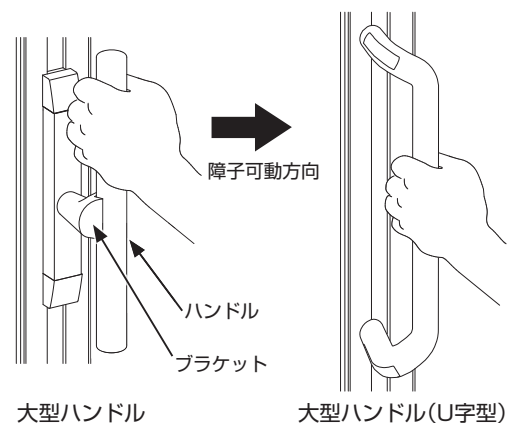
【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます（引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します）。
※引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



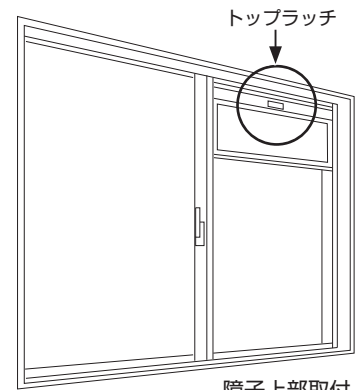
【大型ハンドル/大型ハンドル(U字型) (オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
- ② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。
※窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますので、ご注意願います。



【換気小窓【内倒し型】パネルタイプ(オプション)】

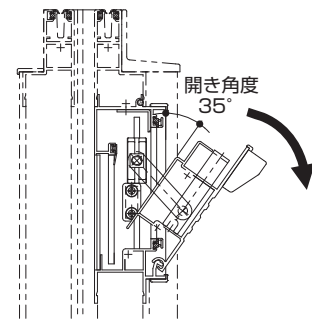
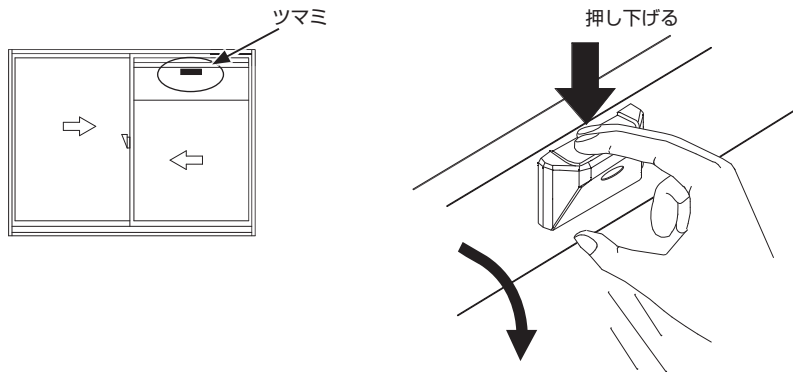
障子を閉めた状態で換気を行うことができます。



障子上部取付

【内倒し型 開け方】

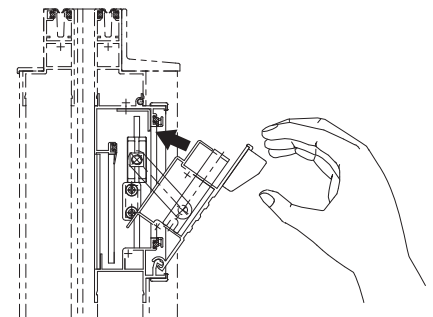
換気窓の障子上框のトップラッチのつまみを押し下げてください。
ロックが解除されると同時に障子が内側に倒れます。
ストッパーが働き、設定された角度(約35°)で障子がストップします。



- つまみの端部での操作ではうまく押し下らない場合があります。操作のしやすい中央部で操作してください。
- ラッチ解除後も急には障子が倒れにくい設定となっております。つまみを下げながら手前に引くように開けてください。

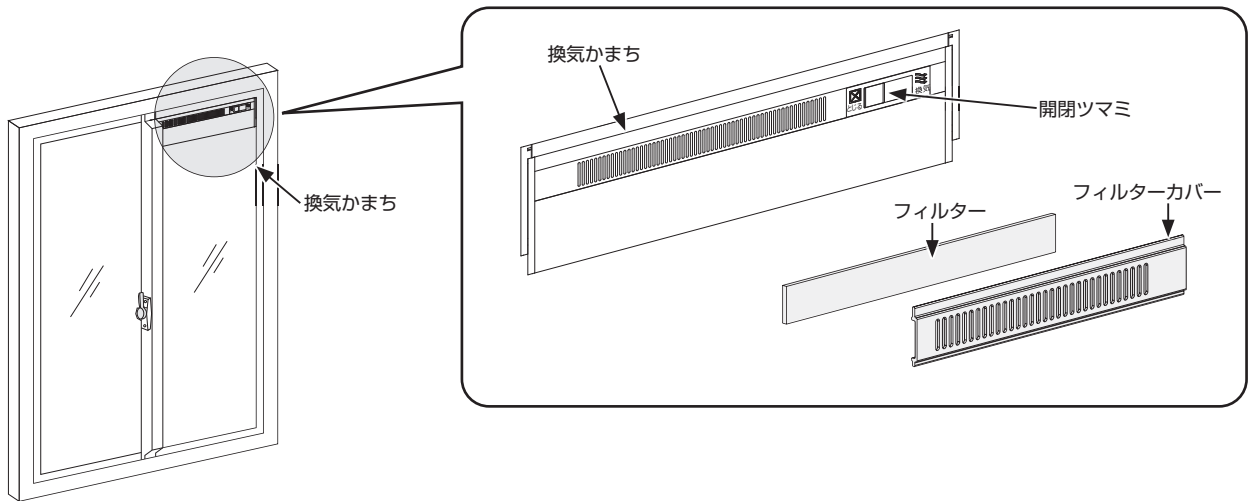
【内倒し型 閉め方】

障子を閉める時は、つまみ部に手をあててゆっくりと押ししてください。
カチッと音がなりロックがかかります。
締め金具(トップラッチ)がロックされたことをご確認ください。



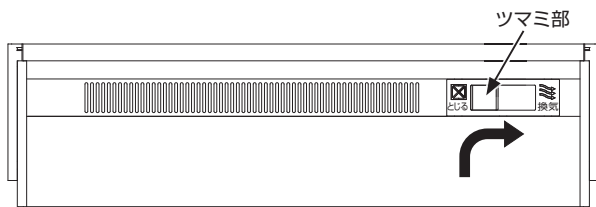
【換気かまち(オプション)】

障子を閉めた状態で換気を行うことができます。
ツマミをスライドさせて、換気口を開閉します。



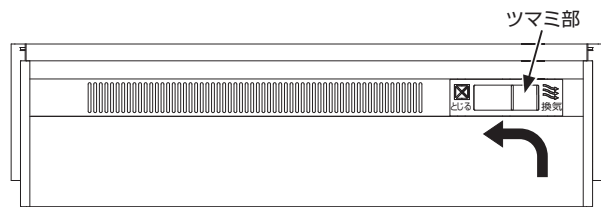
【開け方】

開閉ツマミを押しながら右端までスライドさせてください。



【閉め方】

開閉ツマミを押しながら左端までスライドさせてください。



【フィルター (オプション部品)】交換方法

① フィルターカバーとフィルターを持ち上げてください。

② フィルターカバーとフィルターを手前に引き出しフィルターをフィルターカバーから引き出してください。

③ フィルターを交換してください。

※取付けは逆の手順で行ってください。

お願い

上 長い

下 短い

すき間がないこと

●取付け後、フィルターカバーの下にすき間がないことを確認してください。

※フィルターは水洗い(水槽内での押し洗い)することで、繰り返し使用することができます。

引違い窓

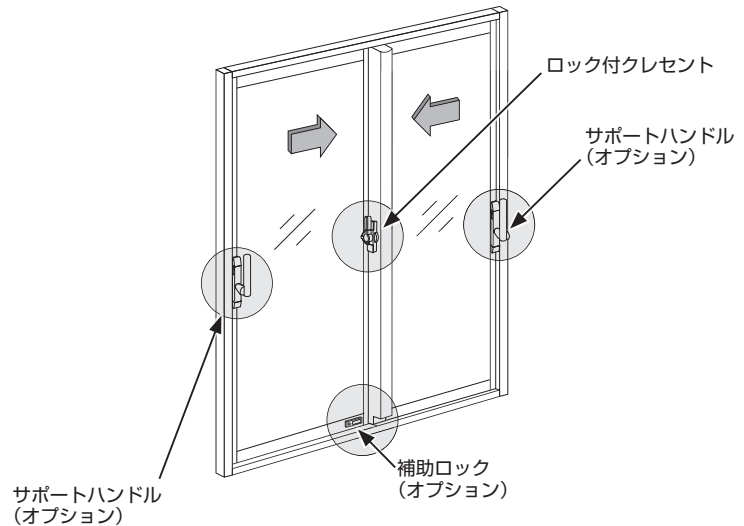
□ BGE 31Wb

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ・ ロック付クレセント
(空掛け防止機能付)
- ・ クレセント受
- ・ 戸車
- ・ はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

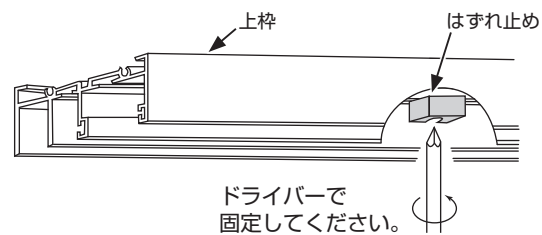
万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・ 上枠部のはずれ止めの操作方法

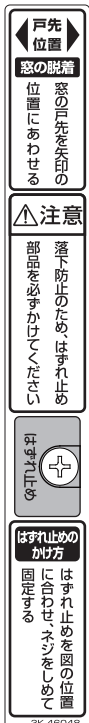
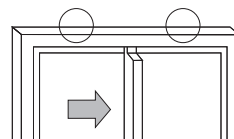
- ① 障子を開け、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
- ② はずれ止めを横にスライドして、ラベルの位置でねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

※ 窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。
無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または、取扱店までご相談ください。

【上枠部】



はずれ止め正規の位置



貼付ラベル
イメージ

△注意

- ・ お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

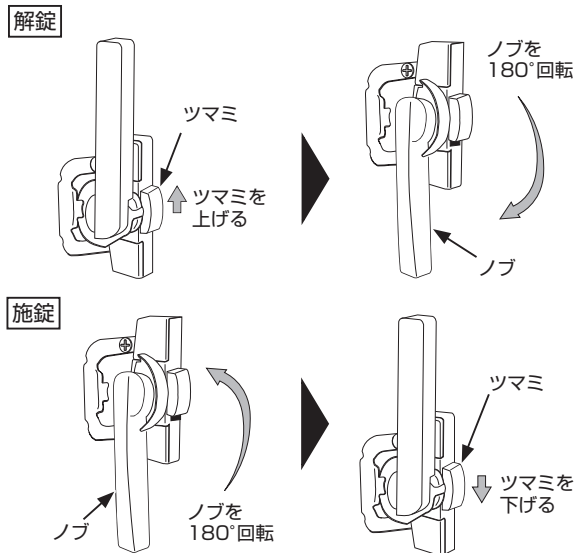
【クレセント】

(解錠方法)

- ① ツマミを上部に押し上げロックを解除してください。
 - ② ノブを下に 180° 回転させてください。
- ※ ツマミ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除(解錠)させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は補助ロックが解除されているかを確認してください。

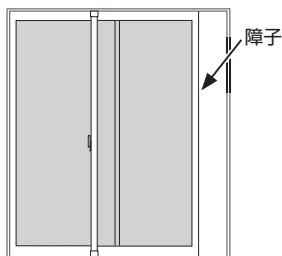
(施錠方法)

- ③ 障子を完全に閉じてください。
- ④ ノブを上を 180° 回転させてください。
- ⑤ ツマミを下部に押し下げてください。クレセントが回転しなくなります。



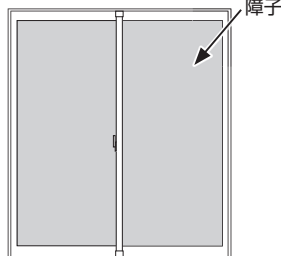
※ クレセントは空掛け防止機能付のため、障子が閉じきっていない状態では回転できません。

障子が少し開いた状態



クレセントが回らない

障子が閉じた状態



クレセントが回ります

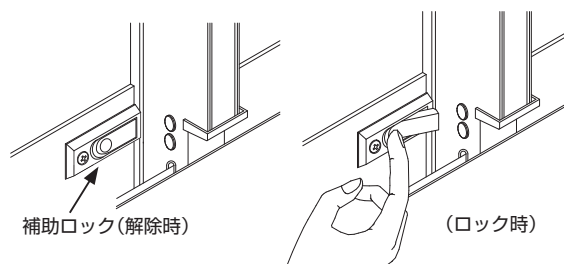
⚠注意

- 風の強いときは、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。

操作

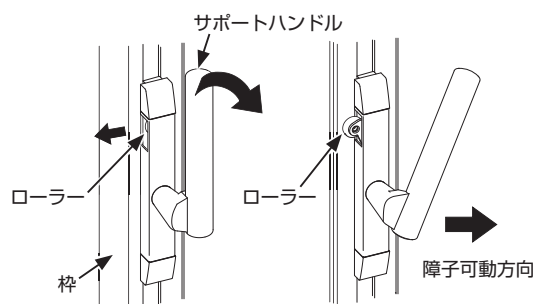
【補助ロック(オプション)】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除（解錠）させる時は、起き上がっている部分を押ししてください（補助ロック作動時には、障子をスライドできません）。



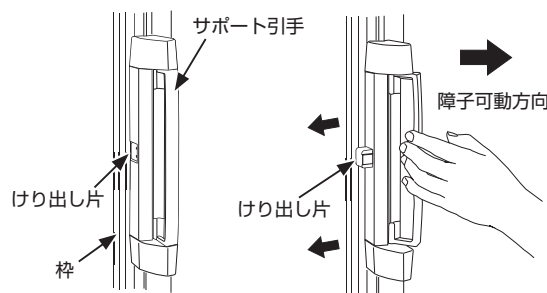
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます（ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します）。
※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度（約 20°）で止まります。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



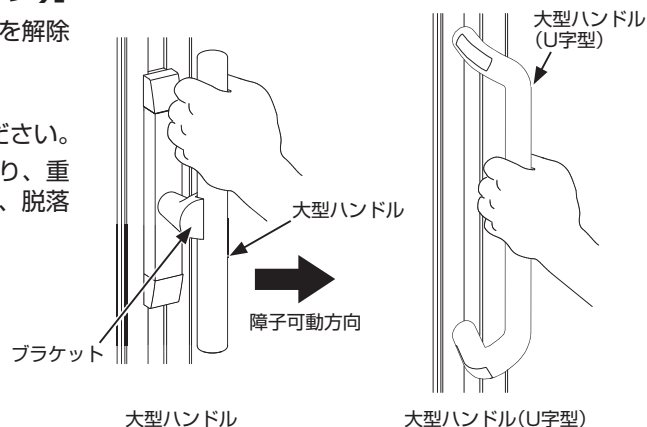
【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます（引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します）。
※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



【大型ハンドル/大型ハンドル(U字型) (オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除（解錠）します。
- ② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。
※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。

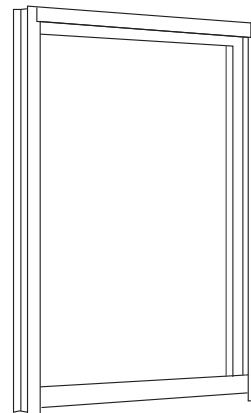


FIX窓

- BGE 31 BGE 31Wb BGE 31e BGE 51e BGE 37 BGS 31
- BGS 31e EXIMA 91c 防火設備組込 LAYLUS

商品説明

採光に適した窓です。



外倒し窓【排煙窓 露出・隠ぺいオペレーター仕様】

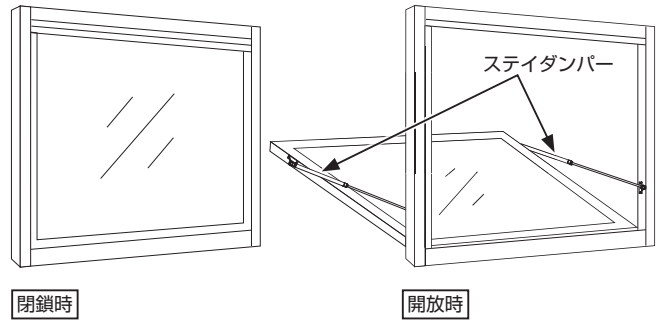
□ BGE 31 □ EXIMA 91c 防火設備組込 □ BGE 31e □ BGE 51e

商品説明

換気するのに必要な開口面積が十分に確保でき、排煙口として使用できる外倒し窓【排煙窓】です。

主要部品

- ・ステイダンパー
- ・丁番



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・閉鎖ハンドルが動かなくなった時は、さらに力をいれてまわしたりしないでください。
 - ・降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので、窓を開けないでください。
 - ・窓閉鎖時には、閉鎖用ハンドルを反時計回りには絶対まわさないでください。
 - ・本機が取り付けられている窓は、絶対に固定しないでください。
 - ・冬季など、使用しない時期でも1カ月に1度位は窓の開閉テストを行ってください。
(非常時のためのテストと本機の機能確認)
- ※ オペレーターは、メーカー保証期間が1年になっておりますので、定期点検を実施し、常に快適な状態でご使用ください。
アフターサービス、保守点検などは、メーカーにご依頼ください。

注意

- ・風の強い時は、ハンドルをまわしきって窓を閉めた状態にしてください。
窓を閉めないで障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

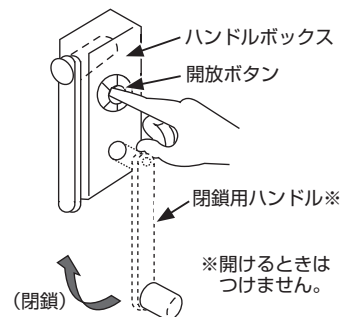
【SL-80、SL-88の場合】

【開窓】

ハンドルボックスの開放ボタンを押すと、閉鎖状態から1窓ずつ開いていきます。
(窓の開放を途中で止めることはできません)

【閉窓】

- ① ハンドルボックスの横に掛けてある閉鎖用ハンドルを取りはずして、六角穴に差し込み、矢印方向にまわすと1窓ずつ閉鎖します。
ハンドルが急に重くなり、動かなくなったら操作を止めてください。
窓が全部閉まり切った状態になっています。
- ※ 降雨時、風の強い時、窓が完全に閉鎖されているかどうか、目視でご確認ください。
- ② 閉鎖用ハンドルをはずし、もとの位置に収納してください。
- ハンドルボックスには、用途に応じて露出タイプ、埋込タイプ、埋込扉タイプ、ハンドル常設型の4つのタイプがありますが、操作は全て同じです。



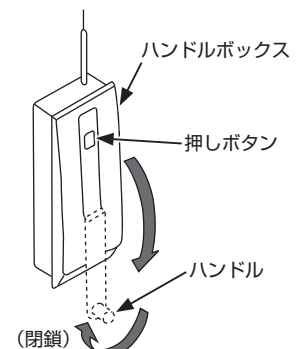
【MD-W、MD-NWの場合】

【開窓】

ハンドルボックスの押ボタンを押し込んでください。各窓が順々に開窓します。

【閉窓】

- ① ハンドルが浮き上がっていますので、ひっくり返して握りの部分を右へまわしてください(1窓ずつ閉鎖します)。
 - ② 最後の窓が閉まったら(目視で確認しながら操作してください)、操作をストップしてください。
- ※ 降雨時、風の強い時、窓が完全に閉鎖されているかどうか、目視でご確認ください。
- ③ 閉窓後は、末端でハンドルが真上になるように、一旦ハンドルを左回転で戻してから操作前と逆の順序で、ハンドルをもとの位置へ押し込んでください。
- ハンドルボックスには、用途に応じて露出タイプ、埋込タイプ、埋込扉タイプ、ハンドル常設型の4つのタイプがありますが、操作は全て同じです。



内倒し窓【トプラッチ仕様】

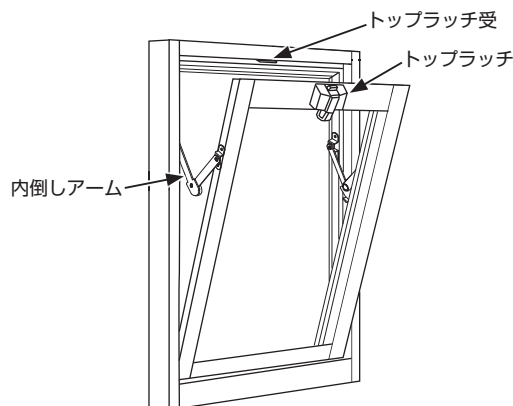
□ BGE 31

商品説明

換気に適した内倒し窓です。
障子が室内側に倒れますので、
外部への開放スペースがないところに適しています。

主要部品

- トプラッチ
- トプラッチ受
- 内倒しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

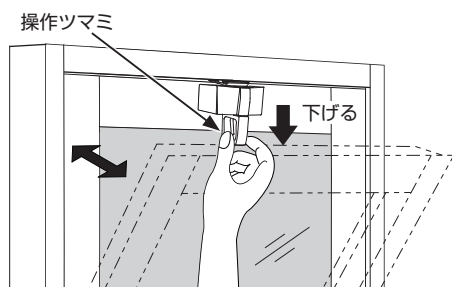
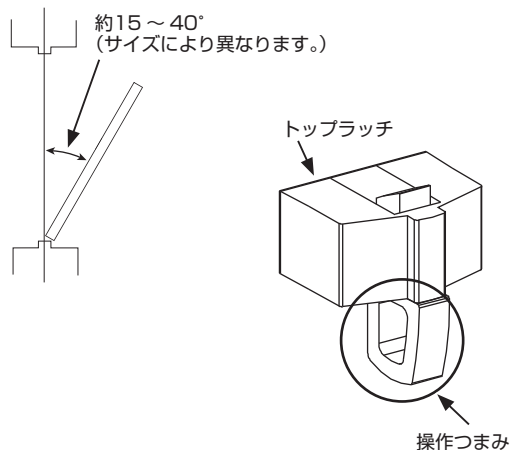
- 降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので、窓を開けないでください。
- 風にあおられるおそれがあります。
トプラッチの操作つまみをしっかりと保持し、注意して開閉してください。

⚠注意

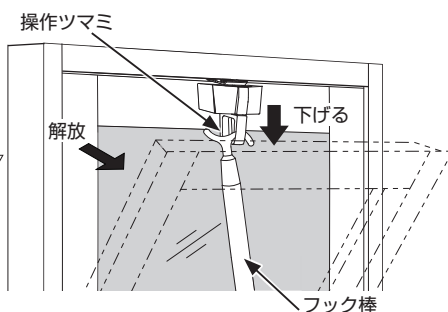
- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。
錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

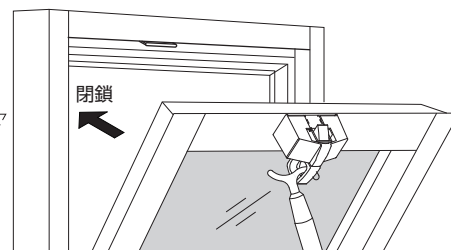
- トプラッチの操作つまみに、フック棒を掛けて静かに下方へ引いてください。
手で操作する時は、トプラッチの操作つまみを指でつまみ、引き下げてください。
ロックが解除されます。
- ①の状態から障子が止まるまで、フック棒をはずさないでゆっくり倒してください。
- ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- 障子を閉める時は、トプラッチの操作つまみに、フック棒を掛けて、静かに押し上げて閉めてください。
手で操作する時は、トプラッチの操作つまみを指でつまみ、押し上げてください。
トプラッチがロックされたことを確認してください。



(手による開閉操作)



(フック棒による開閉操作)



内倒し窓【トプラッチ 2 段階オープン仕様】

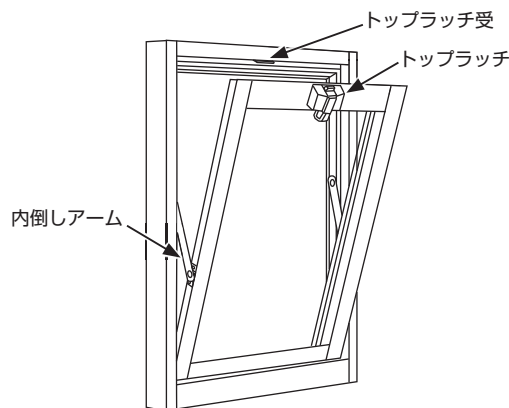
□ BGE 31

商品説明

換気に適した内倒し窓です。
障子が室内側に倒れますので、
外部への開放スペースがないところに適しています。
メンテナンス性にも配慮した【2段階オープン仕様】です。

主要部品

- トプラッチ
- トプラッチ受
- 内倒しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

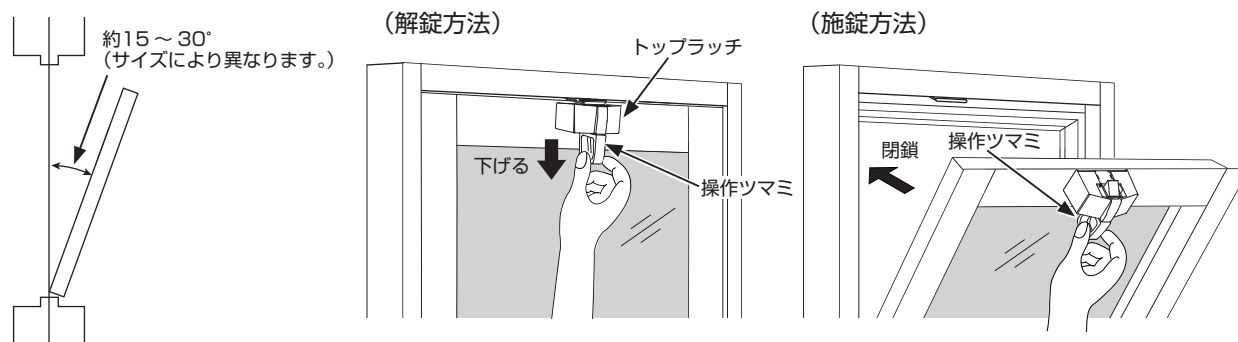
- 降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので、窓を開けないでください。
- 風にあおられるおそれがあります。
トプラッチの操作ツマミをしっかりと保持し、注意して開閉してください。

注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。
錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

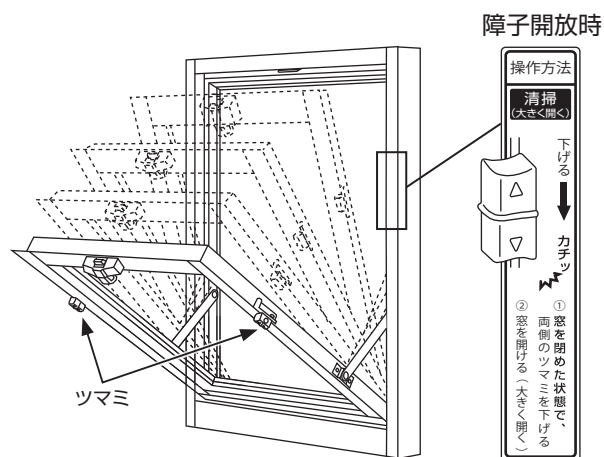
操作

- トプラッチの操作ツマミを指でつまみ、引き下げてください。ロックが解除されます。
- ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- 窓を施錠する時には、トプラッチの操作ツマミを指でつまみ、押し上げてください。
トプラッチがロックされたことを確認してください。



【ガラス清掃時】

- 障子が閉じた状態で障子左右にあるツマミをそれぞれ下向きに1段下げます（カチッと音がするまで、下向きに押ししてください）。
- 上記①の操作後、障子を開くと、障子が開放（約60°）します。
※ 障子は手前に大きく倒れますので、開放時にご注意ください。
- 掃除が終了しましたら、障子を閉じます。
※ 1度障子を閉めると、開放機能は自動的に解除されます（換気時の開口角度に自動的に設定されます）。



貼付ラベルイメージ

内倒し窓【タッチラッチ 2段階オープン仕様】

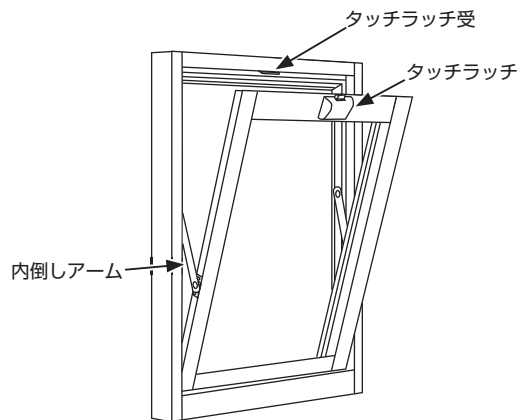
□ BGE 31

商品説明

換気に適した内倒し窓です。
障子が室内側に倒れますので、
外部への開放スペースがないところに適しています。
メンテナンス性にも配慮した【2段階オープン仕様】です。
また、窓をワンブッシュで開けられます。

主要部品

- タッチラッチ
- タッチラッチ受
- 内倒しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

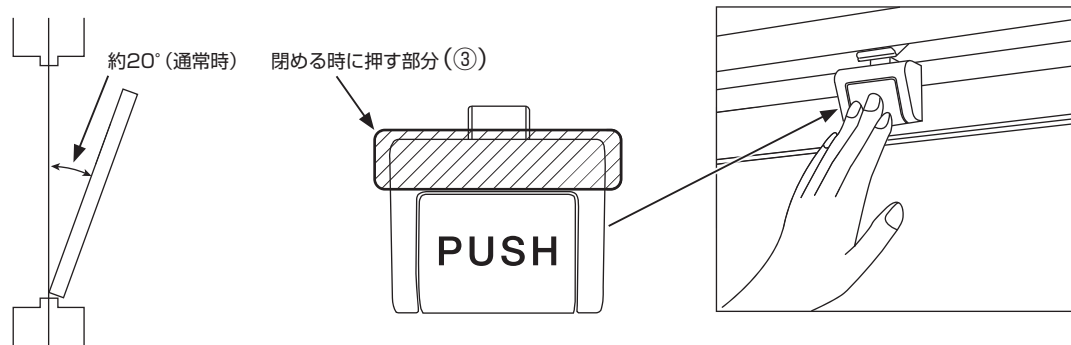
- 降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので、窓を開けないでください。
- 風にあおられるおそれがあります。
障子を保持し、注意して開閉してください。

△注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。
錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

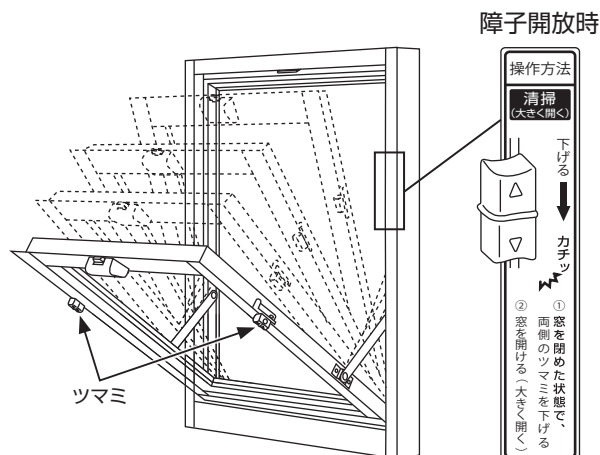
操作

- ① タッチラッチの「PUSH」ボタンを押します。
- ② ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ③ 障子を閉める時には、タッチラッチの上部を手で押して閉めてください。
タッチラッチがロックされたことを確認してください。



【ガラス清掃時】

- ① 障子が閉じた状態で障子左右にあるツマミをそれぞれ下向きに1段階下げます（カチッと音がするまで、下向きに押してください）。
- ② 上記①の操作後、障子を開くと、障子が開放（約60°）します。
※ 障子は手前に大きく倒れますので、開放時にご注意ください。
- ③ 掃除が終了しましたら、障子を閉じます。
※ 1度障子を閉めると、開放機能は自動的に解除されます（換気時の開口角度に自動的に設定されます）。



貼付ラベルイメージ

内倒し窓【排煙窓・隠ぺいオペレーター仕様】

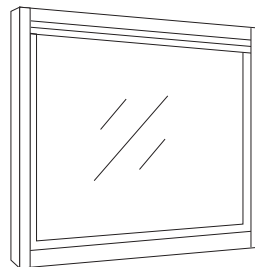
□ BGE 31

商品説明

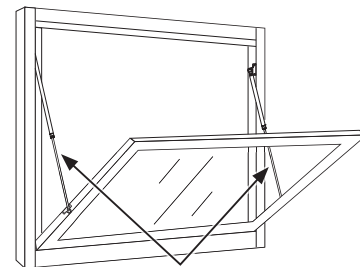
換気するのに必要な開口面積が十分に確保でき、排煙口として使用できる内倒し窓【排煙窓】です。外部への開放スペースがないところに適しています。

主要部品

- ・ステイダンパー
- ・障子コーナーキャップ
- ・丁番または形材丁番



閉鎖時



開放時

ステイダンパー

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・閉鎖ハンドルが動かなくなった時は、さらに力をいれてまわしたりしないでください。
- ・降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので、窓を開けないでください。
- ・窓閉鎖時には、閉鎖用ハンドルを反時計回りには絶対にまわさないでください。
- ・本機が取り付けられている窓は、絶対に固定しないでください。
- ・冬季など、使用しない時期でも1カ月に1度位は窓の開閉テストを行ってください。
(非常時のためのテストと本機の機能確認)

※オペレーターは、メーカー保証期間が1年になっておりますので、定期点検を実施し、常に快適な状態でご使用ください。アフターサービス、保守点検などは、メーカーにご依頼ください。

△注意

- ・風の強い時は、ハンドルをまわしきって窓を閉めた状態にしてください。
窓を閉めないで障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

【SL-88の場合】

【開窓】

ハンドルボックスの開放ボタンを押すと、閉鎖状態から1窓ずつ開いていきます。
(窓の開放を途中で止めることはできません)

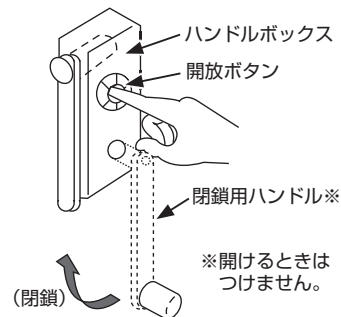
【閉窓】

- ① ハンドルボックスの横に掛けてある閉鎖用ハンドルを取りはずして、六角穴に差し込み、矢印方向にまわすと1窓ずつ閉鎖します。
ハンドルが急に重くなり、動かなくなったら操作を止めてください。
窓が全部閉まり切った状態になっています。

※ 降雨時、風の強い時、窓が完全に閉鎖されているかどうか、目視でご確認ください。

- ② 閉鎖用ハンドルをはずし、もとの位置に収納してください。

- ハンドルボックスには、用途に応じて露出タイプ、埋込タイプ、埋込扉タイプ、ハンドル常設型の4つのタイプがありますが、操作は全て同じです。



【MD-NWの場合】

【開窓】

ハンドルボックスの押ボタンを押し込んでください。各窓が順々に開窓します。

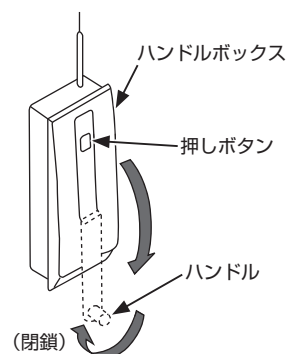
【閉窓】

- ① ハンドルが浮き上がっていますので、ひっくり返して握りの部分を右へまわしてください(1窓ずつ閉鎖します)。
- ② 最後の窓が閉まったら(目視で確認しながら操作してください)、操作をストップしてください。

※ 降雨時、風の強い時、窓が完全に閉鎖されているかどうか、目視でご確認ください。

- ③ 閉窓後は、終端でハンドルが真上になるように、一旦ハンドルを左回転で戻してから操作前と逆の順序で、ハンドルをもとの位置へ押し込んでください。

- ハンドルボックスには、用途に応じて露出タイプ、埋込タイプ、埋込扉タイプ、ハンドル常設型の4つのタイプがありますが、操作は全て同じです。



すべり出し窓

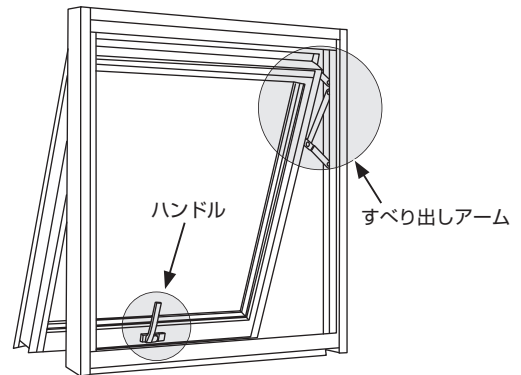
□ BGE 31

商品説明

換気、採光に適しているため、ユーティリティールーム(家事室等)、サニタリールーム(化粧室、洗面所、浴室)など比較的せまい場所の窓として効果的に用いられます。

主要部品

- ・ハンドル
- ・すべり出しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

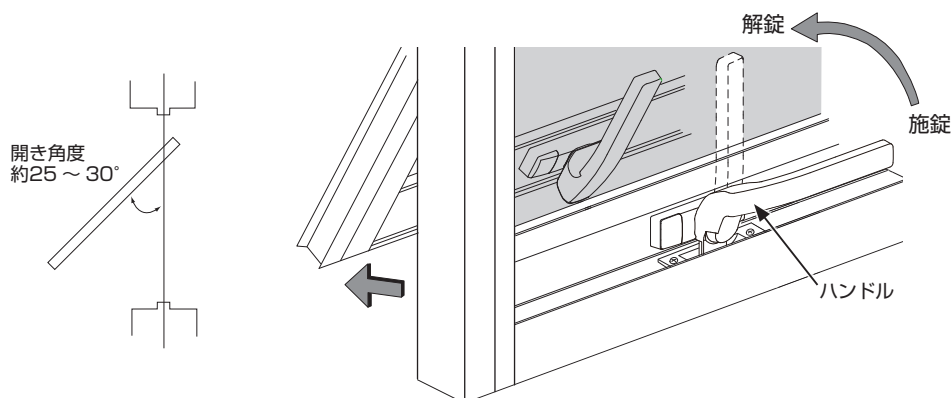
- ・ 降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください（ハンドルは施錠状態にしてください）。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかりと持って、注意して開閉してください。

⚠️ 注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。
錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

- ① ハンドルを 90° 回転してください。
ロックが解除されます。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
- ③ ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ④ 障子を閉める時は、ハンドルを上向きのまま引いてください。
- ⑤ 障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



たてすべり出し窓

□ BGE 31 □ BGE 37 □ EXIMA 91c 防火設備組込

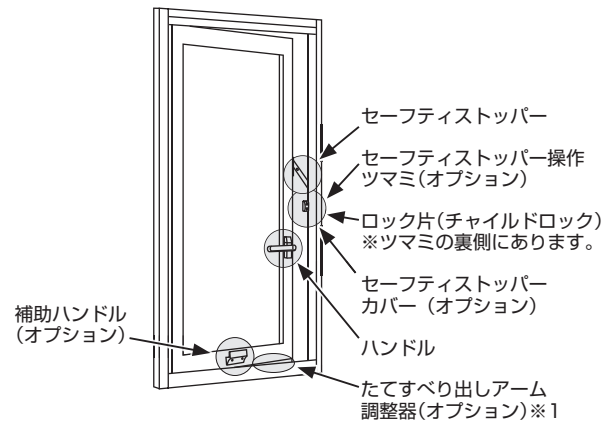
商品説明

外部側に障子が開くたてすべり出し窓です。
障子はセーフティストッパーによって開口約70mmで止まります。
清掃時は、セーフティストッパーを解除する事により、
障子は約90°まで開き、ガラス外面の清掃が室内から行えます。

主要部品

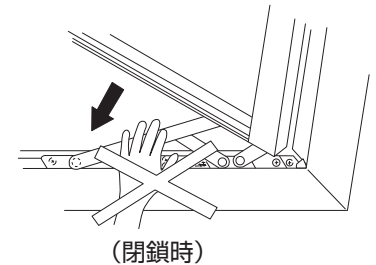
- ・ハンドル
- ・セーフティストッパー
- ・ロック片(チャイルドロック)
- ・たてすべり出しアーム
- ・セーフティストッパー解除部品(オプション)
- ・セーフティストッパー操作ツマミ(オプション)
- ・セーフティストッパーカバー(オプション)
- ・補助ハンドル(オプション)
- ・調整器(オプション)※1

※1BGE 31のみ



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・通常ご使用時はセーフティストッパーが設定された状態として、必ずロック片(チャイルドロック)をかけた状態にてご使用ください。
 - ・障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
 - ・降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください。(ハンドルは施錠状態にしてください)
 - ・風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
 - ・障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー※が設定されるまで開いてください。
- ※セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。
- ・窓が開いた状態では、ハンドルをまわさないでください。



⚠注意

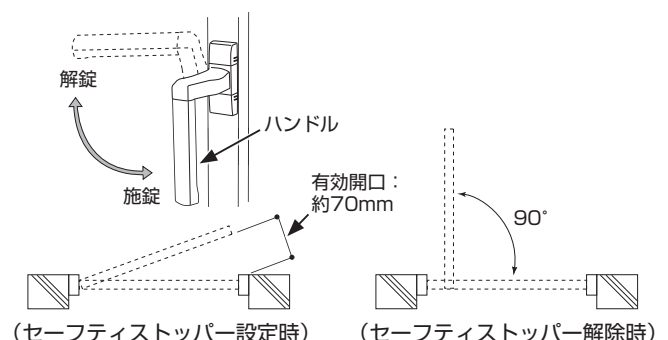
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。
錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

🙏お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器から手を離してください。
手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを上へ90°回転してください。ロックが解除します。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。標準設定時の有効開口は約70mmです。
- ③ 障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きに回転し、ロック(施錠)してください。
障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。
また、障子を閉める際ハンドルに手が届きにくい場合等は、補助ハンドル(オプション)で障子を引き寄せるように閉めてください。



メンテナンス

【セーフティストッパー操作/セーフティストッパー解除部品(オプション)】

【ガラス清掃時の操作】

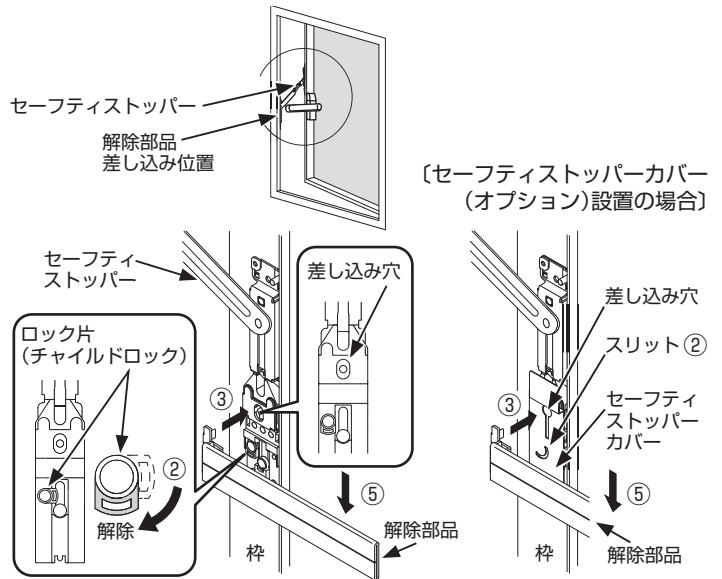
半開(通常時)→全開(清掃時)

〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます〉

- ① 窓を開けます。⇒ P.32 操作より
- ② 枠内部にあるロック片(チャイルドロック)をボールペン等の先が細いもので、時計回りに90°回転させ、ロック片を「解除」にします(右図参照)。

【セーフティストッパーカバー(オプション)設置の場合】

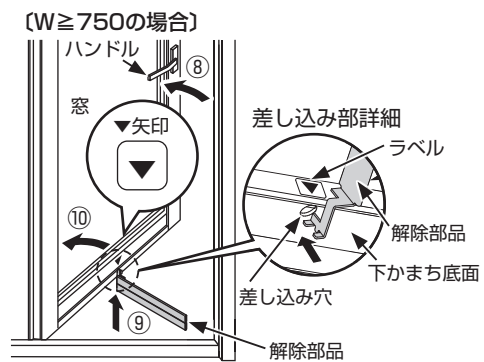
- ② スリット内のロック片(チャイルドロック)を時計回りに90°回転させ、ロック片を「解除」にします。
- ③ 差し込み穴に、解除部品の先端を差し込みます。
- ④ 差し込み穴に、解除部品の先端を差し込んだまま、解除部品に当たる手前まで窓を閉めます。
- ⑤ 解除部品を押し下げたまま、窓を少し開けます(セーフティストッパーが解除されます)。
- ⑥ 解除部品をはずします。
- ⑦ 窓を大きく開けて清掃できます。



【W≥750の場合】

〈窓を大きく開く際は、解除部品を使って開けてください〉

- ⑧ ハンドルを持ち窓を少し開けます。
- ⑨ ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ⑩ 解除部品を外側に押し出し、窓を開けます。



【清掃完了時の操作】

全開(清掃時)→半開(通常時)

【W<750の場合】

- ① ハンドルを持ち、窓を閉めます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ② 以下③からの操作を行ってください。

【W≥750の場合】

〈窓を閉める際は、解除部品を使って閉めてください〉

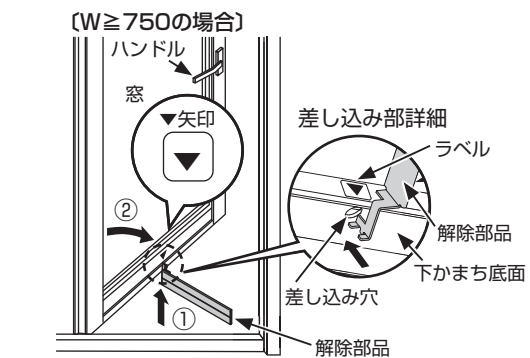
- ① ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ② ハンドルに手が届くまで解除部品で窓を引き寄せ、窓を閉めます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。

〈落下防止のため、窓が小さく開く状態でご利用ください〉

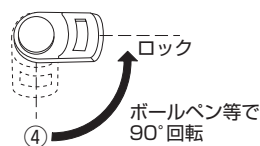
- ③ 窓を開けます。
- ④ ロック片(チャイルドロック)を「ロック」にします。

【セーフティストッパーカバー(オプション)設置の場合】

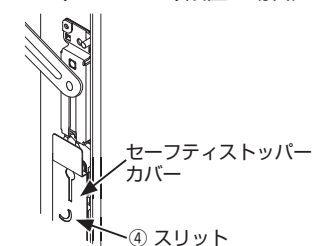
- ④ スリット内のロック片を反時計回りに90°回転させ、ロック片を「ロック」にします。
- ⑤ 窓を閉めます。



貼付ラベルイメージ



【セーフティストッパーカバー(オプション)設置の場合】

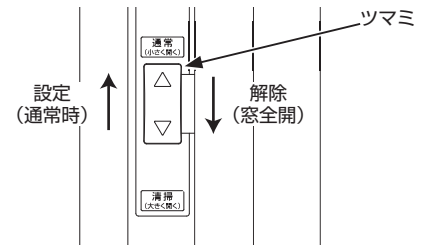


- ※操作する際は、解除部品を落下させないよう、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。
- ※解除部品は建物管理者様が管理してください。
- ※メンテナンス時、大きく開いた窓を閉める際は、障子重量の反動による落下防止対策を行ってください。

【セーフティストッパー操作/セーフティストッパー操作つまみ(オプション)】

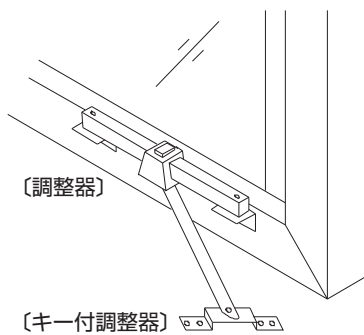
- ① 窓を開けます。⇒ P.32 操作より
- ② ロック片 (チャイルドロック) を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます (ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると清掃可能な状態となります。
- ⑥ 清掃終了後、一旦障子を閉じます (セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片 (チャイルドロック) を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】

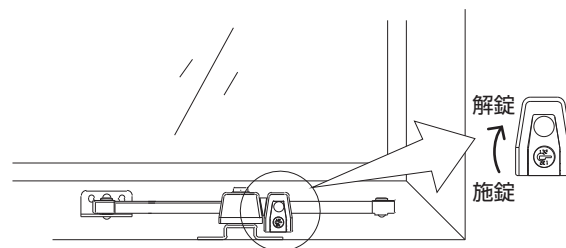
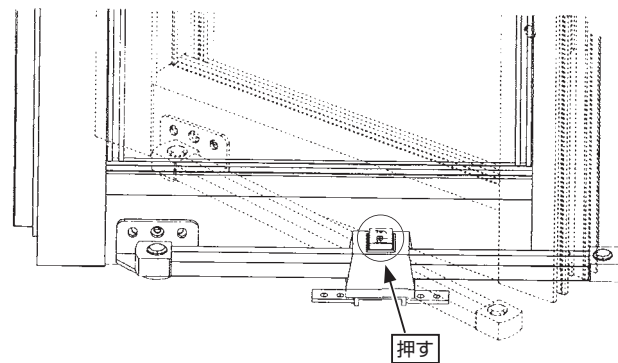


【調整器操作】※1

- 開き角度を変えたい時は、調整器の「押す」部分を最後まで押しながら障子を開いてください。
- 障子を閉める時は、調整器の「押す」部分を押しして障子を閉めてください。



【調整器】



【キー付調整器使用の場合】

- 障子が閉鎖時に調整器の鍵を施錠しますと最小開き角度でストップし固定されます。
- 調整器の鍵を解錠しますと固定が解除されます。

※1BGE 31のみ

たてすべり出し窓 [オペレーターハンドル仕様] [スリット換気仕様]

□ BGE 31

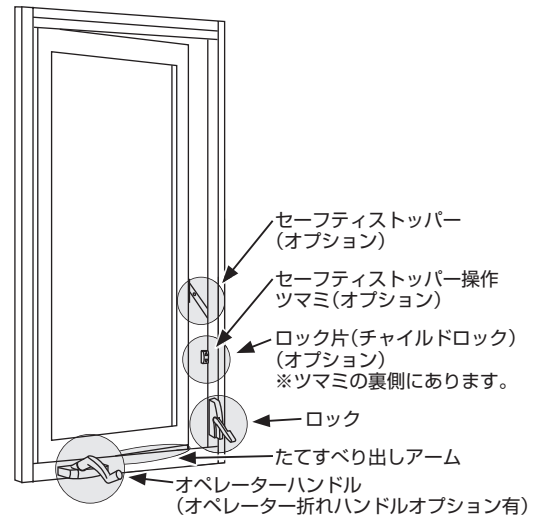
主要部材名称

換気をする際はオペレーターハンドルにより手元で障子を開閉します。

主要部品

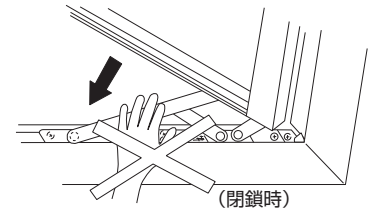
- ・オペレーターハンドル(※オペレーター折れハンドルオプション有)
- ・ロック
- ・たてすべり出しアーム
- ・セーフティストッパー(オプション)※
- ・セーフティストッパー操作つまみ(オプション)※
- ・セーフティストッパーカバー(オプション)※

※ スリット換気仕様はセーフティストッパーの設定はありません。
※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・転落防止のため、通常のご使用時はオペレーターハンドル本体切替つまみを必ず半開の状態でご使用ください。
- ・破損防止のため、ハンドルが回らなくなる位置で操作をやめ、それ以上回さないでください。
- ・障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・降雨時、雨の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください(必ずロックレバーを下げてしっかりとロックしてください)。



△注意

- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

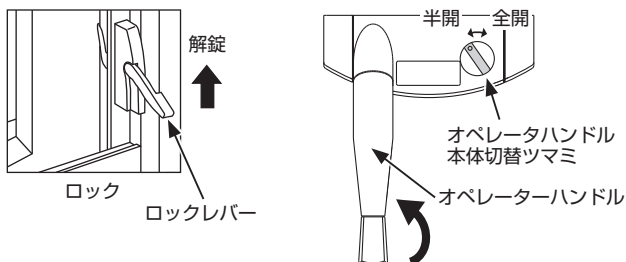
お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

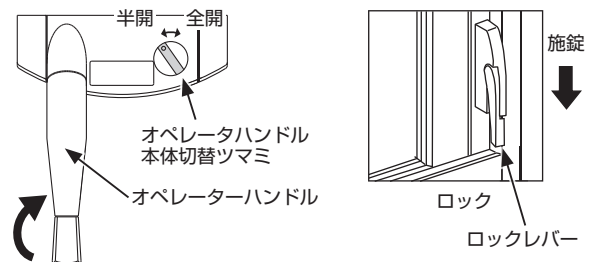
【開け方】

- ① ロックレバーを上げ、ロック解除してください。
- ② オペレーターハンドル本体切替つまみにて、全開、半開を選択してください。
- ③ オペレーターハンドルをひらく方向に回しますと窓が開きます。

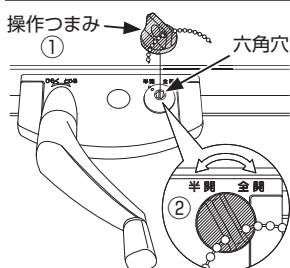


【閉め方】

- ① オペレーターハンドルをとじる方向に回してください。
- ② 窓を閉めた後は必ずロックレバーを下げてしっかりとロックをしてください。



切替つまみ脱着タイプ操作(オプション)



【全開・半開の切替え方】

- ① 操作つまみを六角穴に差し込む。
 - ② 操作つまみを回し、開き角度を切り替える。
- ※ 切り替えは、窓を閉めた状態で行ってください。

【使用上のお願い】

- 転落防止のため、通常は半開でご使用ください。
- 誤飲防止のため、操作つまみはお子様の手の届かないところに保管してください。
- 操作後は、必ず操作つまみを取りはずし、紛失しないよう適切な場所に保管してください。

メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

【半開(通常時)→ 全開時操作】

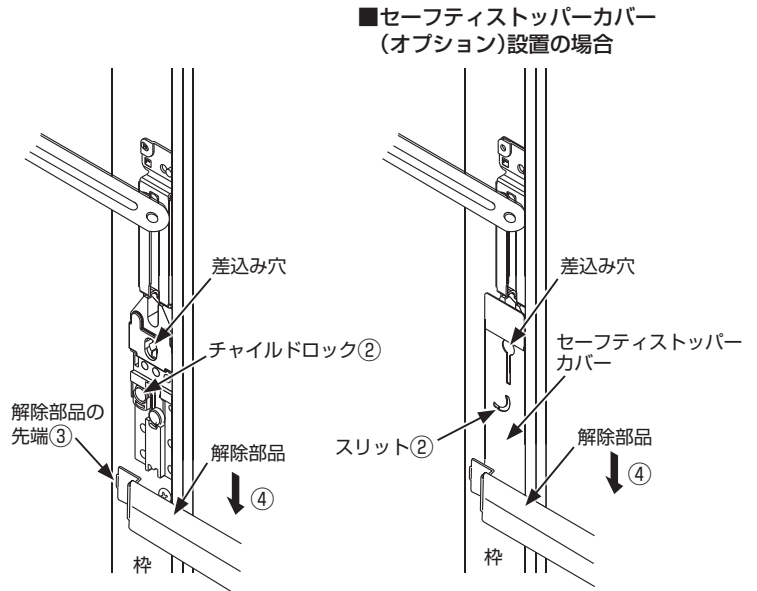
〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

- ① 窓を開けます (前項操作より)。
- ② 枠内部にあるロック片 (チャイルドロック) をボールペン等の先が細いもので時計回りに90°回転させロック片 (チャイルドロック) を解除します (右図参照)。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

スリット内のロック片 (チャイルドロック) を時計回りに90°回転させロック片 (チャイルドロック) を解除します。

- ③ 差込穴に解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで障子を閉めます。
- ④ 解除部品を下げます。
- ⑤ 窓を大きく開けて清掃できます。



■セーフティストッパーカバー (オプション)設置の場合

【全開 → 半開(通常時)時操作】

〈落下防止のため、窓が小さく開く状態でご利用ください。〉

- ① 窓を閉めます (前項操作より)。
(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ② 窓を開けます。
- ③ ロック片 (チャイルドロック) を「ロック」にします。

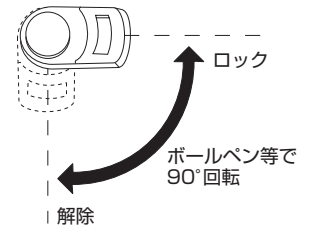
【セーフティストッパーカバー設置の場合】

スリット内のロック片 (チャイルドロック) を反時計回りに90°回転させロック片 (チャイルドロック) を「ロック」にします。

- ④ 窓を閉じます。

【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ

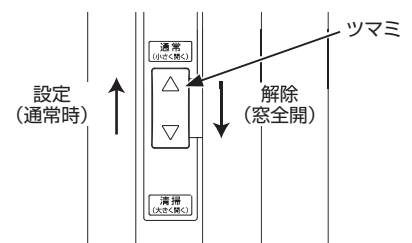


- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 通常時は必ず、半開でご使用ください。
- ※ 解除部品は建物管理者様が管理してください。

セーフティストッパー操作(オプション) セーフティストッパー操作つまみ(オプション)

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片 (チャイルドロック) を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます (ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると全開可能な状態となります。
- ⑥ 全開後、一旦障子を閉じます
(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片 (チャイルドロック) を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】



たてすべり出し窓【換気付非常用進入口仕様】

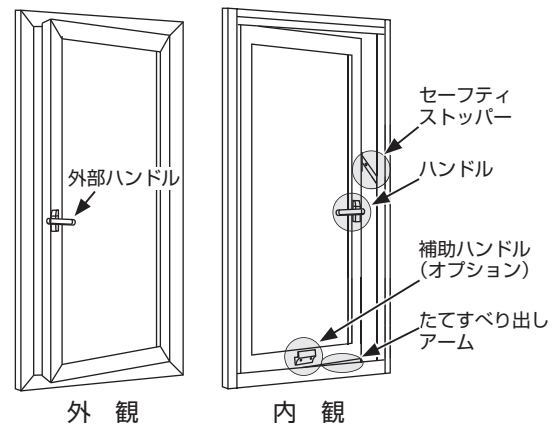
□ BGE 31 □ BGE 37 □ EXIMA 91c 防火設備組込

商品説明

たてすべり出し窓【換気付非常用進入口仕様】は、セーフティストッパーにより有効開口が約85mm ※1に制限されますので、安全な換気が行えます。

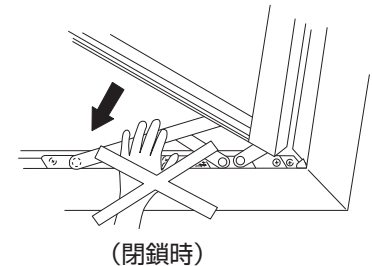
主要部品

- ・ハンドル
- ・セーフティストッパー
- ・たてすべり出しアーム
- ・セーフティストッパー解除部品
- ・補助ハンドル(オプション)
- ・外部ハンドル



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・通常ご使用時はセーフティストッパーを設定して、ご使用ください。
- ・障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・降雨時、風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください。(ハンドルは施錠状態にしてください)
- ・風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー※が設定されるまで開いてください。
- ・※セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。
- ・窓が開いた状態では、ハンドルをまわさないでください。
- ・ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用進入口」です。進入口の前には、物を置かないでください。



注意

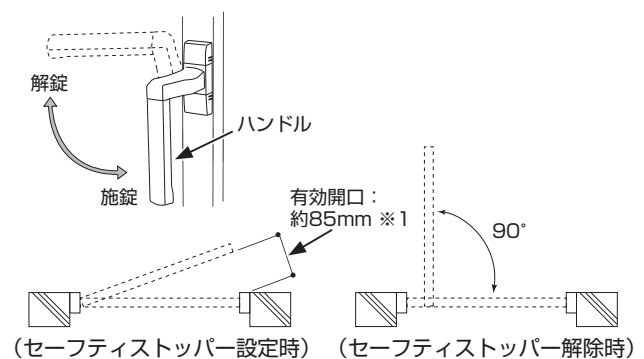
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを上へ90°回転してください。ロックが解除します。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。標準設定時の有効開口は、約85mm ※1です。
- ③ 障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きに回転し、ロック(施錠)してください。障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。また、障子を閉める際ハンドルに手が届きにくい場合等は、補助ハンドル(オプション)で障子を引き寄せるように閉めてください。



※1BGE 37は約100mm

メンテナンス

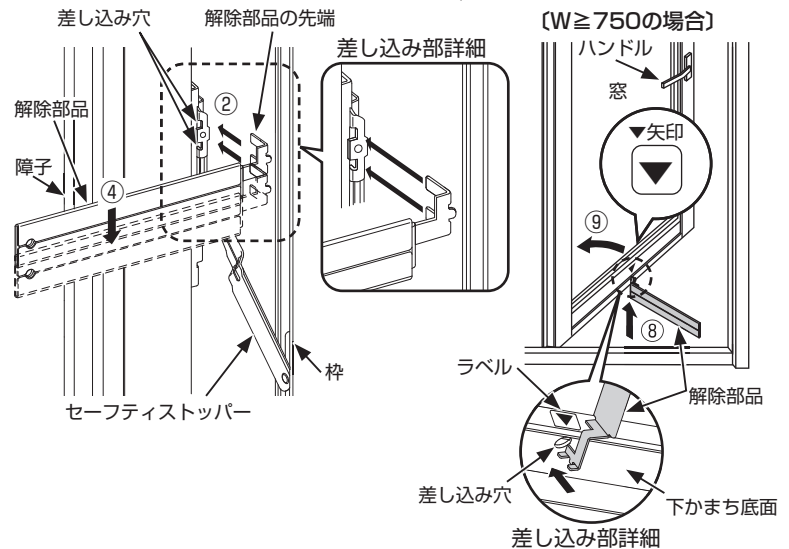
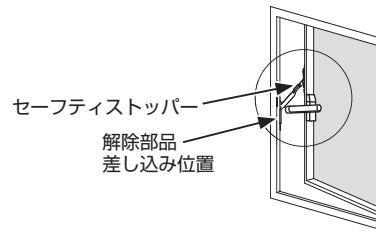
【セーフティストッパー操作/セーフティストッパー解除部品】

【ガラス清掃時の操作】

半開(通常時)→全開(清掃時)

〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます〉

- ① 窓を開けます。⇒ P.37 操作より
- ② 差し込み穴に、解除部品の先端を差し込みます。
- ③ 差し込み穴に、解除部品の先端を差し込んだまま、解除部品に当たる手前まで窓を閉めます。
- ④ 解除部品を押し下げたまま、窓を少し開けます(セーフティストッパーが解除されます)。
- ⑤ 解除部品をはずします。
- ⑥ 窓を大きく開けて清掃できます。



【W ≥ 750の場合】

〈窓を大きく開く際は、解除部品を使って開けてください〉

- ⑦ ハンドルを持ち窓を少し開けます。
- ⑧ ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ⑨ 解除部品を外側に押し出し、窓を開けます。

【清掃完了時の操作】

全開(清掃時)→半開(通常時)

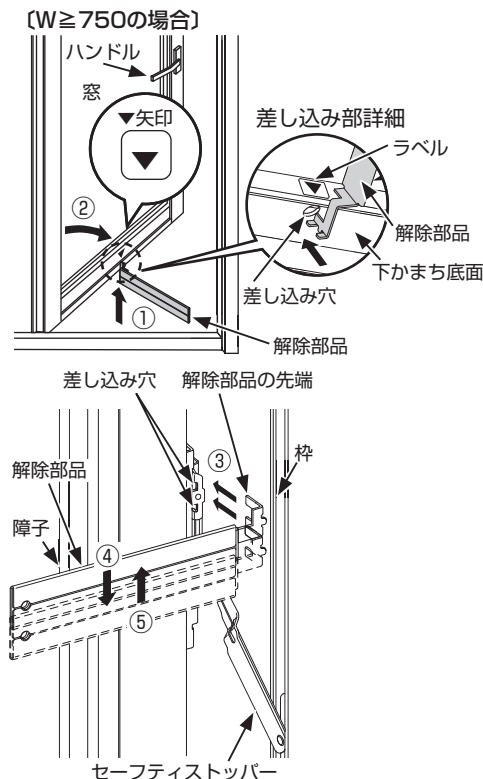
【W < 750の場合】

- ① ハンドルを持ち、窓を引き寄せます。
- ② 以下③からの操作を行ってください。

【W ≥ 750の場合】

〈窓を閉める際は、解除部品を使って閉めてください〉

- ① ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ② ハンドルに手が届くまで解除部品で窓を引き寄せます。
- ③ 差し込み穴に解除部品の先端を差し込みます。
- ④ 解除部品を押し下げたまま、窓を閉めます。
- ⑤ 解除部品を上に戻します(セーフティストッパーの構造により、半開になります)。
- ⑥ 窓を少し開け、解除部品をはずします。
- ⑦ 窓を閉めます。



※全開状態から窓を閉める際は、セーフティストッパーと枠が干渉し窓が閉められません。

上記【清掃完了時の操作】をご確認ください。

※操作する際は、解除部品を落下させないよう、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。

※清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。

※解除部品は建物管理者様が管理してください。

※メンテナンス時、大きく開いた窓を閉める際は、障子重量の反動による落下防止対策を行ってください。

内開き窓 / 内開き窓 [換気付非常用進入口仕様]

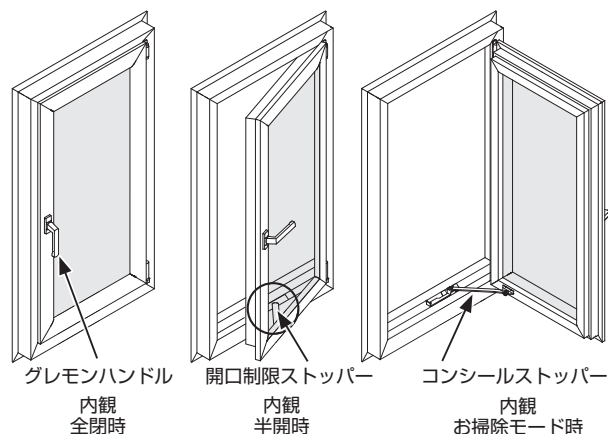
□ BGH 67

商品説明

ハンドル操作により、内開きできます。
開口制限ストッパーで半開に制限することで
安全に換気することができます。

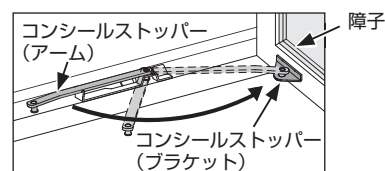
主要部品

- ・ グレモンハンドル
- ・ 開口制限ストッパー
- ・ コンシールストッパー
- ・ 外部ハンドル ※換気仕様(オプション)
換気付非常用進入口仕様(標準)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けしないでください (ハンドルは施錠状態にしてください)。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかりと持って開閉してください。
- ・ 窓が開いた状態ではハンドルをまわさないでください。
- ・ 窓をお掃除モードで開けた時は、必ずコンシールストッパーのアームを障子側ブラケットの穴に確実に差し込み、障子を固定してください。



- ・ ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用進入口」です。進入口の前には、物を置かないでください。

△注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと、風の力で窓が急に開閉し、その衝撃で破損や落下が起こり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

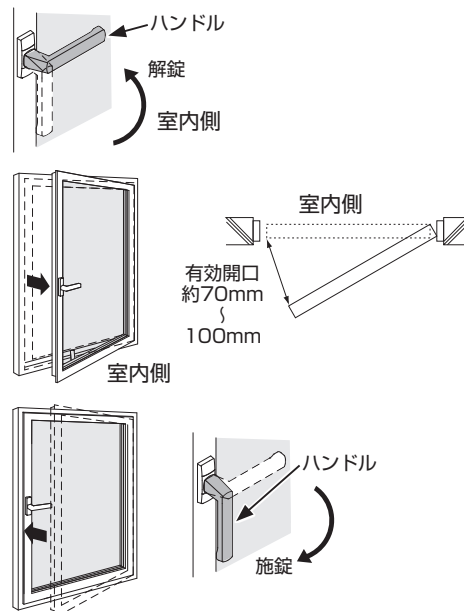
お願い

- ・ 降雨後に窓を開くと窓に付着した水滴が室内に落ちる場合があります。水滴が乾いてから開いてください。

操作

【開け方】

- ① ハンドルを上へ 90°まわして解錠します。
- ② ハンドルを持ちながら窓を室内側に引いて開けます。
標準設定時の有効開口は約 70 ~ 100 mm
(製品Wサイズにより変動) です。
※ 窓に雨水がたまっている状態で操作を行うと、室内側に水がこぼれ落ちる場合がありますので、ご注意ください。



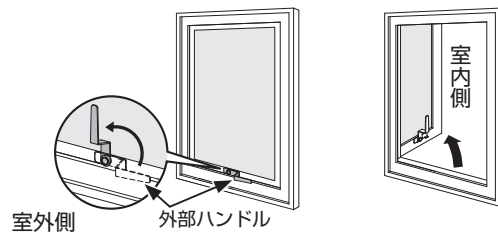
【閉め方】

- ① ハンドルを持ちながら、窓を室外側へ押して閉めます。
- ② ハンドルを下にまわしてロックします。
※窓が開かないことを確認します。

【外部ハンドル】換気仕様(オプション)・換気付非常用進入口仕様(標準)

外部ハンドルをまわすことで、開口制限が解除され、約90°に全開できます。

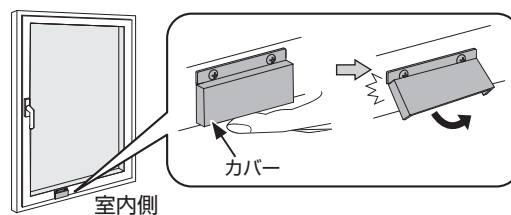
- ① 室外側に付いている外部ハンドルを上へ90°まわします。
- ② 室内側に窓を押し開けます。



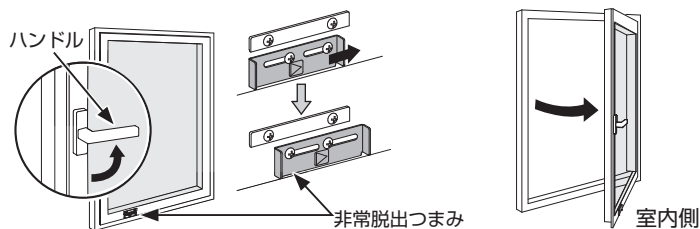
【パニックオープン(オプション)】

非常時にカバーを破壊し、非常脱出つまみを操作することにより、開口制限が解除され、約90°に全開できます。
※非常脱出つまみを操作するためには、カバーを割る必要があります。非常脱出時以外、操作しないでください。

- ① カバーの下に指をかけて手前に割ります。



- ② ハンドルを上へ90°まわしてヨコの状態にし、非常脱出つまみを図のようにスライドさせます。
- ③ 非常脱出つまみをスライドさせたまま、窓を室内側に引いて開けます。



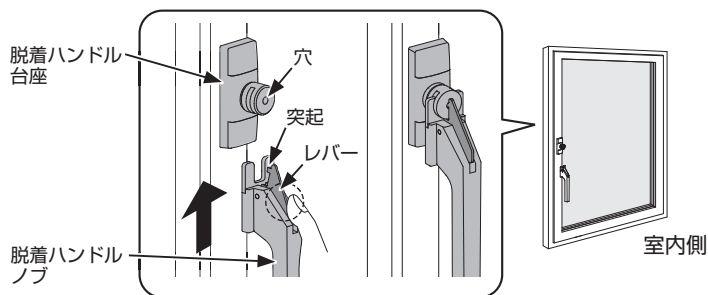
【脱着ハンドル(オプション)】

脱着ハンドルノブを脱着ハンドル台座に取り付けることでメンテナンス時に窓を開けることができます。

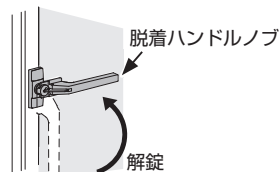
- ※ 脱着ハンドルノブは開閉操作時のみ取り付けてしてください。
- 窓を開けた状態でも、脱着ハンドルノブは取りはずしてください。
- 脱着ハンドルノブが落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 脱着ハンドルノブは通常開閉できないように管理責任者様が管理してください。

【開け方】

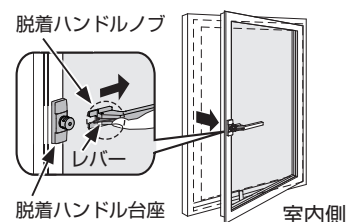
- ① 脱着ハンドルノブのレバーを指で押さえながら、脱着ハンドル台座の下から差し込みます。レバーから指を離してハンドルを固定します。
※ 脱着ハンドル台座の穴にレバーの突起が入り、ハンドルが固定されます。



- ② 脱着ハンドルノブを上へ90°まわして解錠します。(ハンドルノブがヨコの状態)



- ③ 脱着ハンドルノブをヨコにしたまま、窓を室内側に引いて開けます。
- ④ 脱着ハンドルノブのレバーを指で押さえながら脱着ハンドル台座から取りはずします。

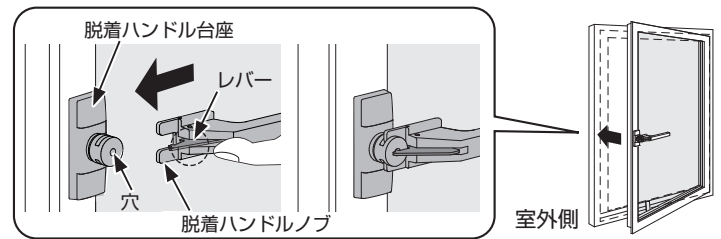


【閉め方】

- ① 脱着ハンドルノブのレバーを指で押さえながら、脱着ハンドル台座のヨコから差し込みます。レバーから指を離してハンドルを固定します。

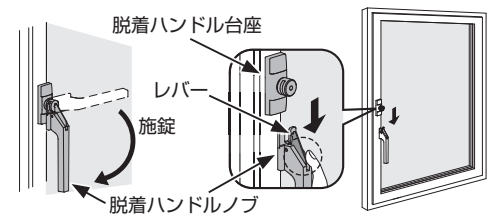
※ 脱着ハンドル台座の穴にレバーの突起が入り、ハンドルが固定されます。

- ② 脱着ハンドルノブをヨコにしたまま、窓を室外側に押し閉めます。



- ③ 脱着ハンドルノブを下に90°まわして施錠します。※ 窓が開かないことを確認します。

- ④ 脱着ハンドルノブのレバーを指で押さえながら脱着ハンドル台座から取りはずします。



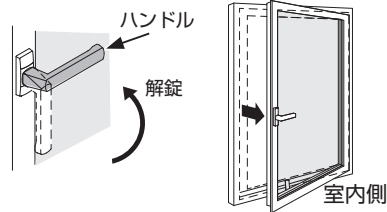
メンテナンス

【全半開解除部品(オプション)】

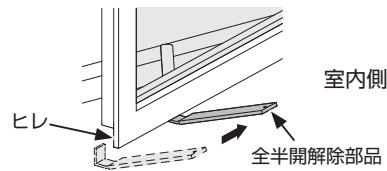
開口制限を解除する部品です。開口制限を解除することにより、約90°に全開できます。

【半開→全開】

- ① ハンドルを上にも90°まわし、窓を室内側に引いて開けます（半開状態）。



- ② 全半開解除部品を窓のヒレに沿わせ、引っかかる位置までスライドさせます。

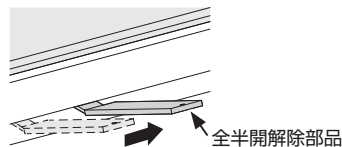


- ③ そのまま窓を室外側に押しつけて閉じます（ハンドルはヨコの状態）。

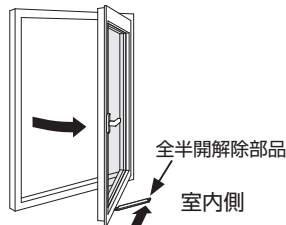
※ 窓を閉じないと④の操作ができませんので、ご注意ください。



- ④ 力を加え、全半開解除部品をさらにスライドさせ、止まった位置で保持してください。



- ⑤ そのまま窓を室内側に引いて開け、全半開解除部品をはずします。

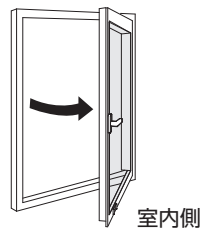


- ⑥ コンシールストッパーで障子を固定します。
【コンシールストッパー】操作⇒P.43 参照。

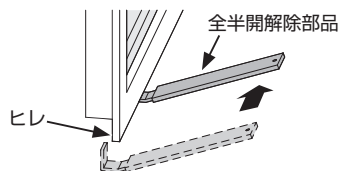
(注)窓を内開きの状態で放置したり、無理な荷重をかけたりしないでください。
窓の破損や不具合がおこる可能性があります。

【全開→半開】

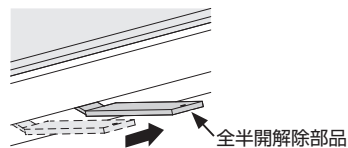
- ① 窓を室内側に引いて開けます（全開状態）。



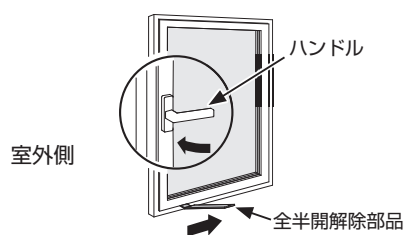
- ② 全半開解除部品を窓のヒレに沿わせ、引っかかる位置までスライドさせます。



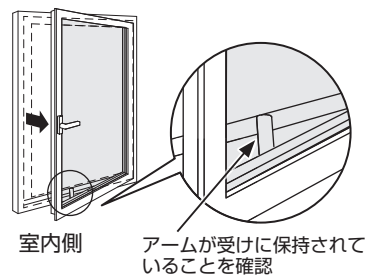
- ③ 力を加え、全半開解除部品をさらにスライドさせ、止まった位置で保持してください。



- ④ そのまま窓を室外側に押し閉じ、
（ハンドルはヨコの状態）。
全半開解除部品をはずします。



- ⑤ 窓を室内側に引いて開け、
半開に戻ったことを確認します。



【コンシールストッパー】

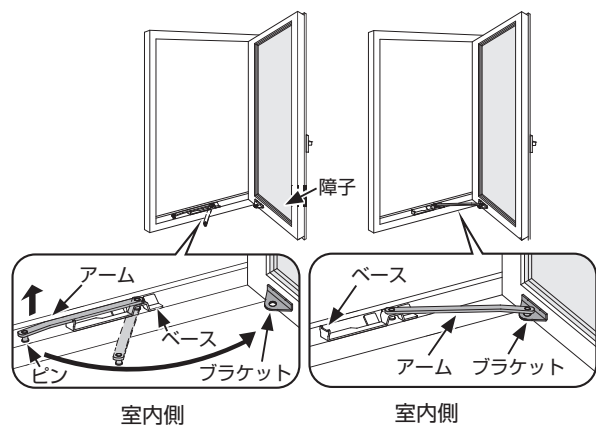
室内側からのガラス清掃時に、窓の開き角度を80°に固定できます。

【全開設定方法】

- ① 窓を開けます。
[開け方] ⇒ P.39 参照。
[全半開解除部品 半開→全開] ⇒ P.42 参照。
- ② 下枠に内蔵されているアームを持ち上げ、ベースからはずします。
- ③ アームのピン部を障子の下に付いているブラケットの穴に確実に差し込み、障子を固定します。

【解除方法】

- ① 全開設定方法と逆手順でアームをベースにもどします。
- ② 窓を閉めます。
[全半開解除部品 全開→半開] ⇒ 上記参照。
[閉め方] ⇒ P.39 参照。



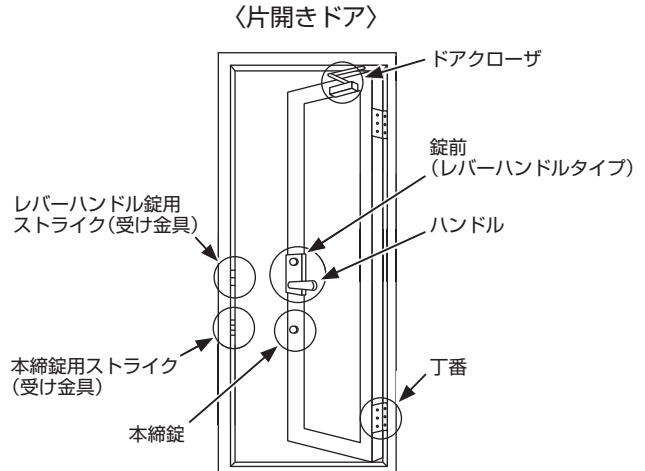
片開きドア

□ BGE 31

商品説明

主要部品

- ・ハンドル
- ・丁番
- ・ドアクローザ



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・風の強い時の開閉は危険ですのでドアを開けないでください。
- ・風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。

⚠️ 注意

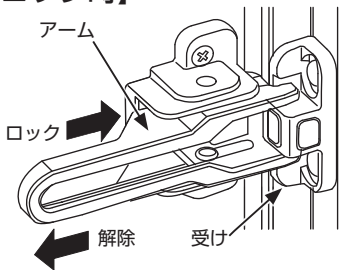
- ・ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをすることがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・風の強い時は、ドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

操作

【ロック機構付ドアガード(オプション)】

適度な角度で換気状態を保持できる機能を持ったドアガードです。

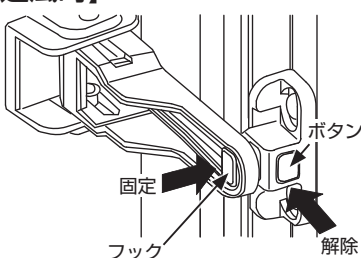
【ロック時】



ドアを閉めた状態でアームを受け側にスライドさせます。スライドさせることでロックがかかります。アームを反対方向にスライドさせると、ロックが解除されます。

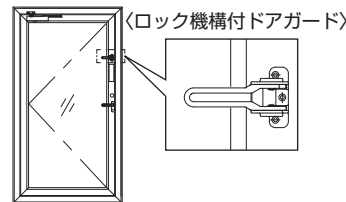
- ※ ロックした状態では、シリンダー錠を解除してもドアは開きません。
- ※ 室外側からロック機構の操作はできません。

【通風時】



ドアを開け、アームを倒したガード状態でフックを押し込むと、ドアが開いた状態で固定され、通風が可能になります。ドアを軽く押さえながらボタンを押すと解除されます。

- ※ 室外側から通風機構の操作はできません。

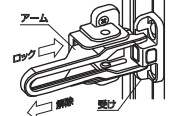


お願い

- ・ドアガードを使用する際は、アームを持って操作してください
- ・ドアガードのアームやフックを立てたままドアを開閉しないでください
- ・アームをロック位置にスライドしたままドアを開閉しないでください
- ・「通風機構」は、外出・就寝時などに使用しないでください
- ・強風の際は、扉を閉めてください

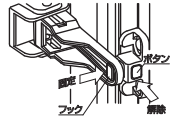
ロック機構・通風機構の操作方法

ロック機構



ドアを閉めた状態でアームを受け側にスライドさせる
 ※「ロック機構」は上部錠・下部錠と合わせてご使用ください
 ※反対方向にスライドさせると解除されます

通風機構



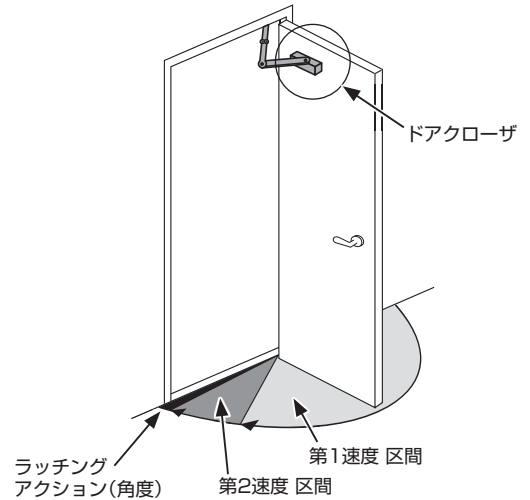
ガード状態でフックを押し込むと、ドアが開いた状態で固定されます
 ※ドアを軽く押さえながらボタンを押すと解除されます

貼付ラベルイメージ

メンテナンス

【ドアクローザ】

ドアクローザは、開けた扉を自動的に閉める装置です。
 ドアクローザは、引渡し時に閉鎖スピードを調整しておりますが、
 使用中に閉鎖スピードが変化していきますので定期的な点検が必要です。



■ ドアクローザの機能説明とお願い

- この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがあります。ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、P.46 に記載した方法で調整してください。
- 本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに施工業者または当社に修理、交換依頼をしてください。放置しておくと、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬけがをしたり、正しく組み立て直すことが出来なくなります。

■ お手入れ方法

本体およびアーム、取付ブラケットの取付ねじや、アームの連結ねじにゆるみが生じていないか時々点検してください。ゆるんでいた場合は、ねじを締め直してください。
 腐食予防のために本体およびアームは時々掃除してください。
 冬期に結露が生じる場合は本体およびアームを乾いた布でカラ拭きしてください。

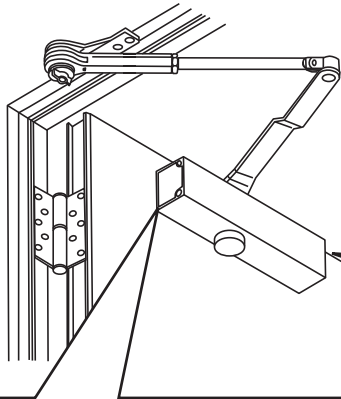
■ 異常を感じられた際の対処方法

(速度調整が難しい場合は、施工業者または当社に調整依頼をしてください)

(現象)	(考えられる原因)	(点検箇所)	(対処方法)
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	P.46 速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	専門業者に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが つまっている	速度調整弁	P.46 速度調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ねじのゆるみ	取付ねじ	ねじを締め付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	専門業者に修理依頼願います
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁	P.46 ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった(ストップ付き)	ストップねじのゆるみ	ストップ装置	取扱説明書に記載のストップ調整方法を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音が生じるようになった	ねじのゆるみ	取付ねじ	ねじを締め付けてください
	1、2速のバランスが悪い	速度調整弁	P.46 速度調整方法を参照願います

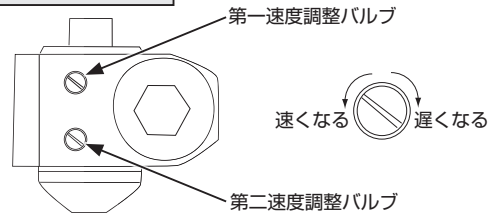
■ ドアクローザの調整方法

ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「バタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、また、ドアが閉まる速度を変えたいときは、ドアクローザ本体の調整弁により閉まる速度を調整してください。調整弁の位置はドアクローザメーカーにより異なりますが、下記に代表例を記載しています。ドアクローザの付いたドアを無理やり開閉しないでください。油もれなど故障の原因になります。



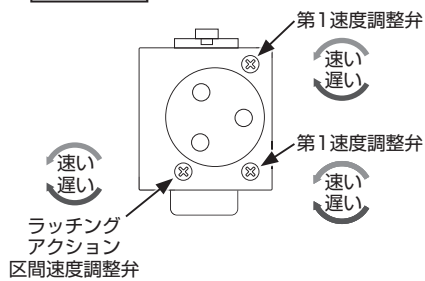
ドライバーで調整弁を回して速度を調整してください。右に回すと遅く、左に回すと速くなります。第1速、第2速、ラッチングの順番で調整してください。

日本ドアーチェック製造製

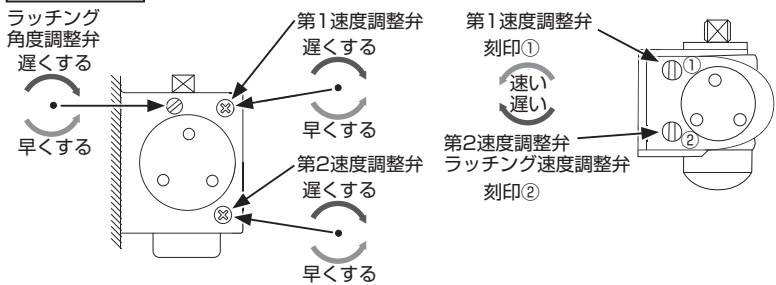


ドライバーで調整弁を回して速度を調整してください。右に回すと遅く、左に回すと速くなります。第1速、第2速、ラッチングの順番で調整してください。

リョービ製



美和ロック製



お願い

- 調整弁の回し過ぎは、油漏れの原因になります。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずは建物管理者様、建設会社様、販売店様、当社担当者へご連絡ください。室内外の気圧の状況によって閉鎖スピードに影響がある場合がありますのでご注意ください。ドアクローザの保証期間は2年間です。

可動網戸

□ WS10E型 (BGE 31用、BGE 31Wb用)

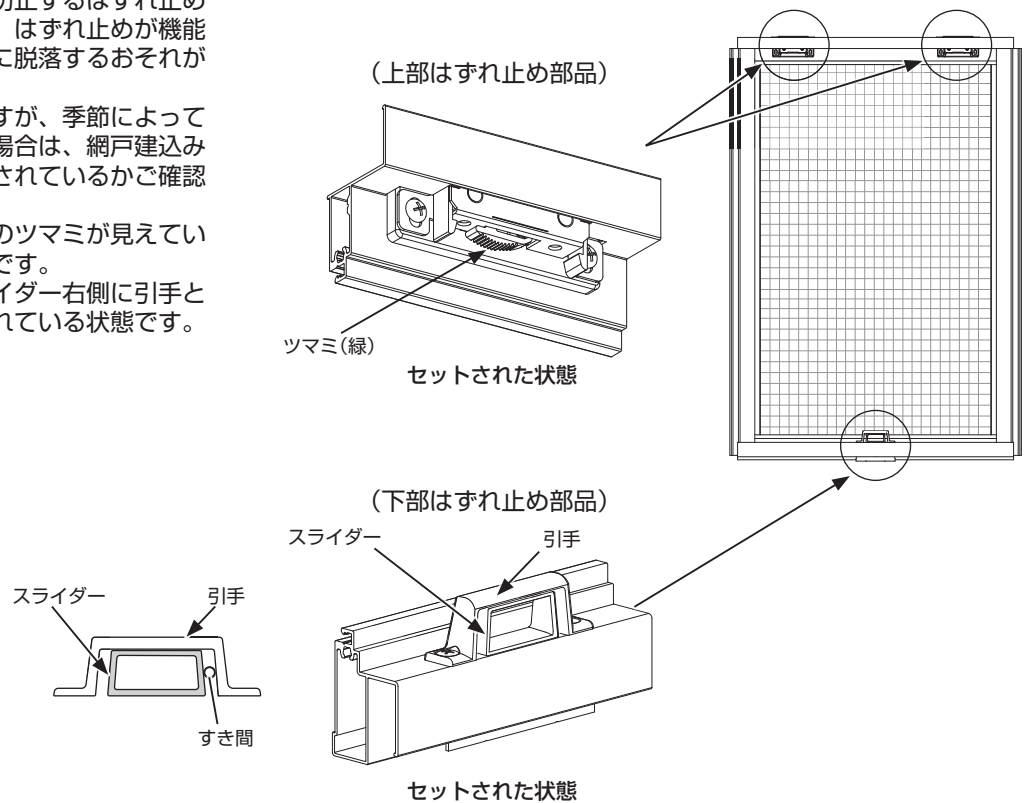
主要部材名称

可動網戸には、網戸の脱落を防止するはずれ止め部品が取り付けられています。はずれ止めが機能していないと強風時や開閉時に脱落するおそれがあります。

引渡し時には調整しておりますが、季節によって取りはずし、取り付けを行う場合は、網戸建込み後、必ずはずれ止めがセットされているかご確認の上、お使いください。

上部はずれ止め部品は、緑色のツマミが見えていれば、セットされている状態です。

下部はずれ止め部品は、スライダー右側に引手とのすき間があれば、セットされている状態です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がはずれることがあります。定期的に点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

- 網戸はモヘアを障子に密着させることで、虫の侵入を防いでいます。そのため、網戸のモヘアにくせがついた場合は、防虫性が損なわれることがあります。モヘアにくせがついた場合は、②のように、手でモヘアを左右になでてください。



①モヘアにくせが付いた状態

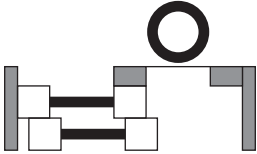
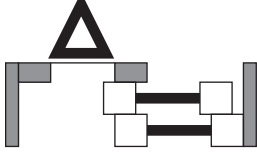
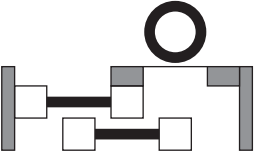
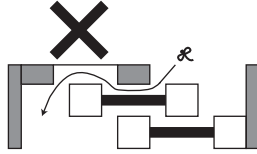


②手でモヘアを左右になでてください。

操作

網戸をご使用中でも、まれに虫が侵入する場合があります。
虫の種類や大きさによっては、完全に侵入を防ぐことはできませんが、
網戸を正しくご使用いただくことにより、効果的に虫の侵入を防ぐことができます。

[引違い窓(2枚建)用網戸の使い方]

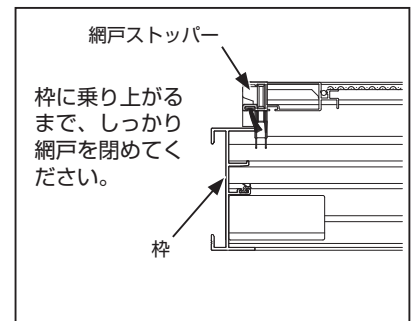
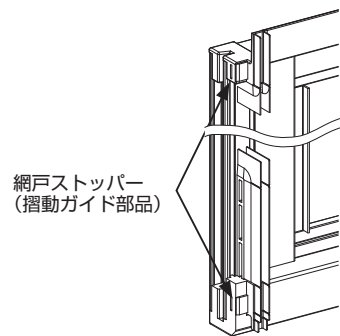
<p>● 網戸内障子使い (内障子全開)</p>  <p>● 網戸外障子使い (外障子全開)</p> 	<p>(内障子半開)</p>  <p>(外障子半開)</p> 
<p>内障子はどの位置でもご使用いただけます。 内障子をあげる量で換気量を調整できます。</p>	<p>外障子と網戸との間にすき間が生じる場合があります。 特に外障子半開の場合は、すき間が大きくなり虫が侵入しやすくなります。</p>

※大型ハンドル・サポートハンドル・サポート引手(単板)が取り付けられた窓の場合
外障子に引き残しが設定されるため、外障子を全開にすることができません。網戸内障子使いにて網戸をご使用ください。

※回転ストッパーが取り付けられた窓の場合
回転ストッパーをセットした状態では、外障子を全開にすることができません。
網戸内障子使いにてご使用いただくか、回転ストッパーを解除して網戸外障子使い(外障子全開)にてご使用ください。

[網戸の上手な使い方]

網戸をゆっくりと閉めると、網戸ストッパーにより網戸が一旦止まる場合があります。
網戸ストッパーが枠に乗りあがるまで、
しっかり網戸を閉めてください。
閉まりきっていない場合、モヘアとたて枠の間にすき間ができます。



■網戸の共引き

虫の侵入を防ぐために、網戸に取り付けられている防虫部品(モヘア・網戸ストッパー)は外障子に接触していますので、外障子を動かすと網戸が動くことがあります。
外障子に網戸が引きずられた場合は、網戸を閉めなおしてください。

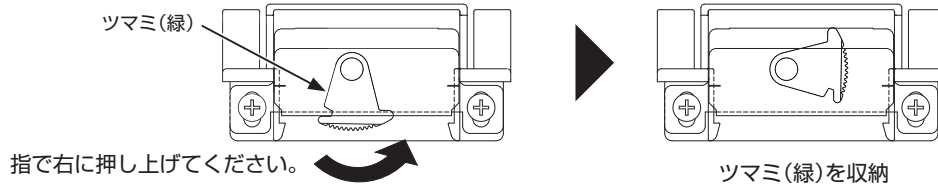


メンテナンス

【建込み方法】

- ① 上部はずれ止め部品のロック状態を示すツマミ（緑）が出ていないことを確認してください。
ツマミ（緑）が出ている場合は、指で右に押し上げてください。

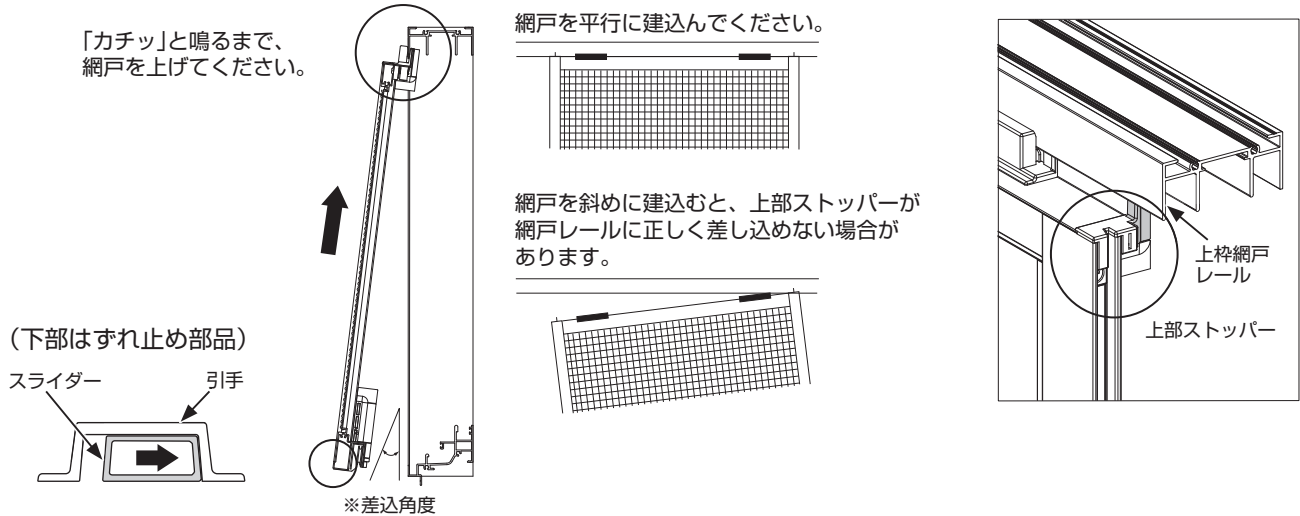
（上部はずれ止め部品）



- ② 下部はずれ止め部品のスライダを指で右にスライドし、スライダと引手のすき間をなくした状態で上部はずれ止め部品を上枠網戸レールへ差し込んでください。*

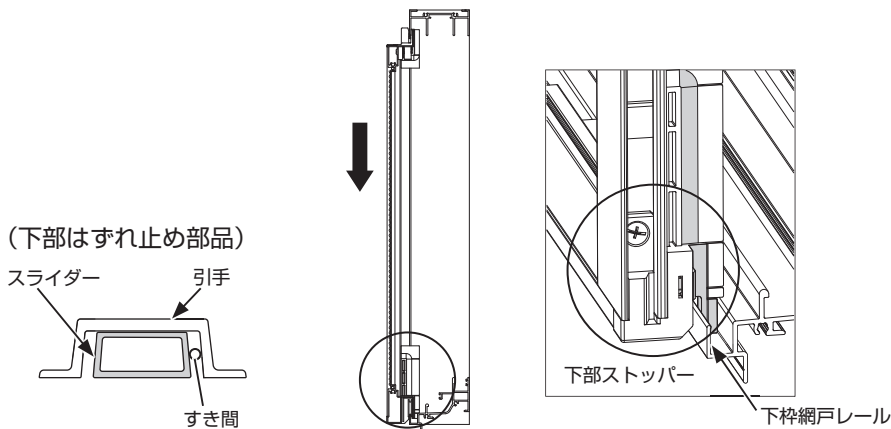
※ 差込角度を大きくとり、網戸を差し込んでください。

上部はずれ止め部品が「カチッ」（自動ロックがセットされる音）と鳴るまで、網戸を上げてください。



- ③ 網戸戸車を下枠網戸レールへのせてください。

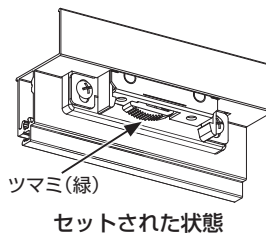
- ④ 下部ストッパーが網戸レールに差し込まれていること、および下部はずれ止め部品のスライダ右側と引手との間にすき間があることを確認してください。



- ⑤ 網戸を左右に動かし、正しく建込みが完了していることを確認してください。

②、③、④の建込み作業で自動的にロックが掛かり、上部はずれ止め部品にツマミ（緑）が見えていれば建込み完了です。

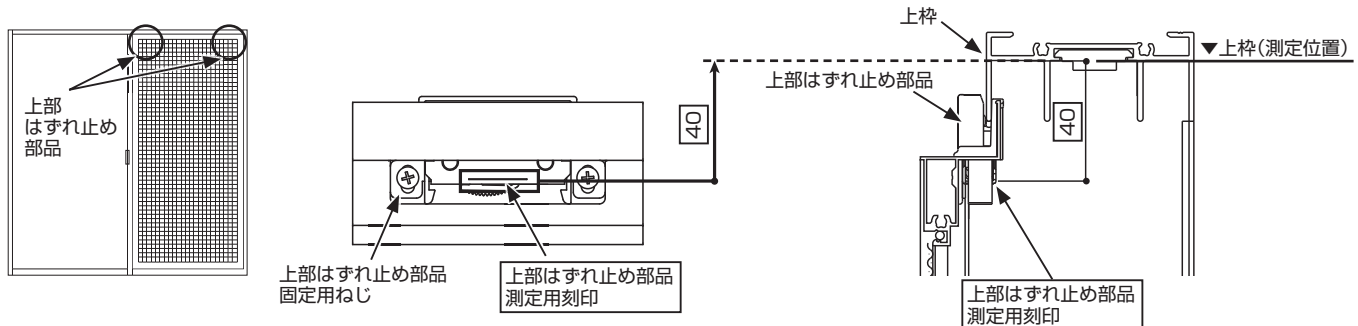
（上部はずれ止め部品）



【適正な上部はずれ止め部品位置(落下防止措置)】

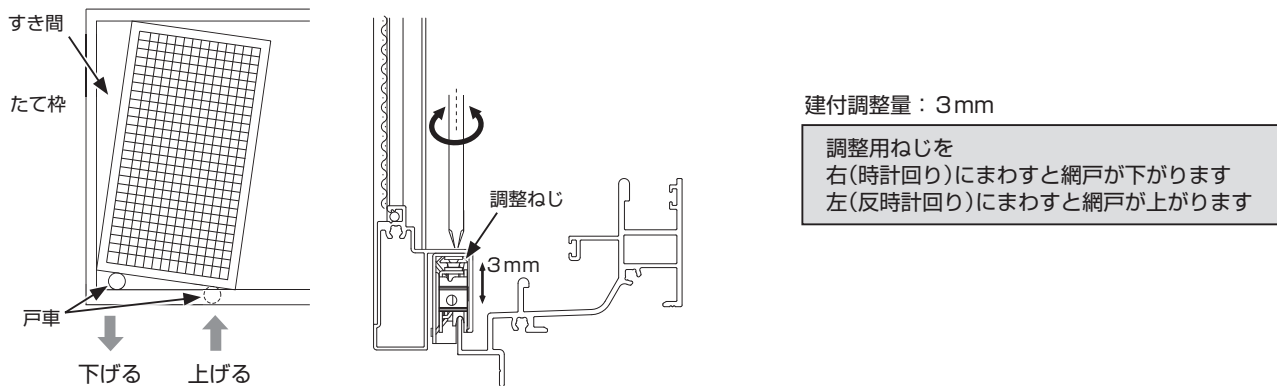
※ 建付調整が終わった後に上部はずれ止め部品位置を必ず確認ください。

- ① 上部はずれ止め部品の位置が正しい位置であるか確認ください。
上部はずれ止め部品測定用刻印が窓上枠より 40 mm 付近であることを確認ください。
- ② 上部はずれ止め部品測定用刻印位置が 40 mm 付近で無い場合や点検をご要望の場合には、専門業者にご相談ください。

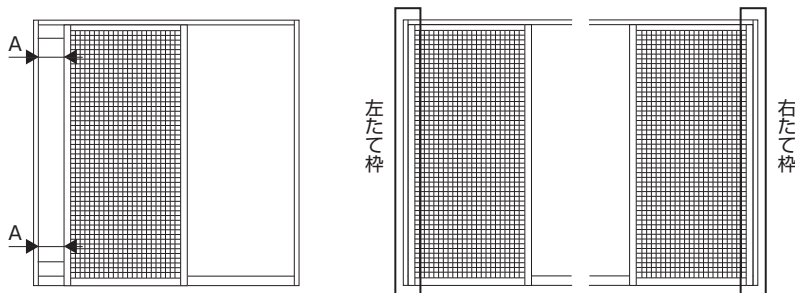


【建付調整】

- ① 左右の戸車調整用ねじをプラスドライバーで回し、網戸の建付調整をしてください。
戸車を上げての建付調整は左右のズレに対してのみ行い、最小限の調整としてください。

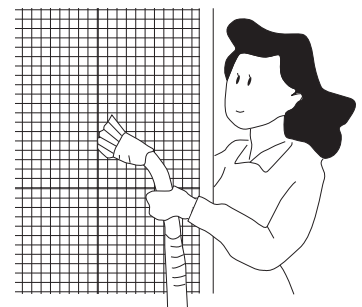


- ② 網戸を少し開いた状態で、上下のすき間 (A) が同じになるように調整します。
網戸を左右たて枠に移動し、すき間なく調整されていることをご確認ください。



【網戸の掃除】

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除は、上部・下部はずれ止め部品を解除して網戸ははずしてください
(網戸がはずれない場合は、上部はずれ止め固定用ねじをゆるめてください)。
庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。ゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ、軽く押さえるように洗ってください。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますので、注意してください。
- ③ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ④ 網戸を取り付けたら、必ず上部・下部はずれ止め部品がセットされていることを確認してください。
- ⑤ 網戸を外に持ち出せない場合は、乾いた大きめのスポンジを網戸の裏側に当て、その部分をブラシの付いた吸い込み口を取り付けた電気掃除機で吸い取ってください。
- ⑥ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

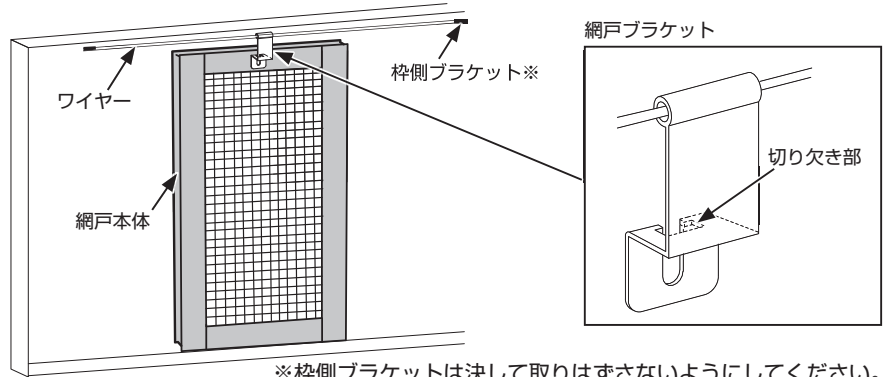


可動網戸 落下防止ワイヤー部品

□ WS10E 型 (BGE 31 用、BGE 31Wb 用)

主要部材名称

ワイヤーを通したブラケットを介して、上枠と可動網戸を連結する仕様です。枠から網戸がはずれた場合でも、網戸はワイヤーでつながれているため、落下を未然に防ぎます。



※枠側ブラケットは決して取りはずさないようにしてください。部品交換などが必要な場合には、専門業者にお任せください。

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- 網戸ブラケットを固定するねじをゆるめる際は、ねじを完全にはずさないようにしてください。
 - ブラケットを網戸からはずした際は、障子とブラケットが当たらないように、ブラケットをマスキングテープなどで枠に固定してください。(下図「網戸ブラケットをはずしたときの注意」をご参照ください。)
- ブラケットが枠に仮固定されないまま、障子进行操作すると障子がブラケットに当たり、網戸ブラケットや枠側ブラケットの破損・キズの原因となります。

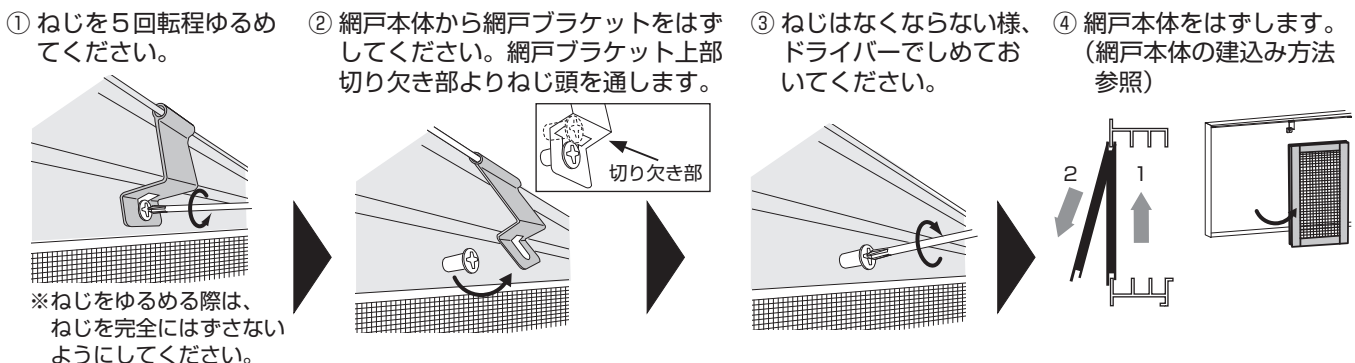
お願い

- ブラケット・ワイヤーなどの部品については定期的に点検を行ってください。点検時にブラケットの変形やワイヤーの破断などの異常を発見した場合には、速やかに最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡ください。
- 網戸は吊り込んだままで網戸を清掃するなど、ブラケットは極力取りはずさないようお願いいたします。取りはずされる場合は、最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡いただき、専門業者への依頼をお勧めいたします。

メンテナンス

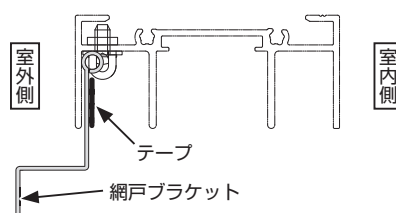
【網戸ブラケットの取りはずし方法】

必ず網戸ブラケットを先にはずしてから、網戸本体を取りはずしてください。
網戸本体の取りはずし方法は、網戸本体の取扱説明書の方法にしたがってください。



【網戸ブラケットをはずしたときの注意】

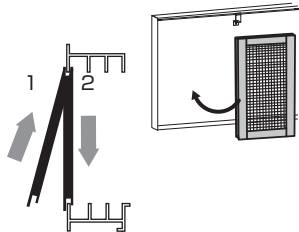
ブラケットを網戸からはずしたときは、必ずブラケットをマスキングテープなどで上枠に固定してください。



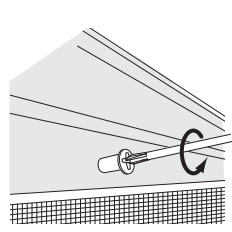
【網戸ブラケットの取り付け方法】

必ず網戸本体を取り付けた後に、網戸ブラケットを取り付けてください。
網戸本体を取り付けする際は、網戸取付け側へ網戸ブラケットを移動させてください。

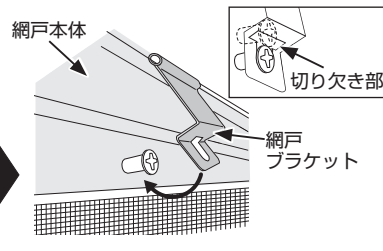
- ① 網戸本体を取り付けます。
(網戸本体の建込み方法参照)



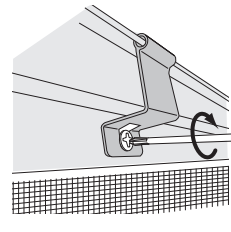
- ② 網戸ブラケットのねじを5回転程ゆるめてください。



- ③ 網戸ブラケット上部切り欠き部にねじ頭を通します。

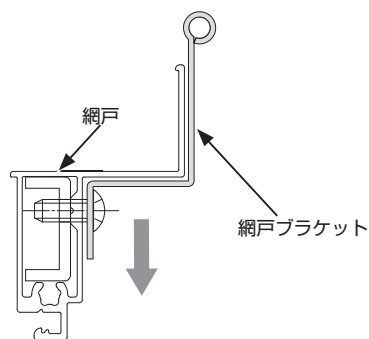


- ④ 網戸本体に網戸ブラケットを押し当てながら、ねじを締めてください。



【調整方法】

開閉操作時に上枠とブラケットが擦れる場合、
網戸ブラケットを下げて固定してください。



部品交換の目安

使用状況や使用環境によって条件が異なりますが、長期年数経過時(10年程度)には、ワイヤーやブラケットなどの部品交換をお願いします。交換工事のご依頼につきましては、当社営業窓口までご連絡ください。

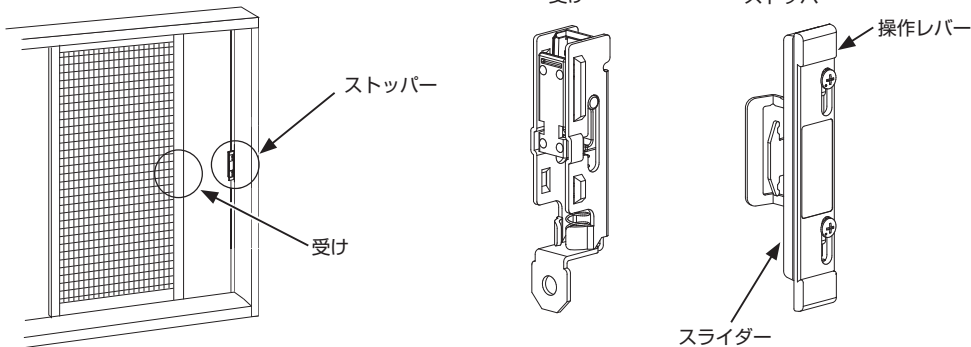
可動網戸 自走防止ストッパー

□ WS10E 型 (BGE 31 用、BGE 31Wb 用)

主要部材名称

可動網戸が、風であおられて動き出すことを防ぐ部品です。

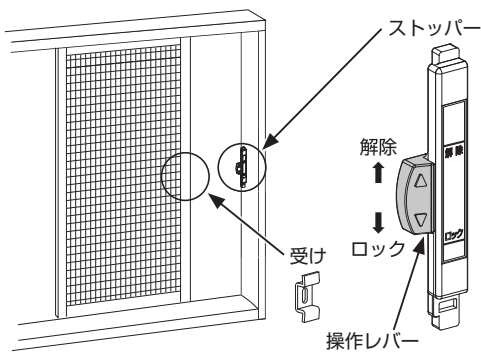
●自動式



可動網戸戸先側の受けとたて枠側のストッパーで可動網戸を固定します。
可動網戸をたて枠側まで閉めると自動でロックがかかります。

●手動式

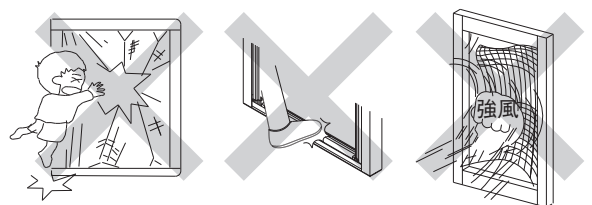
- ・戸先用



- ・戸先用は、可動網戸戸先側の受けとたて枠側のストッパーで可動網戸を固定します。
手動でロック・解除の切り替えが行えます。

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ・ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- ・風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。



△注意

- ・網戸が風にあおられて動かないように必ずストッパーを掛けてください。
- ・手動式の解除操作は、操作レバーを上方向にカチッと音がするまでスライドさせてください。
レバー操作が不十分な場合、網戸を閉めた際に意図せずロックがかかり、室外に閉め出されるおそれがあります。

お願い

- ・ストッパー・受けなどの部品については定期的に点検を行なってください。点検時に破損などの異常を発見した場合には、速やかに最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡ください。
- ・風にあおられて網戸が動くことがないようにストッパーは常に施錠してください。
- ・ストッパー周囲の網戸モヘアはくせがつく場合があります。くせがついた場合は手で戻してご使用ください。

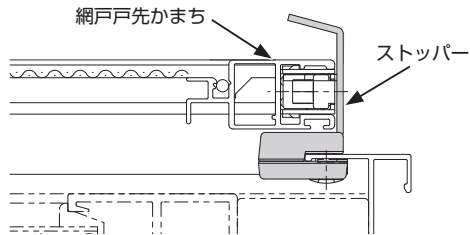
操作

●自動式

【施錠方法】

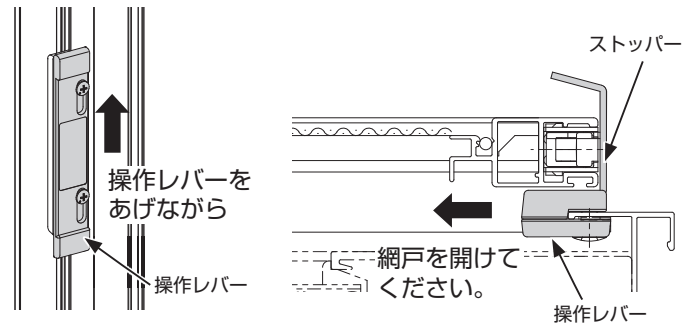
網戸を最後まで完全に閉めると、ストッパーの
スライダーが受けに乗り上げ自動で施錠されます。

※ 下図のように網戸先かまちとストッパーが当たる
まで、網戸を最後まで完全に閉めてください。



【解錠方法】

たて枠側のストッパーにある操作レバーを上
にあげながら、網戸を開けてください。

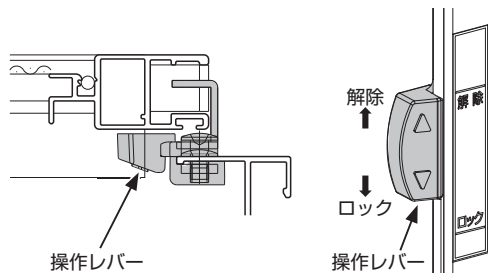


●手動式

【施錠・解除方法】

網戸を最後まで閉め切り、操作レバーをカチッと音がするまで下げるとロックがかかります。
操作レバーをカチッと音がするまで上げるとロックが解除されます。

・戸先用



メンテナンス

【網戸の掃除】

網戸の取り付け・取りはずしは、網戸本体の建込み方法を参照してください。

●自動式

※ メンテナンス等で、網戸を取りはずしたり部品を取りはず
したりした場合は、再度元の位置に戻してください。

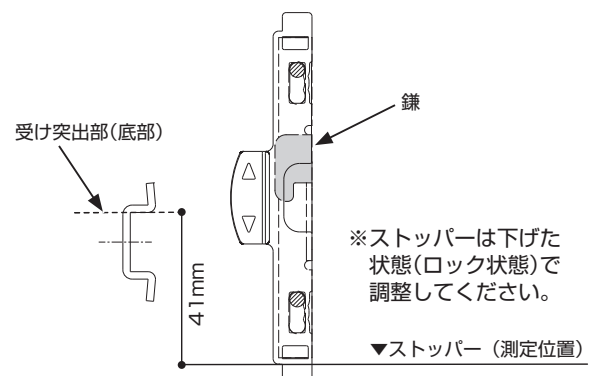
① ストッパーと受け部品を指で操作して、ロックがかかるこ
とを確認してください。

●手動式(戸先用)

※ メンテナンス等で、網戸を取りはずした後や受けのかけ
が十分ではなかった場合は、下記に従い必ず調整を行な
ってください。

① 網戸側受けの固定ねじをゆるめてください(ねじは受けが
動く程度に少し緩める程度とし、ねじは取りはずさないで
ください)。

② たて枠側ストッパーと受けの距離が41mm程度になるよ
う受け位置を調整してください。
(41mmは目安の寸法です。受けと鎌がしっかりとかかる
ように調整してください。)

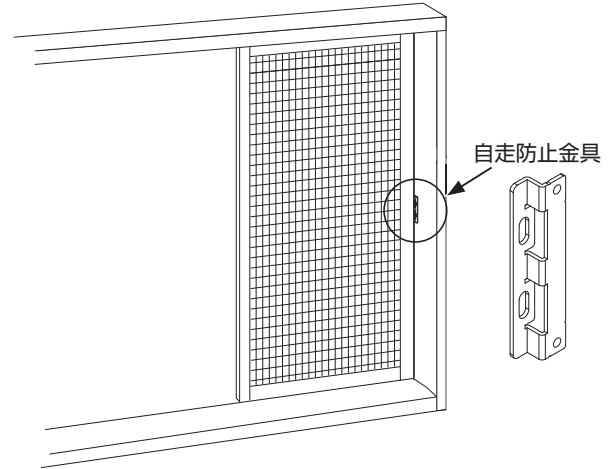


可動網戸 自走防止金具

□ WS10E 型 (BGE 31 用、BGE 31Wb 用)

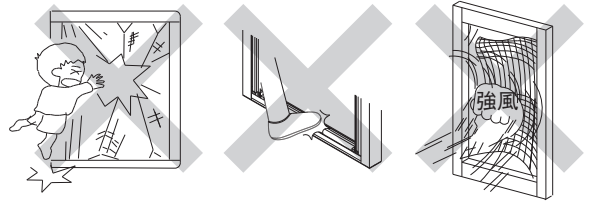
主要部材名称

可動網戸が、風であおられて動き出すことを防ぐ部品です。
可動網戸(戸先側)とたて枠を自走防止金具で固定する部品です。
常時固定式の部品で網戸の可動操作は行えません。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- 風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。



△注意

- 網戸が風にあおられて動かないように自走防止金具は取りはずさないでください。
- 網戸の清掃等日々のお手入れは自走防止金具を取りはずさずに網戸を吊り込んだままで行ってください。
- 網戸交換時など自走防止金具を取りはずす必要がある場合には、専門業者まで作業をご依頼ください。
- 自走防止部品の取り付け取りはずしには、手回しドライバーをお使いください。電動ドライバーは使用しないでください。

お願い

- 自走防止金具やねじについては定期的に点検を行なってください。点検時に破損などの異常を発見した場合には、速やかに最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡ください。
- 風にあおられて網戸が動くことがないように自走防止金具は取りはずさずに取り付けした状態のままとしてください。

操作

可動網戸を片側に常時固定しておく部品のため、網戸の可動操作は行えません。

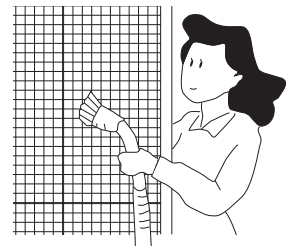
メンテナンス

【網戸の掃除】

日々のお手入れは自走防止金具を取りはずさずに網戸を吊り込んだままで行ってください。

【網戸の交換】

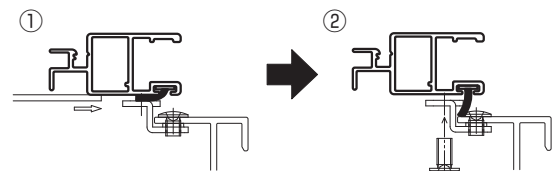
自走防止金具を取りはずす必要がある場合には、専門業者まで作業をご依頼ください。
自走防止金具の取り付け取りはずしには、手回しドライバーをお使いください。
電動ドライバーは使用しないでください。



【モヘア倒れの修正】

網戸を吊り込む際、下図のようにモヘアが倒れた状態になった場合には、

- ① 網戸と金具との間に直尺のような薄い板状のものを差し込みモヘアを押し込み
- ② モヘアの倒れを手直し後、ねじ固定してください。

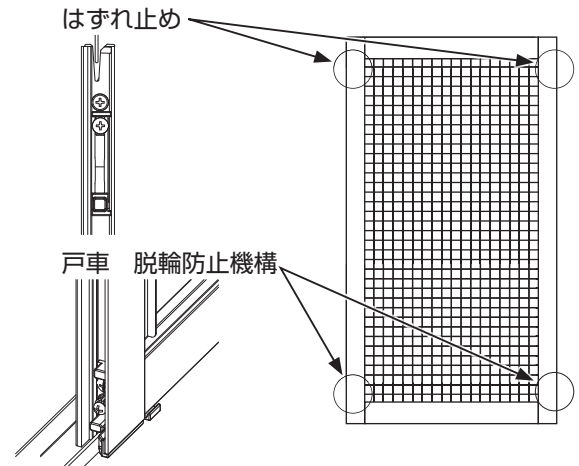


室内付可動網戸

□ WS11 型

商品説明

可動網戸には、網戸の脱落を防止するはずれ止めと脱輪防止機構が取り付けられています。はずれ止めと脱輪防止機構が機能していないと強風時や開閉時に脱落するおそれがあります。引渡し時には調整しておりますが、季節によって取りはずし、取り付けを行う場合は、網戸建込み後、必ずはずれ止めと脱輪防止機構がセットされているかご確認のうえ、お使いください。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がはずれることがあります。定期的に点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸がレール枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

- 網戸はモヘアを障子に密着させることで、虫の侵入を防いでいます。そのため、網戸のモヘアにくせがついた場合は、防虫性が損なわれることがあります。モヘアにくせがついた場合は、手でモヘアを左右になでて、モヘアのくせを直してください。

操作

網戸をご使用中でもまれに虫が侵入する場合があります。虫の種類や大きさによっては、完全に侵入を防ぐことはできませんが、網戸を正しくご使用いただくことにより効果的に虫の侵入を防ぐことができます。

[引違い窓用網戸の使い方]

● 障子Cタイプの場合

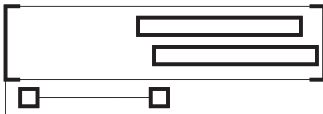
○：外障子側使い 対応可

×：内障子側使い 対応不可

▬：障子

□—□：網戸

<室外側>



<室内側>

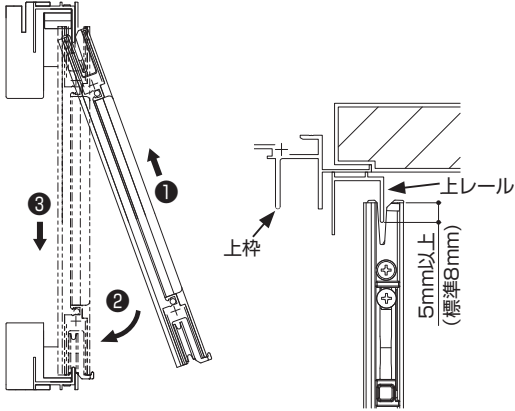


メンテナンス

【吊込み】

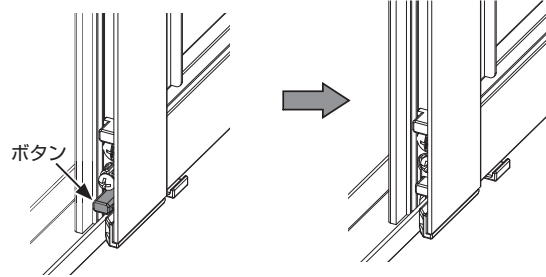
網戸吊込み後、上部かかり代寸法(5mm以上)を確認してください。

※建付調整前に行ってください。



【戸車セット】

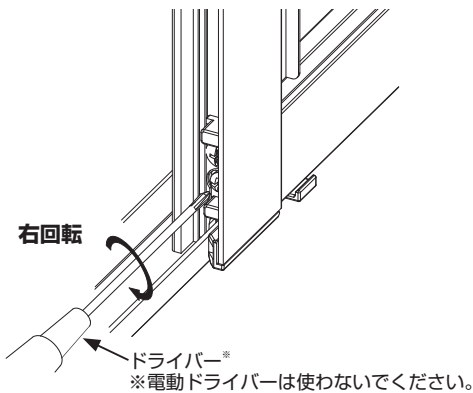
戸車のボタンを押し込み、脱輪防止機構を機能させてください。



【建付調整】

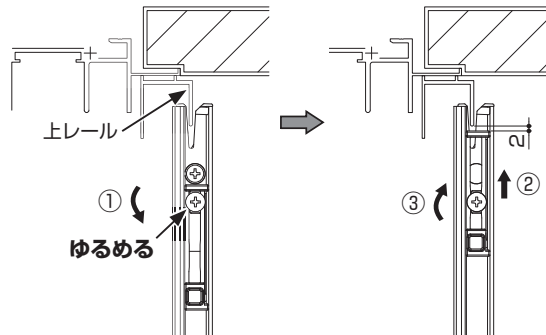
建付調整は、戸車の高さを調整することで行えます。

※右回転(時計まわり方向) …3mmまで上がる



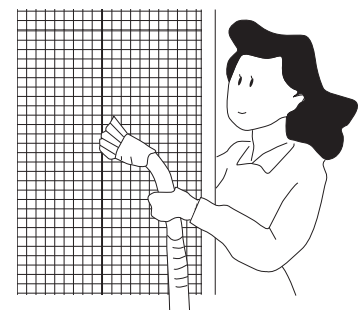
【はずれ止めセット】

- ① 建付調整後、摺動片の下側のねじをゆるめ、はずれ止めを引き下げてください。
- ② 上レールから 2mm 程度離れたところまで引き上げてください。
- ③ ねじを再び締めてください。



【網戸の掃除】

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除は、上部はずれ止め金具のツマミを右に押し上げ、はずれ止めを解除し網戸ははずしてください(網戸がはずれない場合は、上部はずれ止め固定用ねじをゆるめてください)。庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。ゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ、軽く押さえるように洗ってください。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますので、注意してください。
- ③ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ④ 網戸を取り付けたら、必ず上部はずれ止め金具がセットされているか確認してください。
- ⑤ 網戸を外に持ち出せない場合は、乾いた大きめのスポンジを網戸の裏側に当て、その部分をブラシの付いた吸い込み口を取り付けた電気掃除機で吸い取ってください。



開き網戸

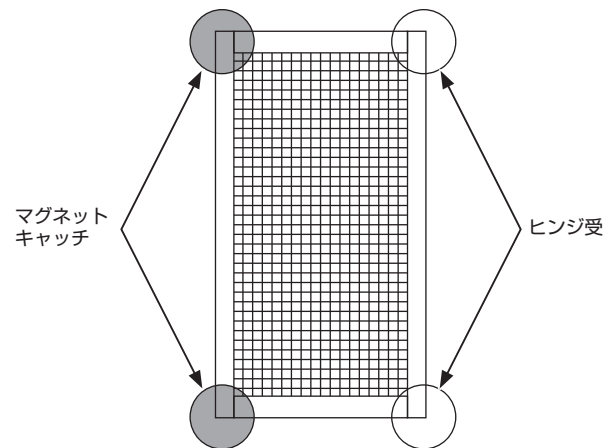
□ WS21 型

商品説明

片開きタイプの網戸です。部屋内側に網戸が開きます。
マグネットにて閉鎖保持されています。

主要部品

- ・マグネットキャッチ
- ・ヒンジ受け



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- ・ ネットに寄りかかったり、押しすぎないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

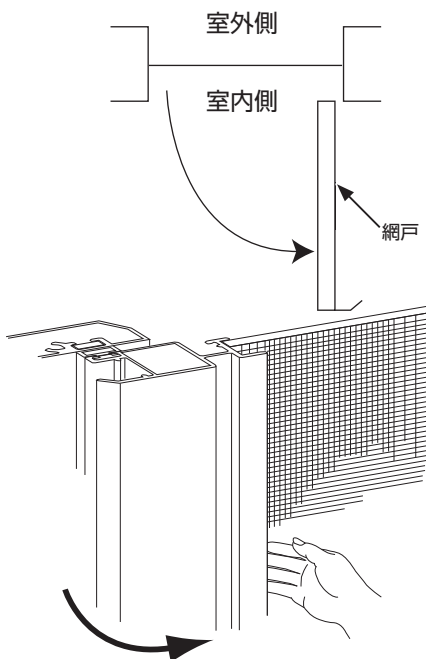
メンテナンス

【網戸の掃除】

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。
網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。
汚れのひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。
このとき力をいれすぎると網がはずれることがありますのでご注意ください。
- ③ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。
表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

【操作方法】

網戸先枠引手を持ち、内側に引きます。
マグネットが外れ、網戸が部屋内側に開きます。



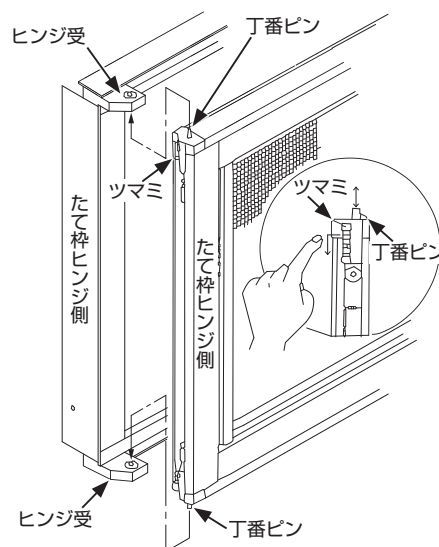
【網戸はずし方・吊り込み方】

【はずし方】

たて枠ヒンジ受側のツマミを下げます。

【吊り込み方】

ツマミを下げた状態で、たて枠のヒンジ受けに丁番ピンをはめ込んでください。

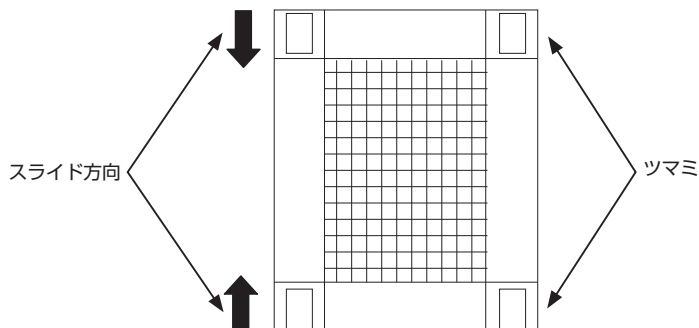


固定網戸 外倒し窓用 [排煙窓・隠ぺいオペレーター仕様]

□ WS41 型

主要部材名称

固定網戸 外倒し窓【排煙窓・隠ぺいオペレーター仕様】に付けられる固定網戸です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。

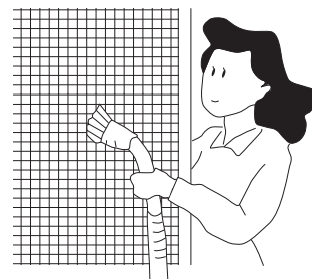
⚠注意

- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

メンテナンス

【網戸の掃除】

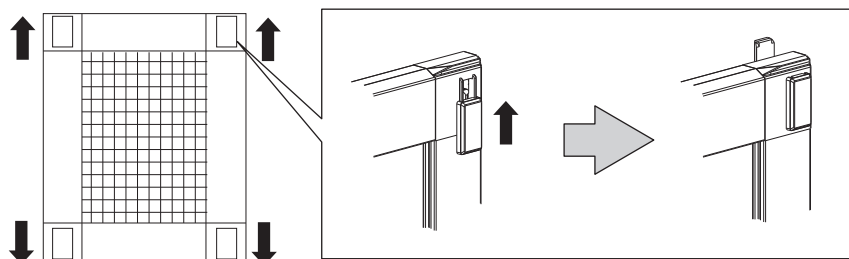
- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除は、上記の手順で網戸をはずし、庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ、軽く押さえるように洗ってください。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますので、ご注意ください。
- ③ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ④ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。



■ 網戸たて骨なし(1000≧W)の場合

【固定網戸の取り付け方法】

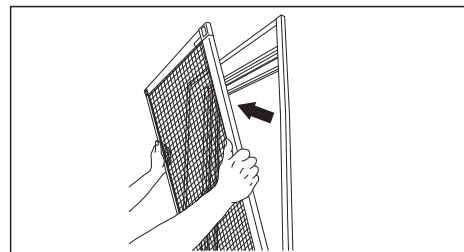
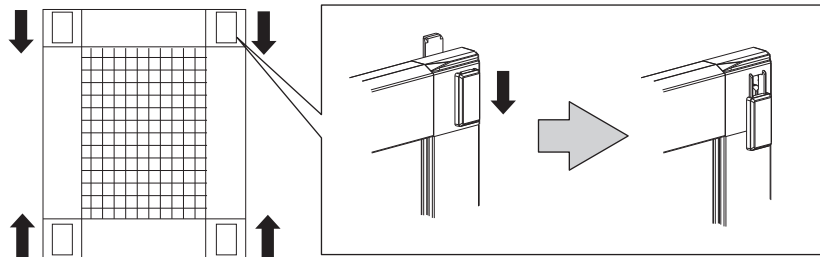
- ① 網戸を下枠の上ののせ、窓枠にしっかりとめ込んでください。
- ② 網戸を倒れないように押さえながら四隅に付いているツマミを下から順にスライドさせてください。



- 網戸を取り付けた後、網戸を前後左右に動かし、しっかり固定されているか必ずご確認ください。

【固定網戸の取りはずし方法】

① 取り付け方の逆の手順で行います。

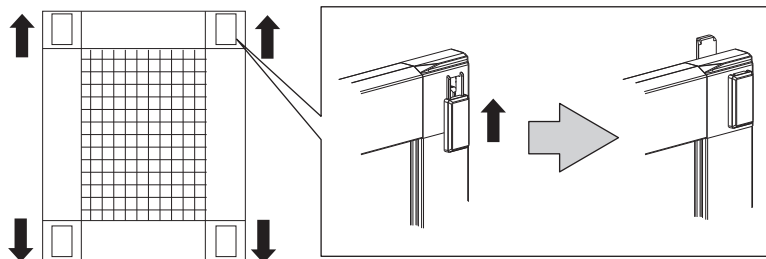


② 網戸の上部を持ち、室内側（手前）に引くとはずれます。

■網戸たて骨あり(1000≦W)の場合

【固定網戸の取り付け方法】

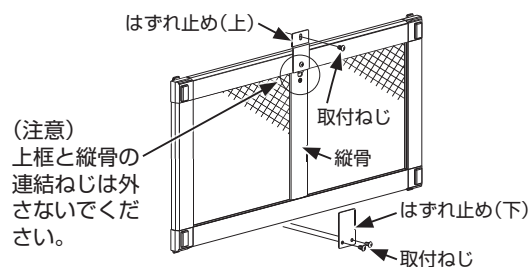
- ① 網戸を下枠の上ののせ、窓枠にしっかりはめ込んでください。
- ② 網戸を倒れないように押さえながら四隅に付いているツマミを下から順にスライドさせてください。



③ 下図要領で、はずれ止め部を取付けてください。

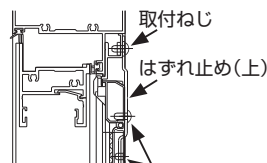
(注意)

※はずれ止め(上)のねじは、網戸が下に接地した状態でねじ固定をしてください。

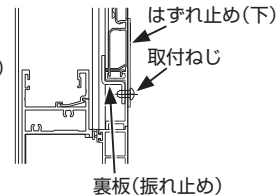


(注意)
上框と縦骨の
連結ねじは外
さないでくだ
さい。

《上部納まり》



《下部納まり》



連結ねじ
(取り外さない
でください。)

【固定網戸の取りはずし方法】

① 取り付け方の逆の手順で行います。

固定網戸内倒し窓用【トップラッチ仕様】

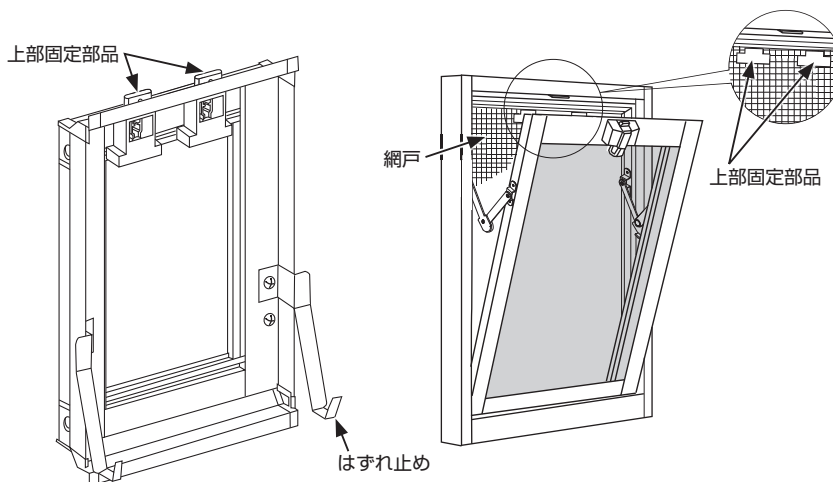
□ WS40 型

商品説明

内倒し窓に取り付けられる固定網戸です。

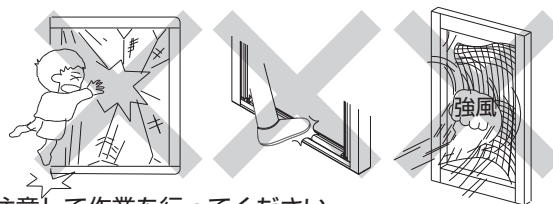
主要部品

- ・ 上部固定部品
- ・ はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ・ ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- ・ 風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。
- ・ 網戸は通常取り付けられた状態のまままでご使用ください。
- ・ 網戸の掃除が必要な場合は下記メンテナンス方法を確認のうえ、十分に注意して作業を行ってください。下記メンテナンス方法以外で作業をされると網戸が落下するおそれがあります。



⚠️ 注意

- ・ ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

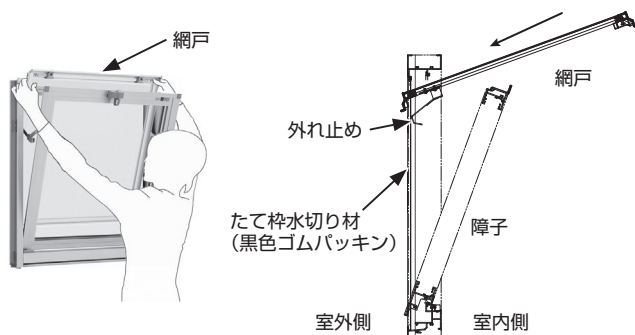
メンテナンス

【網戸の掃除】

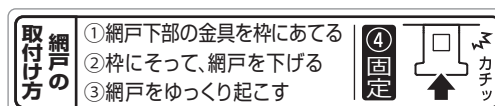
- ① 網戸の掃除が必要な場合は上記方法を確認のうえ、網戸が落下しないように十分に注意して作業を行ってください。
- ② 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ③ 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力を入れすぎると網がはずれることがありますので、ご注意ください。
- ④ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ⑤ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

【固定網戸の取り付け方法】

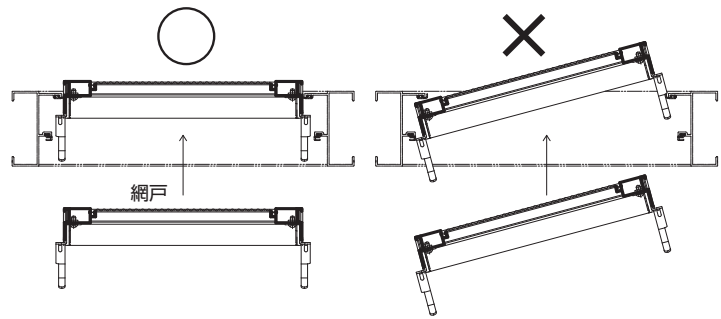
- ① 網戸を図のように差し入れます。



貼付ラベルイメージ



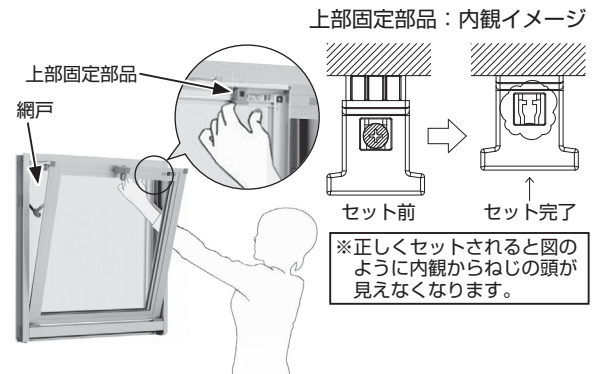
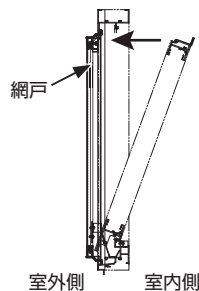
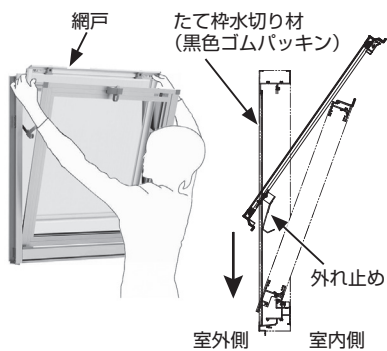
※ 網戸はサッシ枠と平行になるように真っ直ぐ挿入してください。
斜めに挿入しますとはずれ止めがかかりません。



② はずれ止めをガイドとして、たて枠水切り材(黒色ゴムパッキン)にあてながら、網戸下方に下ろします。

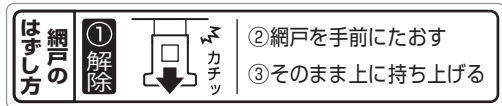
③ 網戸を下部まで下ろしたら、網戸の上かまちを室外側方向に押し込みます。

④ 上部固定部品を上げて取り付け完了です。

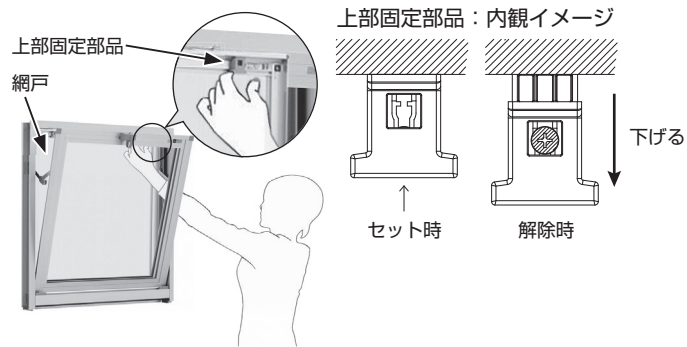


【固定網戸の取りはずし方法】

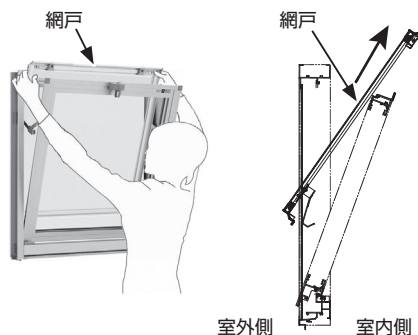
貼付ラベルイメージ



- ① 障子を開放します。
- ② 網戸上部の固定部品を解除します。



- ③ 網戸上部の固定部品を持ち、網戸を手前に引き出します。



固定網戸内倒し窓用【トップラッチ・タッチラッチ 2段階オープン仕様】

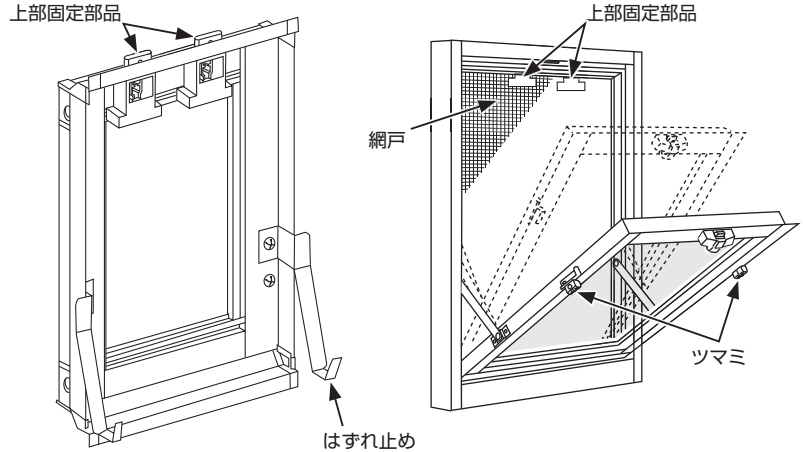
□ WS40 型

商品説明

内倒し窓に取り付けられる固定網戸です。

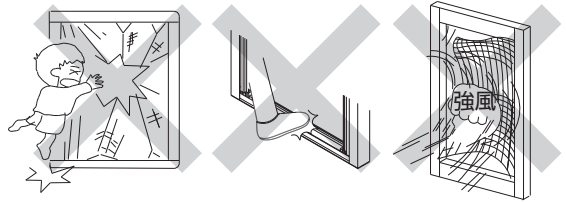
主要部品

- 上部固定部品
- はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- 風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。
- 網戸は通常取り付けした状態のままでご使用ください。
- 網戸の掃除が必要な場合は下記メンテナンス方法を確認のうえ、十分に注意して作業を行ってください。下記メンテナンス方法以外で作業をされると網戸が落下するおそれがあります。



⚠注意

- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

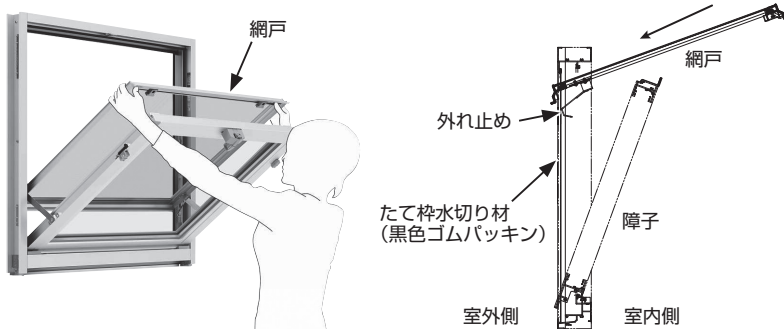
メンテナンス

【網戸の掃除】

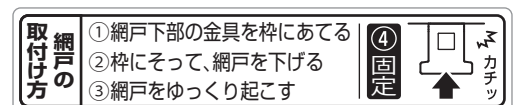
- ① 網戸の掃除が必要な場合は上記方法を確認のうえ、網戸が落下しないように十分に注意して作業を行ってください。
- ② 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ③ 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力を入れすぎると網がはずれることがありますので、ご注意ください。
- ④ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ⑤ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

【固定網戸の取り付け方法】

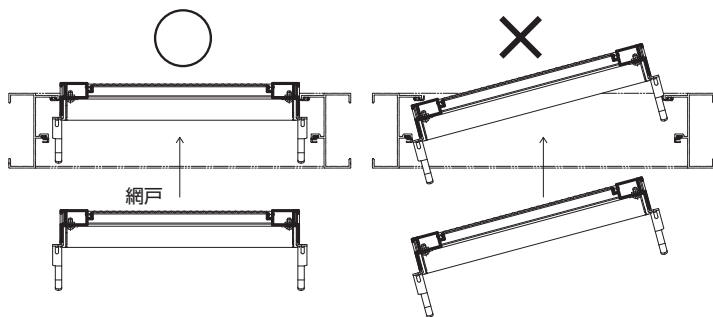
- ① 網戸を図のように差し入れます。



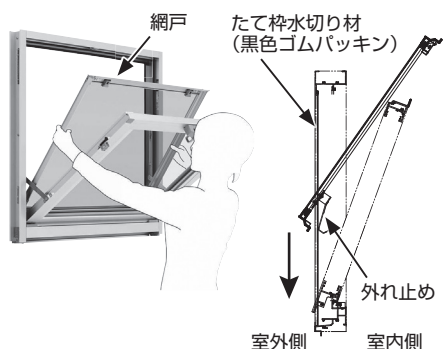
貼付ラベルイメージ



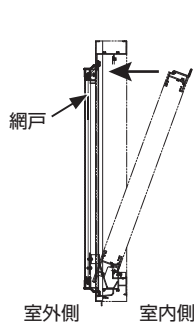
※ 網戸はサッシ枠と平行になるように真っ直ぐ挿入してください。
斜めに挿入しますとはずれ止めがかかりません。



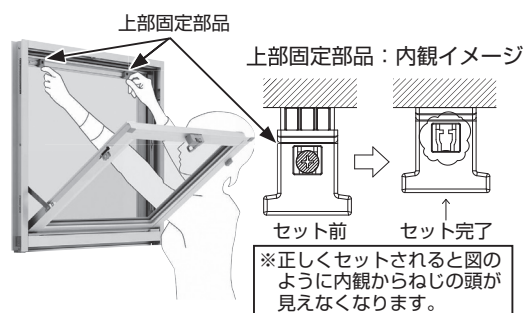
② はずれ止めをガイドとして、たて枠水切り材(黒色ゴムパッキン)にあてながら、網戸下方に下ろします。



③ 網戸を下部まで下ろしたら、網戸の上かまちを室外側方向に押し込みます。



④ 上部固定部品を上げて取り付け完了です。

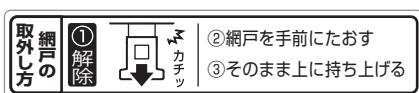


【固定網戸の取りはずし方法】

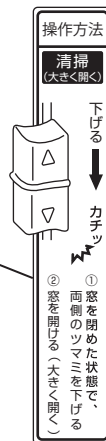
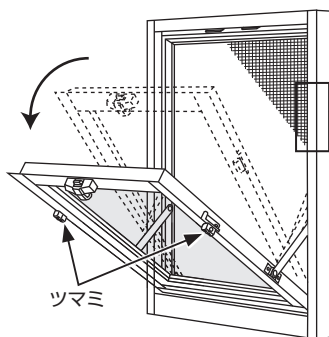
① 掃除する角度まで障子を開放します。

- 障子が閉じた状態で障子左右にあるツマミをそれぞれ押し下げます(カチッと音がするまで、下向きに押ししてください)。
- 上記の操作後、障子を開くと、障子が開放(約60°)します。障子は手前に大きく倒れますので、開放時は注意してください。

貼付ラベルイメージ

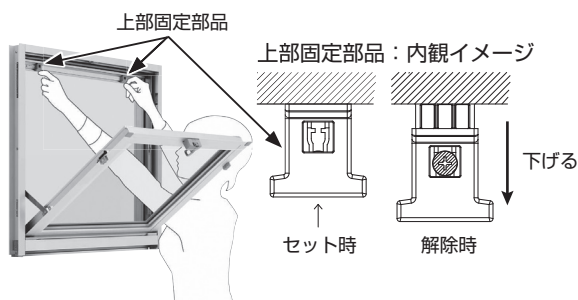


障子開放時

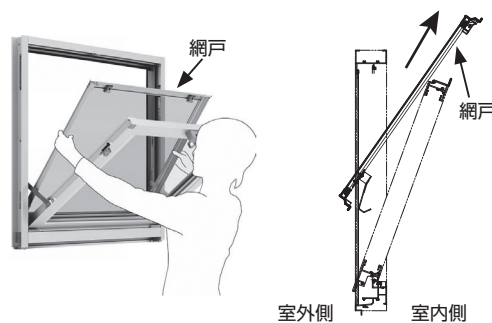


貼付ラベルイメージ

② 網戸上部の固定部品を解除します。



③ 網戸上部の固定部品を持ち、網戸を手前に引き出します。



収納網戸

□ ビューネット R 型

商品説明

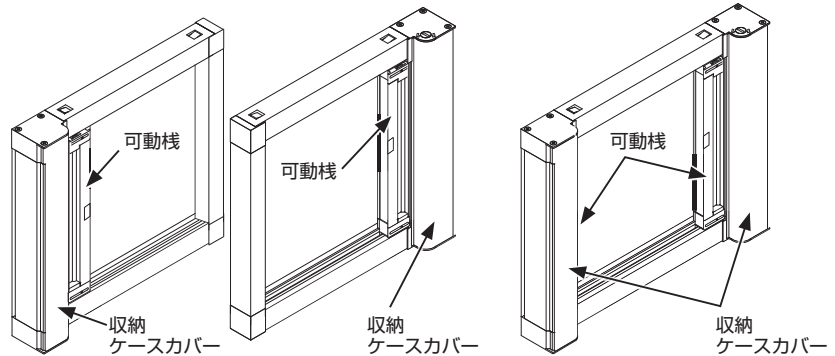
- 使用する時はネットのみを引き出します。
- 網戸を使用しない時は、ネットをケース内に収納出来るので、汚れがつきにくく衛生的です。
- ネットの掃除は、内・外側の両側とも出来るように配慮しました。

主要部品

- 収納ケースカバー
- 可動棧

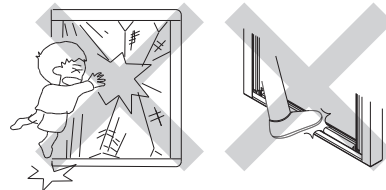
〈ビューネットR型(片引きタイプ)〉

〈ビューネットR型(両引きタイプ)〉



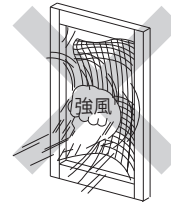
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。



【強い風ときの注意事項】

- 強い風ときはネットを収納し、ご使用にならないでください。
強い風ときに網戸をご使用頂きますと、ネットがたるみ、枠外へ飛び出したりネットがはずれるなど、網戸の破損につながります。



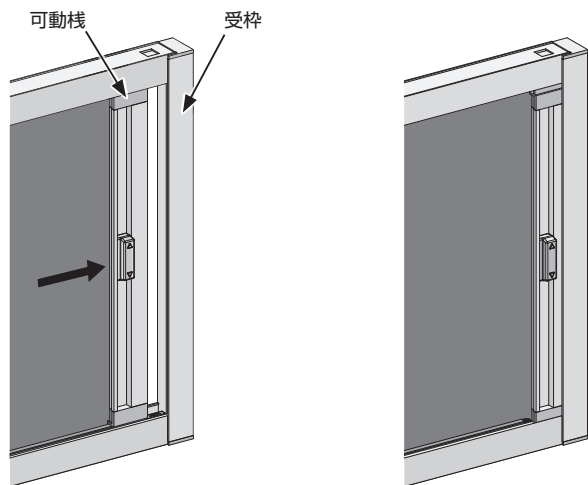
⚠ 注意

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。

操作

ビューネット R型(片引きタイプ) (両引きタイプ)

■閉めるとき



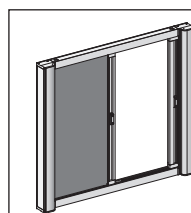
- ① 可動棧の中央部付近を持って、引き出してください。
- ② 可動棧がスライドしていくと固定 (キャッチ) されます。

■開けるとき

ツマミを上げるだけのワンアクションで自動収納され、余計な力は必要ありません。



※ツマミを上げると可動棧全体が持ち上がり、ツメの引っかかりがはずれます。



●両引きタイプ
センターのセルフキャッチ
機構で片方ずつ開閉可能

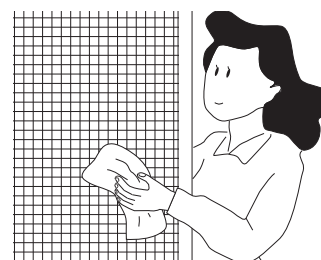
お願い

- ・ 極端に上や下を持って動かすと網戸が斜めになり、動かなくなるおそれがあります。可動棧の中央部付近を持って操作してください。
- ・ 長時間ネットを張ったままにするとゴミ・ホコリが付着し、巻き取りにくくなります。防虫しない時は収納してください。
- ・ ネットが自然に最後まで巻き取られない場合は、手で可動棧を持って収納してください。
- ・ 無理な開閉や乱暴な扱いをすると網戸を破損するばかりではなく、思わぬケガの原因になります。開閉操作は丁寧に扱ってください。

メンテナンス

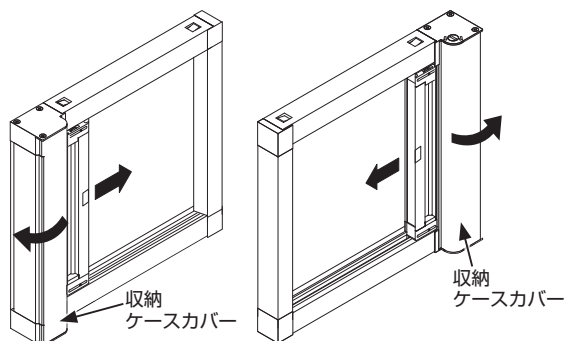
【網戸の掃除】

- ・ 網戸を掃除する場合、網戸を引き出した状態でブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ軽く押さえるように洗ってください。最後に水で濡らした雑巾などで拭き、乾かしてください。
- (注) 網戸を強く引き出したり、押したりしますと破損する場合がありますのでご注意ください。

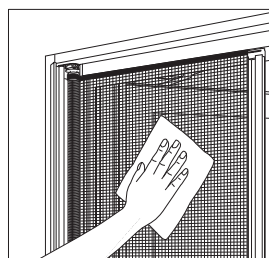


【ネットのメンテナンス方法】

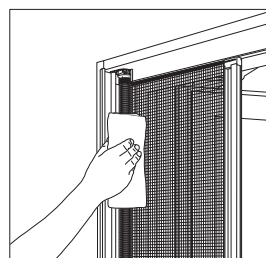
- ① 室内側のネットを掃除する場合、ネットを引き出した状態で室内側から雑巾などで拭いてください。
 - ② 室外側のネットを掃除する場合、ネットを収納している収納ケースカバーを開けて、ロールに巻き取られたネットを雑巾などで拭いてください。
- ・ 収納ケースカバーを手前方向に開ける。
 - ・ ネットを引き出しながら雑巾で拭いてください。(収納ケースが左側の場合)



①室内側の拭き取り

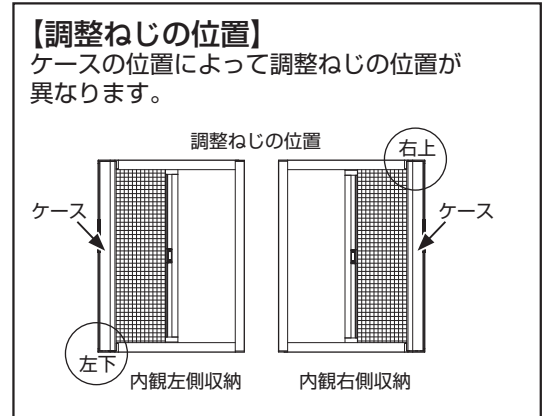
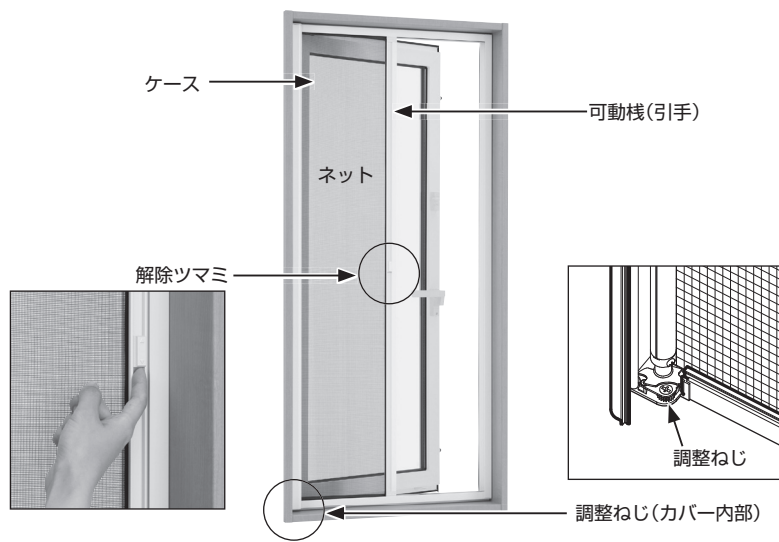


②室外側(カバー開)の拭き取り

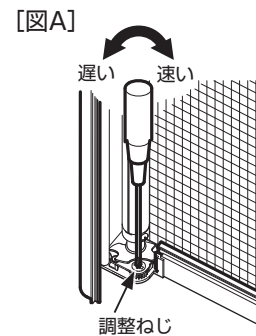


【ネットの調整方法】

- 調整を行う前に、網戸を2～3回開閉しネットを巻き直してください。
ネットにケセがついた状態で調整すると、調整時と使用中の巻き取りスピードにばらつきが出る場合があります。

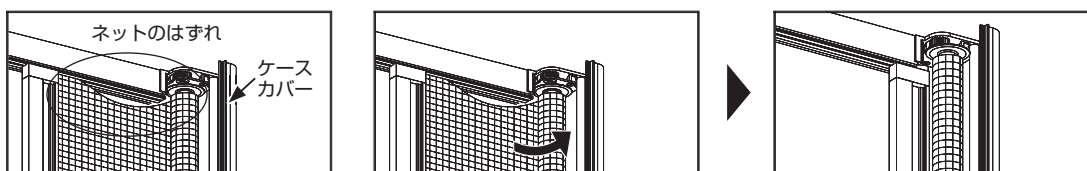


- ① ケースのカバーを開く。
- ② 可動棧を持ち、網戸を引き出す。
※ 網戸を全開状態にすると、可動棧が固定されます。
- ③ 調整ねじをまわし、巻き取りスピードを調整する。[図A 参考]
※ 時計回りにまわすと速くなる。
※ 反時計回りにまわすと遅くなる。
※ 調整ねじをまわすときは、一度にまわしすぎないでください。
目安として4分の1回転(90°)ずつ調整してください。



【ネットがレール溝からはずれたとき】

- ① ケースのカバーを開く。
- ② 手でネットを最後まで巻き戻す(ネットがレールに入ります)
ネットが折れないようにゆっくりと巻き戻してください。



収納網戸

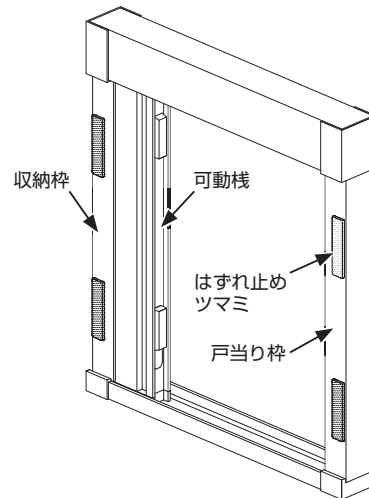
□ ビューネット A 型

商品説明

ネット(網)がコンパクトに折りたたまれ、
枠内に収納されるタイプです。

主要部品

- ・可動棧
- ・はずれ止めツマミ



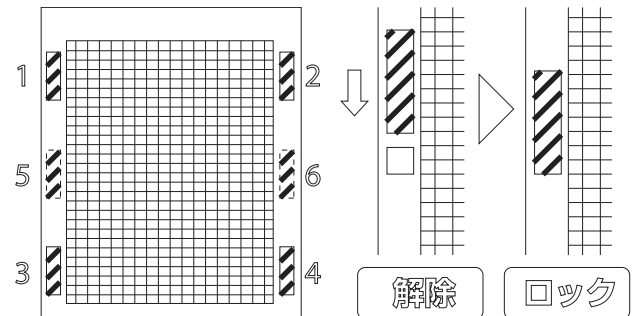
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

網戸の脱落防止のため、はずれ止めを必ずかけてください。

【はずれ止めのかけ方】

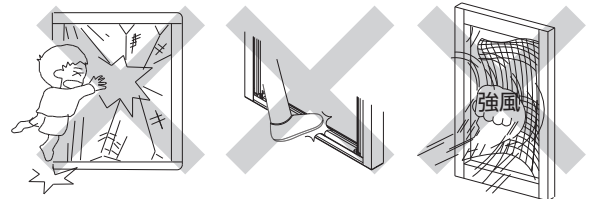
- ① はずれ止めを下げロックしてください。
※ロックされると赤表示がかけれます。
- ② 網戸が固定されているか確認してください。



※はずれ止めは4か所または6か所あります。
網戸サイズによって異なります。

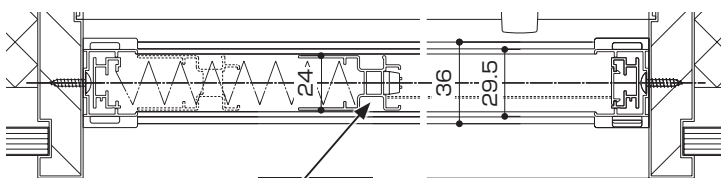
⚠ 注意

- ・ 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
ネットへ直接よりかかったり、押したりしないでください。
落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- ・ 風が強い時や積雪時には、網戸を使用しないでください。



操作

- ① 網戸を開閉する際は、可動棧のミゾ部分に手をかけて操作してください。
- ② 無理な開閉や乱暴な扱いをすると、網戸を破損するおそれがありますので、開閉はゆっくり行ってください。
- ③ 長時間ネットを出したままにすると、収納性が悪くなります。
使用しないときはこまめに収納するようにしてください。



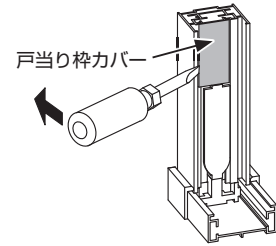
可動棧 ミゾ部
※こちらに手をかけて操作してください。

メンテナンス

【建付調整】

建付けが悪くなった場合、状況に応じてワイヤーの調整を行ってください。

① 戸当り枠のカバーをマイナスドライバーなどではずしてください。



② 戸当り枠に固定してある調整ねじを、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整します。

【ワイヤーにたるみが出てガタつく場合】

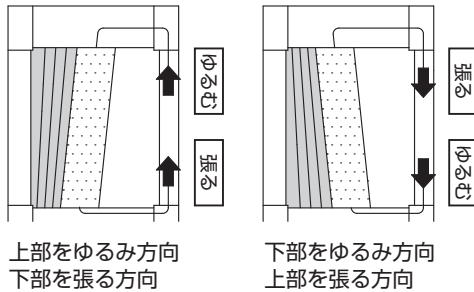
・全てのねじを張る方向に少しずらして固定します。

【開閉が重い場合】

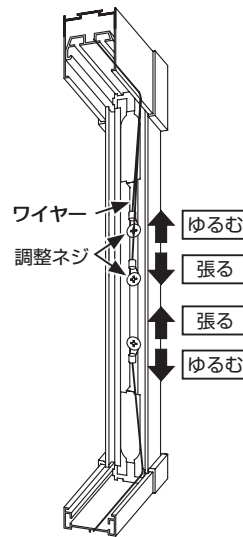
・全てのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。

【スライドバーが斜めになる場合】

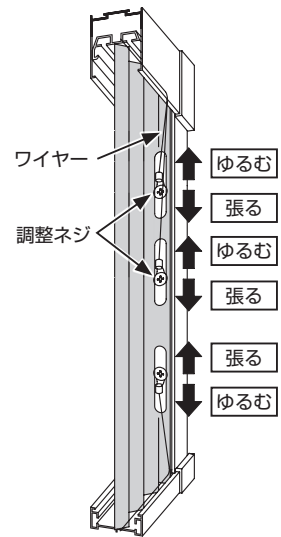
・可動棧に全てのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。



・片引きタイプ

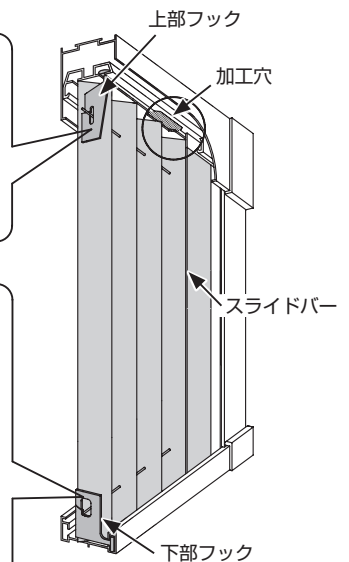
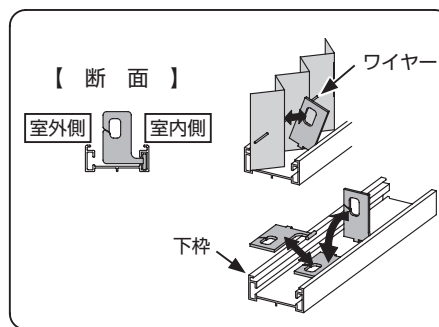
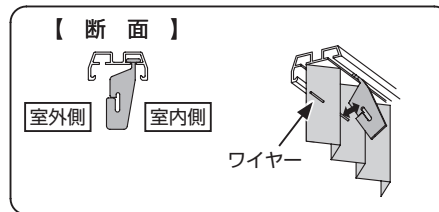


・両引きタイプ

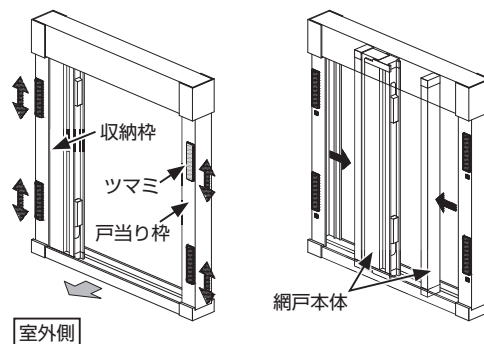


【網戸本体の取りはずし方】

- ① 可動棧を引き、網戸を使用状態にしてください。
- ② 上部フックをワイヤーからはずし、可動棧付近にある加工穴から抜いてください。
- ③ 下部フックをワイヤーからはずし、図のように下枠から抜いてください。



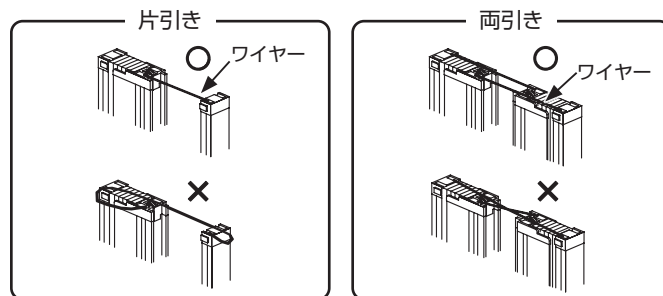
- ④ 網戸を収納状態にしてください。
- ⑤ 枠の側面についているツマミを上もしくは下にスライドさせて、ロックを解除してください（図の場合は下にスライドさせます）。
- ⑥ 収納枠、戸当り枠から網戸本体をはずしてください。



【網戸本体の取り付け方】

網戸本体の取り付けは、
P.69⇒【網戸本体の取りはずし方】の
逆手順で行なってください。

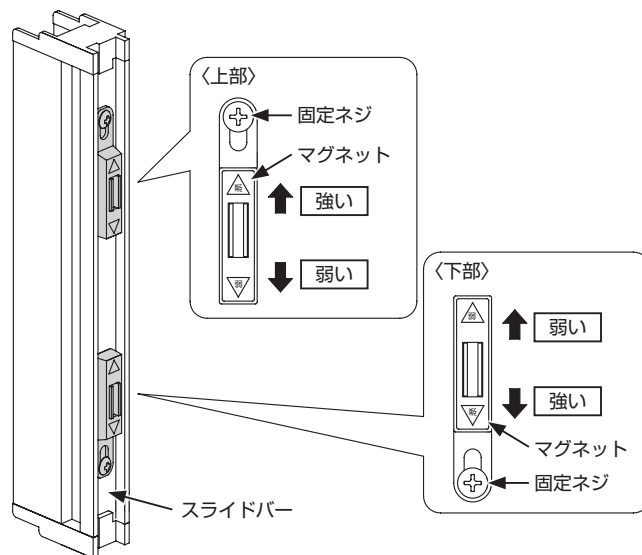
※ 網戸本体を取納枠・戸当り枠にしっかり押し当てラッチを
上下させロックさせてください。



カラミがある場合は枠を回転させて正しい状態に戻してください。

【可動棧固定強度の調整方法】

風などで可動棧が開いてしまう場合は、
マグネットの調整を行なってください。
可動棧の上下に付いているマグネットのねじをゆるめ、
上下に移動させてください。
マグネットとマグネット受けの当たる面積が変わり
固定強度が変化します。



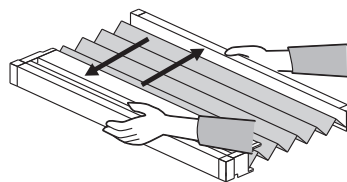
【お手入れ方法】

【日頃のお手入れ(網戸をはずさないでできます)】

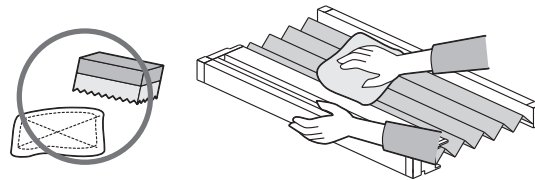
ホコリをハタキで軽く払い、軽く絞った雑巾で拭き取ってください。
この時、両側からはさむようにするとキレイになります。

【汚れがひどい場合(網戸本体を取りはずして清掃できます)】

- ① 網戸をはずし、平らな広い場所に広げて置いてください。
P.69 ⇒ 【網戸本体の取りはずし方】 参照



- ② 中性洗剤をぬるま湯で溶かして、柔らかい布、またはスポンジで洗ってください。
- ③ 洗剤が残らないように水洗いし、必ずカラ拭きしてください。



【お願い】

たわし、金属ブラシなどでネット部分、アルミ枠をこすらないでください。
破損やキズの原因になります。
変色、変質の原因になりますので、お手入れの際には、シンナー、ベンジン、
アルコール、磨き粉、酸性、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。
網戸の下枠にホコリやゴミがたまると、網戸がスムーズに開閉しなくなります。
掃除機などでこまめに取り除いてください。

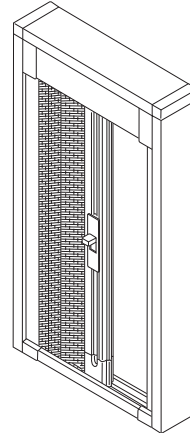


収納網戸

□ ビューネット AF 型

商品説明

ネット(網)がコンパクトに折りたたまれ、
枠内に収納されるタイプです。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。

⚠ 注意

- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

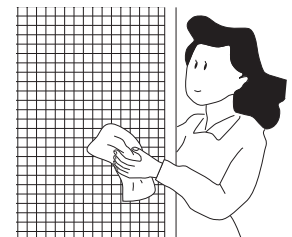
操作

- 長時間ネットを出したままにすると収納性が悪くなります。
使用しない時は、こまめに収納するようにしてください。
- 下レールのゴミやホコリは掃除機などでこまめに取り除いてください。

メンテナンス

【網戸の掃除】

- 長時間ネットを張ったままにすると、ゴミ・ホコリが付着し巻き取りにくくなります。
防虫しない時は、収納してください。
 - 網戸を掃除する場合、網戸を引き出した状態でブラシなどで全体を軽くこすります。
そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ軽く押さえるように
洗ってください。
最後に水で濡らした雑巾などで拭き、乾かしてください。
- (注) 網戸を強く引き出したり、押ししたりしますと破損する場合がありますので、
ご注意ください。

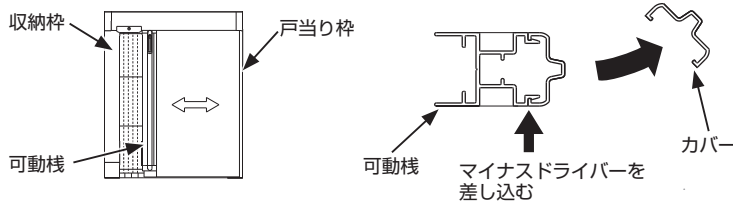


【建付調整】

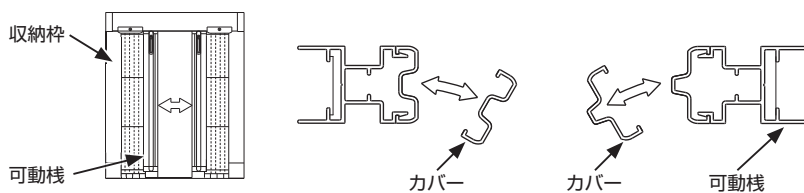
取り付けが悪くなった場合、状況に応じてワイヤーの調整を行ってください。
ワイヤー調整は、カバーを取りはずしてください。

1. 可動棧よりカバーを取りはずします(はずしにくい場合は、可動棧とカバーとの間にマイナスドライバーを差し込んではずすようにしてください)。

【片引きタイプ】



【両引きタイプ】

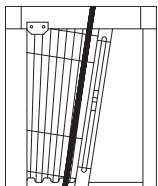


2. 可動棧に固定してある調整ねじを、状況に応じて位置を移動させて調整します。
※上下両端のねじは調整とは関係ありませんので、ゆるめないでください。
※調整ねじはサイズにより個数が異なります(1個または2個)。
※両引きタイプの場合は、片側ずつ行ってください。

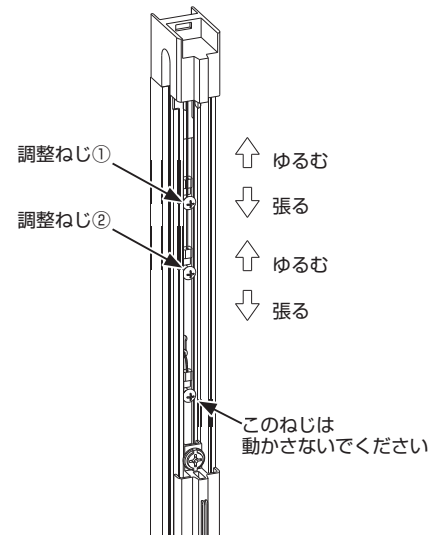
【開閉が重い場合】

調整ねじ①②両方のワイヤーをゆるめます。

【可動棧が斜めになる場合】



- 可動棧を収納枠に押し付けて、上部が出ている場合
調整ねじ①ワイヤー「張る」、調整ねじ②ワイヤー「ゆるむ」
- 可動棧を収納枠に押し付けて、下部が出ている場合
調整ねじ①ワイヤー「ゆるむ」、調整ねじ②ワイヤー「張る」
※ 調整後は数回開閉を行って、網戸がスムーズに作動するかご確認ください。



お願い

- 網戸本体は極力取りはずさないようお願いいたします。
網戸本体を取りはずされる場合は、最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡いただき、専門業者への依頼をおすすめいたします。

脱着ハンドル

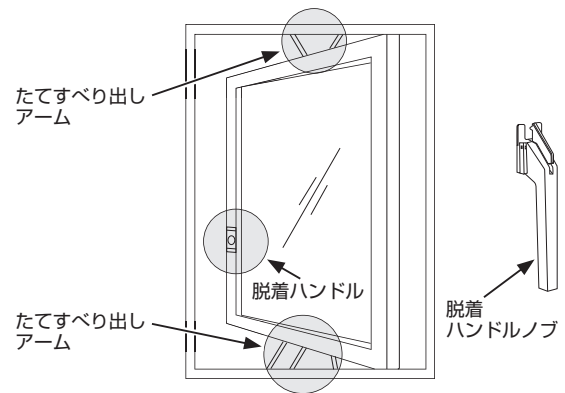
□ BGE 31 □ BGE 37

商品説明

脱着ハンドルは、たてすべり出し窓に付く部品です。ハンドルノブを装着することでメンテナンス時には障子を開くことができます。

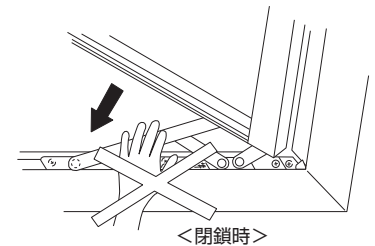
主要部品

- ・脱着ハンドル
- ・脱着ハンドルノブ



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・降雨時、強い風の時の開閉は危険ですので窓を開けないでください。(ハンドルは施錠状態にしてください)
- ・風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・障子を開いた時には、必ずストップ角度で固定してください。
- ・障子を閉閉する時は、指をはさむ危険があるので、たてすべり出しアーム、調整器に触れないでください。
- ・脱着ハンドルノブは開閉操作時のみ取り付けてください。窓を開けた状態でも脱着ハンドルノブは、取りはずしてください。脱着ハンドルノブが落下して思わぬ事故が起こる可能性があります。
- ・脱着ハンドルノブは通常は開閉できないように管理責任者が管理してください。
※非常用進入口の場合、ストップ角度なしで全開放しますので落下などの思わぬ事故が起こる可能性があります。



⚠注意

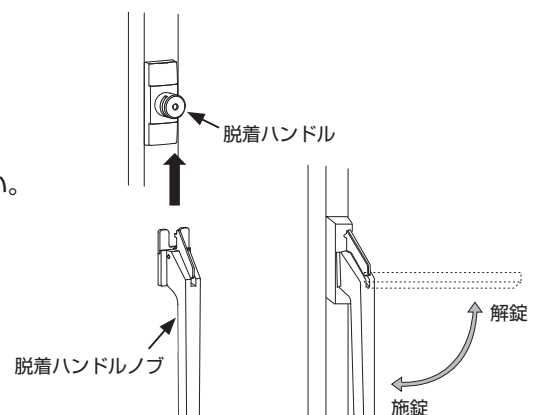
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬ事故につながります。

お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① 脱着ハンドルノブを脱着ハンドルに下から差し込んでください。
- ② 脱着ハンドルノブを上へ90°回転してください。ロックが解除します。
- ③ ハンドルノブを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
- ④ 障子を閉めたら必ずハンドルノブを下へ90°回転してください。ロックされます。
(注) 障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。
- ⑤ ハンドルノブを脱着ハンドルから取りはずしてください。



お手入れ方法

アルミ製商品・樹脂製商品

■ 樹脂製商品

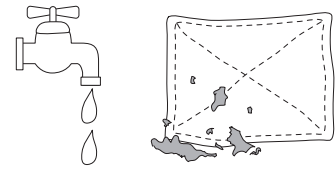
- ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。
- 樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

■ 通常のお手入れ

1

表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

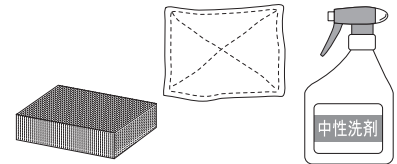


2

水ぶきする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

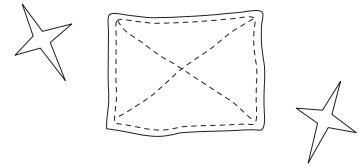
※ 水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤(1～2%の水溶液)で軽く洗い流します。



3

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

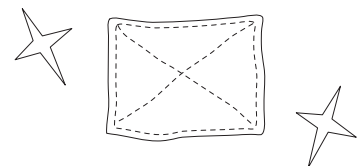


■ 結露・雨水などがかった場合

1

水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



ガラス

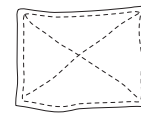
- ガラス表面にキズがつくと割れるおそれがありますので、お手入れの際は必ず柔らかい布をご使用ください。
 - 表面にキズがついてしまった場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。
- ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について
ガラス表面が曇ったときなどに、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってるラベルの跡が浮き出てくることがあります。
この現象は、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。
中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。
ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ ガラスのお手入れ

1

汚れをふき取る

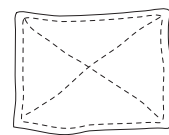
柔らかい布に中性洗剤(1～2%の水溶液)を浸し、汚れをふき取ります。



2

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



ハンドル・引手

(⇒ P.74 ■ 通常のお手入れ)

カギ・カギ穴

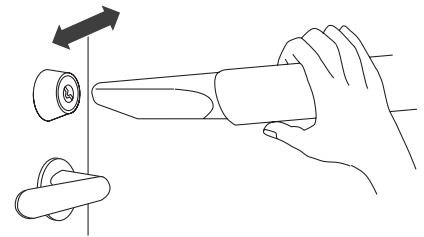
■ カギ穴のお手入れ

- 油の含まれている潤滑剤(CRC、シリコンスプレーなど)は使用しないでください。油にホコリやゴミがついてカギ穴内部に粘着し、作動不良や故障の原因となります。

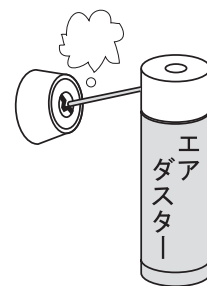
1

ゴミを吸い出す

掃除機をカギ穴につけ、左右に振って中のゴミを吸い出します。



または、パソコンのキーボードのゴミを飛ばすエアダスターなどを使って中のゴミを吹き飛ばします。



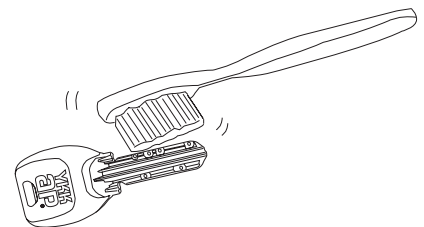
■ カギのお手入れ

1

汚れをかき出す

古い歯ブラシなどで、きざみ部分やミゾの汚れをかき出します。

※ 定期的に掃除をしてください。



■ カギ穴の抜き差しがスムーズにできない、または重い時

1

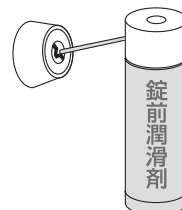
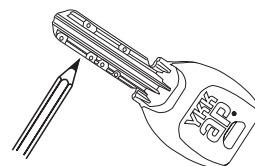
きざみ部分やミゾを黒く塗る

カギのきざみ部分やミゾを鉛筆でなぞり、黒く塗ります。

または、錠前潤滑剤をカギ穴に少量スプレーします。

※ 錠前潤滑剤のご購入はYKK AP Parts Shop まで。

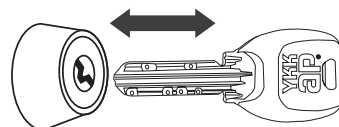
(<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>)



2

カギを抜き差しする

カギ穴に差し込み、数回抜き差しします。

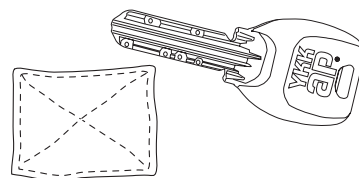


3

黒い粉や潤滑剤をふき取る

カギに付着した黒い粉または潤滑剤を布などでふき取ります。

※ 必ずふき取ってください。そのまま使用すると、衣服等を汚す場合があります。



下枠・レール

- 下枠やレールは特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

1

砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。



または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2

汚れをふき取る

薄手のタオルやキッチンペーパーなどで水拭きし、汚れをふき取ります。



網戸（ネット部分）

- 網戸の取りはずし方・取り付け方は、P.39～P.72を参照してください。

1

ネットを水洗いする

ネットがはずれないように柔らかいブラシやスポンジで軽く押さえるように水洗いします。

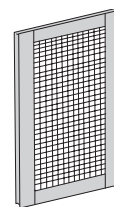
※ 汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2

水分をふき取る

水分を十分にふき取り、乾燥させます。



商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、商品をお求めの建築会社、工務店または販売店に修理をご依頼ください。

■保証期間

建築会社様よりの引渡し日(注1、注2)から2年間(電装部品については1年間)。

ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

(注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

(注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡しの日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など)
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など)、経年劣化(樹脂部品の変質・変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他類似の不具合
- ⑤ 商品周辺の自然環境、住環境に起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥ 商品または部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑦ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑩ 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行なわなかったことによる不具合
- ⑪ お客様自身の組立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取りはずしを含む)に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

* 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

* 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社営業窓口にお問い合わせください。

* この商品は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

複層ガラスの保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において商品保証を行うことをお約束するものです。建築会社よりの引き渡し日(注)を保証開始日とした保証期間中に保証性能項目に関する不具合が生じた場合には、まず、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室(☎ 0120-20-4134)にご相談ください。

(注)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡しの日とします。

■複層ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間	免責事項 (保証期間内でも、次のような場合には有料となります)
Low-E複層ガラス	複層ガラスの内部結露(ガラスとガラスの間の中層内部での結露)が発生しないこと	10年	<ul style="list-style-type: none"> 複層ガラスを構成する板ガラスに亀裂または破損が生じている場合 海拔1,000m以上での使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 垂直以外でのご使用の場合 高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※1)

※1) 商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、および製造年月等を確認いたします。

■複層ガラス商品共通の免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社標準施工法および取り扱い上、設計上、施工上、使用上、メンテナンス上の注意事項が守られなかったことに起因する不具合
- ②使用上の誤りおよび不当な改造や修理など、人為的原因に起因する不具合
(ガラス表面に図柄等含む有色のフィルムやポスターなどを貼ることや、塗料を塗ることなどを含みます)
- ③火災、地震、風水害、その他天変地異に起因する不具合
- ④事前のお打ち合わせで商品保証の対象外であることをご了承いただいている場合
- ⑤実用化された技術では予測困難な現象に起因する不具合
- ⑥熱割れなどのガラスの破損
- ⑦板硝子協会・(一社)日本サッシ協会発行『複層ガラス・単板ガラスサッシの取り扱いに関する仕様基準と解説』に準拠されていなかった場合

■保証内容

保証性能項目に関する不具合が発生した場合は、免責事項に該当する場合を除き、代替品(不具合が生じた当社製複層ガラスが仕様変更・販売終了している場合には同等品種または近似品種)を無料交換いたします。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問い合わせください。

*この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをご確認ください。

- ①商品名
- ②商品記号(商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。)
- ③お引き渡し日(お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日)
- ④工務店、建築会社名など
- ⑤破損箇所や不具合状態

集合住宅用 ビル防火商品取扱説明書



納 付 書 (配布依頼書)

年 月 日

御中

工 事 名	
所 在 地	

上記工事の商品を正しく使用していただき、性能・機能保持のため、

集合住宅用 ビル防火商品取扱説明書をお施主様(ご使用者)にお渡しください。

社名

キ
リ
ト
リ

キ リ ト リ

② 集合住宅用 ビル防火商品取扱説明書



受 領 書

年 月 日

御中

工 事 名	
所 在 地	

上記工事の**集合住宅用 ビル防火商品取扱説明書**を受領致しました。

施工者よりの引き渡し日 年 月 日

社名

**YKK
ap**[®]

 YKK AP株式会社

- 表示内容は2023年3月現在のものです。
- 改良のため予告なく商品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 発行 / 2023年3月(3版) Printed in Japan

商品に関するご相談・お問い合わせは、

お客様相談室 まで

受付時間 / 月～土 9:00～17:00 (日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

■建築・設計関係者様

■一般のお客様

 0120-72-4134

 0120-20-4134

●お問い合わせ、ご用命は……

YKK AP ビル用商品サイト
<http://www.ykkap.co.jp/search-b/>

(NO)XAAAG-K22-052-3

